

VELUX INTEGRA® 製品の新しい世界へようこそ！

VELUX INTEGRA® 製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
このリモコンは最新の方法ならびに最も厳格な要求事項に従って製造および試験されています。
このリモコンで、ご使用の全ての VELUX INTEGRA® 製品を最大限に活用することができます。



目次

重要情報	4
1 リモコン	
リモコンの機能	5
2 操作	
基本操作	
天窓の操作	6
ブラインドの操作	7
ライトの操作 (日本仕様は対象外)	8
on/off スイッチに接続された製品の操作 (日本仕様は対象外)	8
他の種類の io-homecontrol® 製品の操作 (日本仕様は対象外)	8
製品の位置	8
電源を入れる/ホーム/全ての製品を停止	8
プログラム	
プログラムの使用	9
VELUX プログラム	10-14
- プログラムを使用する	10-11
- プログラムを編集する	12-13
- 製品ナビゲーターにプログラムを追加する	14
- デフォルト設定にリセットする	14
独自のプログラム	15-22
- プログラムを作成する	15-17
- プログラムを編集する	18-19
- 製品ナビゲーターにプログラムを追加する	20
- プログラムの名前を再設定する (日本仕様は対象外)	21
- サイレントモード運転	22
- プログラムを削除する	22
スマート操作	
製品を見つける	23
キーボード (日本仕様は対象外)	23
製品の名前を再設定する	24
グループ	25-28
- グループを作成する	25
- グループを編集する	26
- グループの名前を再設定する (日本仕様は対象外)	27
- グループを削除する	28
ルーム	29-32
- ルームを作成する	29
- ルームを編集する	30
- ルームの名前を再設定する (日本仕様は対象外)	31
- ルームを削除する	32

目次

お気に入り	33-34
- 製品ナビゲーターの製品の順番を編集する	33
- お気に入りを編集する	34

リモコンを使用せずに操作する

- 中軸回転式天窓の手動操作	35
- 停電あるいはバッテリーが放電した場合に中軸回転式天窓を閉める	36
- リモコンをどこかに置き忘れた場合に天窓を閉める	37

3 登録

新しい VELUX INTEGRA® システムの起動

初期登録	38
初期登録が失敗した場合	39

新しい VELUX INTEGRA® システムの起動

リモコンに製品を追加する	40
リモコンの追加	41-93
- VELUX INTEGRA® リモコン KLR 200 ですすでに操作されているシステムにリモコンを追加する	41-53
- 別のリモコンですすでに操作されているシステムに VELUX INTEGRA® リモコン KLR 200 を追加する	54-68
- 別々のシステムですすでに使用されているリモコンで互いの製品の操作ができるようにする	69-93
リモコンの製品を削除する	94
io-homecontrol® 製品のジョイント操作 (日本仕様は対象外)	95-97
- セキュリティキーを別の io-homecontrol® リモコンに送信する (日本仕様は対象外)	96
- 別の io-homecontrol® リモコンのセキュリティキーを受信する (日本仕様は対象外)	97
- VELUX INTEGRA® リモコン KLR 200 で新しいセキュリティキーを作成する	97

設定

日時	98-99
言語	100
製品のサイレントモード運転	100

リモコンをリセットする

	101
--	-----

セキュリティ

パスワード	102
セキュリティキーの変更	103-113

4 設置

リモコンを壁に取り付ける	114
後付けの場合に吹き込みセンサーの取り付け位置を変える (日本仕様は対象外)	115

適合性の宣言

	116
--	-----

重要情報

設置前に取扱説明書をよくお読みください。取扱説明書は後日参照できるように保管し、新しい使用者がいればお渡しください。

注意：本取扱説明書は、製品、製品の特徴および製品機能について記載していますが、これらは市場や選択言語によって異なる可能性があります。このため、画面のイラスト、画面のテキストならびにご使用の製品で使用できる機能は本取扱説明書に示されているものと異なる場合があります。詳細情報につきましてはVELUX 販売会社にお問い合わせください。電話帳または www.velux.com をご覧ください。

安全

- このリモコンは関連する経験や知識を有する人または安全責任者から製品の使用に関する指導を受けた人が操作するものとして作られています。
- お子様为天窓や付属の電気製品で遊ばないようにしてください。また、リモコンはお子様の手が届かないところに保管してください。
- 修理または調整作業が必要な場合は電源またはバッテリーから外して、誤って再接続されないようにしてください。
- 操作する前に、操作によって天窓や付属の電気製品が家財を損傷したり人や動物を負傷させる恐れがないことを確認してください。
- 安全のために、電源またはバッテリーのスイッチを切らずに天窓から手や身体を出さないようにしてください。

機能

- 電動押し出し式天窓に付属の吹き込みセンサーが濡れると天窓オペレーターが自動的に天窓を閉めます。
- 吹き込みセンサーを無効にすると、天窓が開いているときに雨水が建物の中に入る恐れがあります。
- 天窓を手動で開けた場合、天窓オペレーターは吹き込みセンサーやその他の自動機能によって作動しなくなります。
- 天窓が完全に開いた状態では、起動時から天窓が完全に閉まるまでに最大1分かかります。そのため、突然雨が降ってきた場合、天窓が閉まる前に雨水が部屋に入る可能性があります。
- 積雪または着氷がある場合、天窓の操作の障害となる場合があります。
- 天窓や付属の電気製品が設置されている部屋にリモコンを置くことをお勧めします。

製品

- このリモコンはVELUX 純正製品と一緒に使用されるよう設計されています。他の製品に接続すると損傷や不具合を生じる場合があります。
- 電気製品は電子機器廃棄物の国内規定に従って廃棄してください。家庭廃棄物と一緒に廃棄しないでください。
- 使用済み電池は家庭廃棄物と一緒に捨てないでください。関連する国内環境規定に従って廃棄されなければなりません。電池は、正しい取扱いやリサイクルをしなければ有害になる可能性がある物質を含んでいます。
- 自治体の電池廃棄処理所があればそこをご利用ください。
- 梱包材は通常の家庭廃棄物と一緒に廃棄することができます。
- 音圧レベル：最大 70 dB(A)
- 無線周波数帯域：欧州内 868 MHz、欧州以外の大部分の国 2.4 GHz
- 無線周波数範囲：障害物がない状態で 200m。建造物によっては、屋内範囲は約 20m です。ただし、鉄筋コンクリート、金属板天井、および鋼材を有する塗り壁の建造物では範囲は縮小される場合があります。
- リモコンの予想電池寿命：最大1年
- ソーラーパワーの天窓オペレーターの予想バッテリー寿命：約 10年



メンテナンスとサービス

- 天窓およびそれに接続された製品のメンテナンスまたは修理作業を行う前に、電源またはバッテリーから切り離し、作業中に誤って再接続されないようにしてください。
- メンテナンスおよび設置は、作業要件の安全衛生を考慮して行ってください。
- 電源ケーブルが損傷した場合、取り換えは国内規定に従って有資格者が行ってください。
- リモコンは、乾いたあるいは湿った柔らかい布できれいにしてください。
- 吹き込みセンサーの汚れは操作上の問題を引き起こす可能性があります。従って、吹き込みセンサーを柔らかい濡れた布で年に1度か2度あるいは必要な時に掃除することをお勧めします。
- 太陽電池に汚れが蓄積している場合は、水と普通の家庭洗剤で掃除してください。
- スペアパーツはVELUX 販売会社から入手できます。製造プレートに記載されている情報をお伝えください。
- 技術的な質問がありましたらVELUX 販売会社にお問い合わせください。電話帳または www.velux.co.jp をご覧ください。

リモコン
リモコンの機能

1

製品の所在位置を表示

 プログラム実行中
 電池残量少

製品ナビゲーター
操作可能な製品またはプログラムを表示

製品を作動させる。例えば、天窓を閉める、ブラインドを上げる、など。

製品の位置を設定する。例えば、ブラインドを一部下げる、など。

 プリセットで閉める

天窓の換気フラップを開ける。
(中軸回転窓のみ)



プログラムおよび設定へのアクセス

製品の動作を停止する。画面に表示されている製品の位置を示す。

製品を作動させる。例えば、天窓を開ける、ブラインドを下げる、など。

製品の位置を 0 ~ 100 で表示する。全開状態の天窓は 100 (100%開放)、全閉状態のブラインドは 100 (100%閉鎖)。

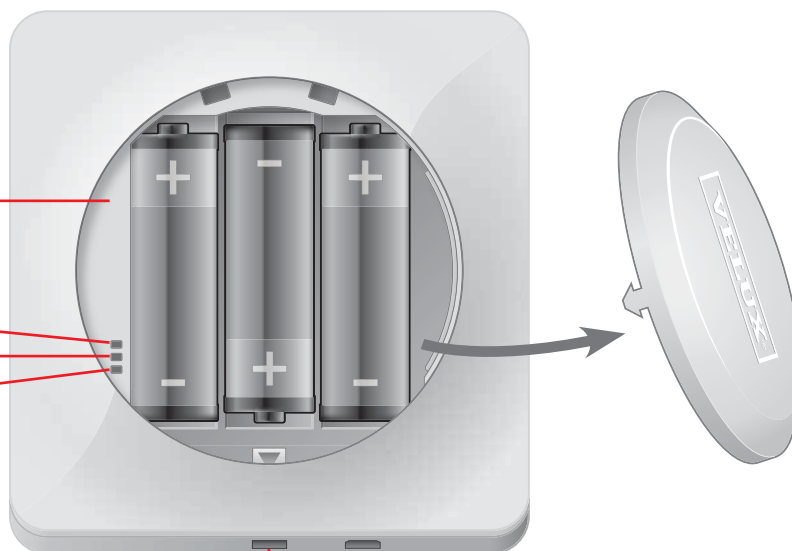
ホームボタンを押すと、スリープモード後に画面を再び ON にして、製品ナビゲーターに 1 つ目の製品を表示する。ホームボタンを 3 秒間押さえ続けると全ての製品を停止する。

電池ケース

LED

キーボタン

リセットボタン



電池ケースの蓋の解除ボタン

操作
基本操作

2

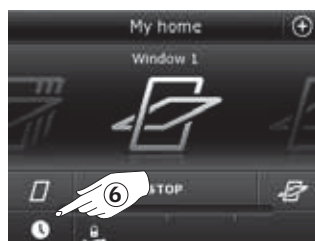
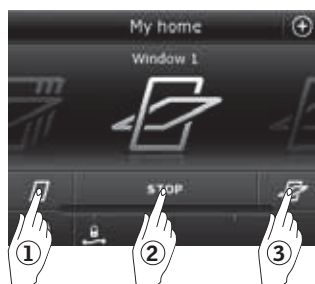
全ての製品は、画面でアイコンまたはボタンを押す、あるいは、スライダーをドラッグおよびバーを押すことによって操作することができます。

操作する製品は製品ナビゲーター画面の中央に表示されます。複数の製品がリモコンに登録されている場合は、製品が画面の両側に陰影で表示されます。画面上で矢印の方向に指を滑らせることによって操作したい製品を選択してください。



天窓の操作

- ① 閉める
- ② ストップ
- ③ 開ける
- ④ 換気フラップだけを開ける。(中軸回転式天窓のみ)
- ⑤ 天窓を希望の位置で開けるためにスライダーをドラッグ、または、バーを押します。右下に0～100の位置が表示されます。
- ⑥ 所定の時間の経過後に自動的に天窓を閉めるには、時計を押します。
- ⑦ 天窓を開いている時間(分)を選択して、「OK」を押します。
- ⑧ 左下のコーナー部のアイコンで、天窓があと何分間開いているかが表示されます。



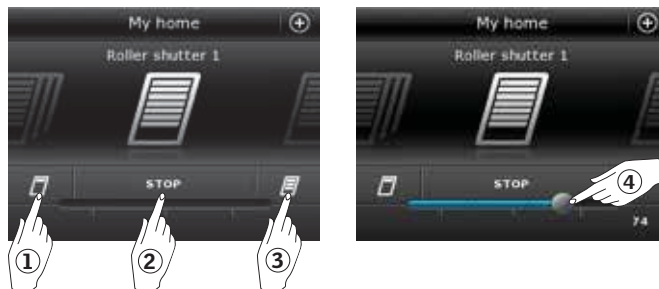
操作
基本操作

2

ブラインドの操作

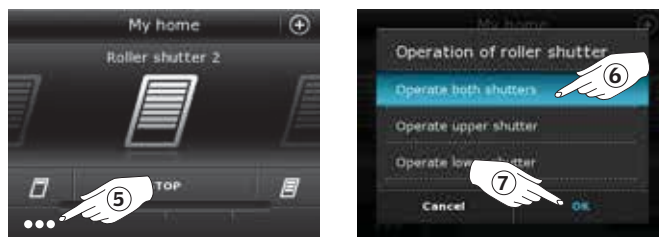
ブラインド

- ① 上げる
- ② ストップ
- ③ 下げる
- ④ スライダーをドラッグまたはバーを押してブラインドの位置を設定します。右下に0～100の位置が表示されます。



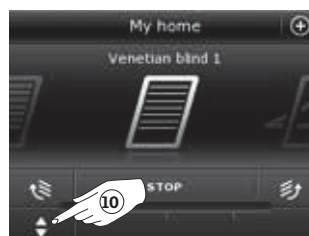
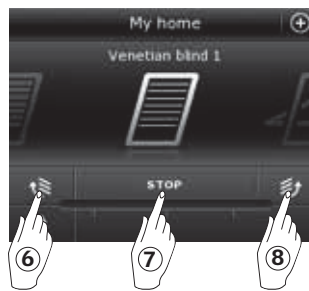
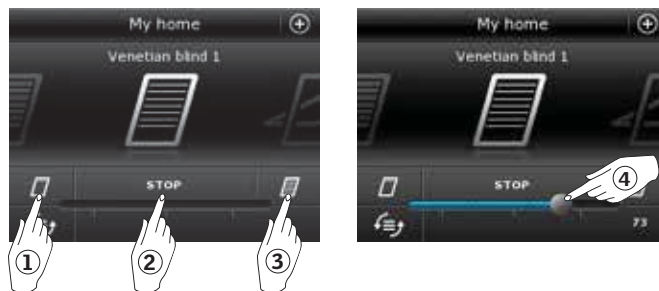
昇降操作ができるローラーシャッター（日本仕様は対象外）

- ⑤ ●●●を押します。
- ⑥ 操作したい構成要素を押します。
- ⑦ 「OK」を押します。上に表示されているように構成要素を操作することができます。



ベネシアンブラインド（日本仕様は対象外）

- ① 上げる
- ② ストップ
- ③ 下げる
- ④ スライダーをドラッグまたはバーを押してベネシアンブラインドの位置を設定します。右下に0～100の位置が表示されます。
- ⑤ ↻を押して羽根の回転を設定します。
- ⑥ ↻を押すと羽根を上方向に回転させます。
- ⑦ ストップ
- ⑧ ↻を押すと羽根を下方向に回転させます。
- ⑨ スライダーをドラッグまたはバーを押して羽根の回転を設定します。右下に0～100の回転が表示されます。
- ⑩ ⬆️を押すとベネシアンブラインドの位置の設定に戻ります。

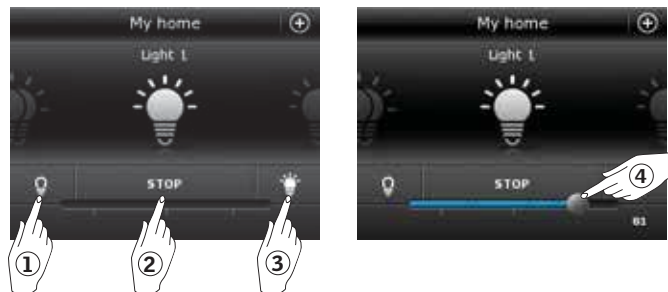


操作
基本操作

2

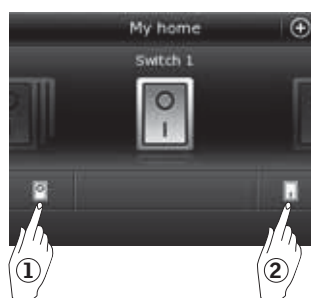
ライトの操作 (日本仕様は対象外)

- ① 消灯
- ② ストップ
- ③ 点灯
- ④ スライダーをドラッグまたはバーを押して光の強さを設定します。右下に 0 ~ 100 の強さが表示されます。



on/off スイッチに接続された製品の操作 (日本仕様は対象外)

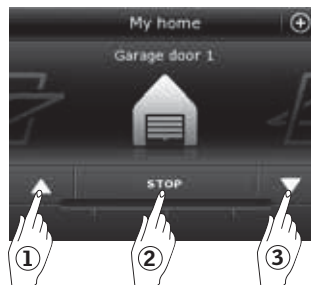
- ① off にする
- ② on にする



他の種類の io-homecontrol® 製品の操作 (日本仕様は対象外)

- ① 開ける
- ② ストップ
- ③ 閉める

注意: 例はガレージのドアを示しています。



製品の位置

「ストップ」を押すと、製品の位置が製品ナビゲーター画面の右下に表示されます。例えば、天窓がどのくらい開いているかがわかります。



電源を入れる／ホーム／全ての製品を停止

リモコンの電池寿命を延ばすために、画面は操作が終わるとすぐにスリープモードに入ります。△を押すことによって再び画面を ON にすることができます。

画面が ON になっているときに △ を 1 回押すと製品ナビゲーターの 1 つ目の製品に戻ります。

△ を少なくとも 3 秒間押さえ続けると全ての製品が停止します。



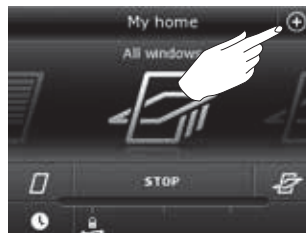
操作

プログラム - プログラムの使用

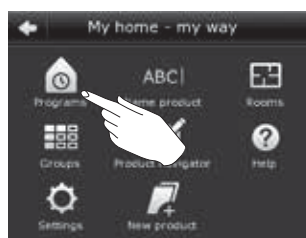
2

プログラムによって製品を日常生活に合わせるすることができます。定期的
に家を換気すること、必要時に日中の屋内温度を低く保つこと、夜間
の熱損失を減少させることができます。

画面の右上の ⊕ を押してプログラムにアクセスします。



「プログラム」の下に、リモコンに登録された製品に使用できる VELUX
プログラムがあります。登録されている製品の種類が多いほど、使用
できる VELUX プログラムは多くなります。8 つの VELUX プログラムが
あります。



2 つのプログラムは作動させると一度だけ実行されます。これらのプロ
グラムを編集することができます。



換気



外出

5 つのプログラムは作動させると、プログラムを停止させるまで設定スケ
ジュールに従って自動的に繰り返し実行されます。各プログラムのアイコン
の右下の時計はプログラムが繰り返し実行されることを示しています。



おはよう



ブラインド



おやすみ



休暇中



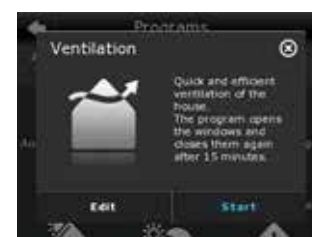
屋内環境

さらに、ご自身のプログラムを作ることができます。「プログラムを作成
する」の章を参照してください。ここで、ご希望通りにプログラム設定
を組み合わせることができます。

1 つの VELUX プログラムを選ぶとその内容が画面上に表示されます。
← を押して戻ります。

「スタート」を押してプログラムを作動させます。「編集」を押してプロ
グラムの個々の動作/設定をご希望に合わせて変更します。

⊗ を押して戻ります。



操作

プログラム - VELUX プログラム

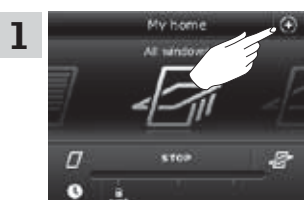
2

プログラムを使用する

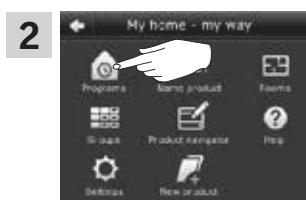
VELUX プログラムの使い方の 2 つの例を表示します。

例 1

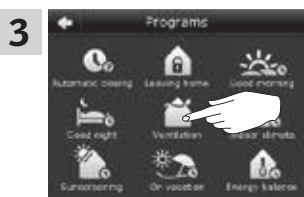
「換気」プログラムで天窓の開閉が簡単に行えます。
この例はその使い方を示します。



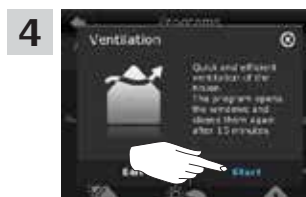
1 ⊕を押します。



2 「プログラム」を押します。



3 「換気」を押します。



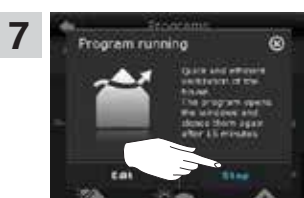
4 「スタート」を押します。



5 画面はアクセスしやすくするために製品ナビゲーターにプログラムを追加したいかどうかを尋ねてきます。「No」を押します。
注意: 製品ナビゲーターにプログラムを追加したい場合は「Yes」を押します。(14 頁参照)



6 プログラムが実行されているときは時計が青色になります。停止するときは「換気」を押してプログラムを停止します。



7 「ストップ」を押します。



8 ◁を押して終了します。

操作

プログラム - VELUX プログラム

2

例 2

「外出」プログラムは、確実に全ての天窓を閉めて、登録されている全てのロックを動作させます。例はその使い方を示します。

- 1**  ⊕を押します。
- 2**  「プログラム」を押します。
- 3**  「外出」を押します。
- 4**  「スタート」を押します。
注意:画面は天窓が手動で開けられたかどうかを通知します。家のセキュリティを確保するには、手動で開けられた天窓は手動で閉めなければなりません。
- 5**  これで「ロックを外す」を押すまで家のセキュリティが確保されます。

注意!



「外出」をスタートした後も、通常、別のリモコンまたは制御装置で製品を操作することができます。



ただし、プログラムを起動させようとすると、画面に操作はブロックされていますと表示されます。

操作

プログラム - VELUX プログラム

2

プログラムを編集する

プログラムをより使いやすくするためにプログラムの設定を変更できます。

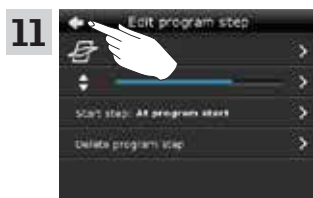
例は、「換気」プログラムの設定を、1つの天窓だけを開けてその開放位置を設定する方法を示します。

- 1**  ⊕を押します。
- 2**  「プログラム」を押します。
- 3**  「換気」を押します。
- 4**  「編集」を押します。
- 5**  「プログラムを設定」を押します。
- 6**  「全ての天窓」を押します。
- 7**  「全ての天窓」を押します。
- 8**  開けない天窓のチェック印を外します①。
注意：個々の製品はアイコンを押すことによって特定することができます。「製品を見つける」の章も参照してください。
⇒を押します②。
- 9**  青いスライダー付きのバーを押してください。
- 10**  スライダーをドラッグまたはバーを押して天窓を希望の位置まで開けます。右下に0～100の位置が表示されます①。
⇒を押します②。

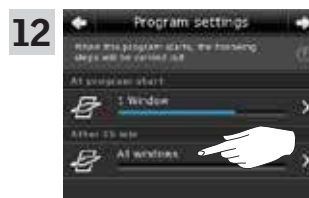
操作

プログラム - VELUX プログラム

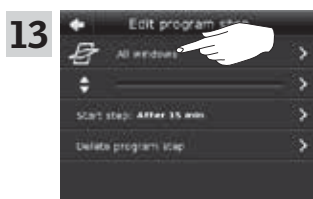
2



11 ◀を押します。



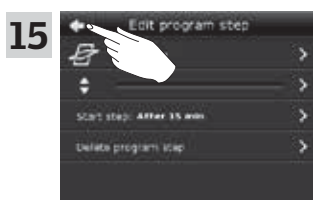
12 「全ての天窓」を押します。



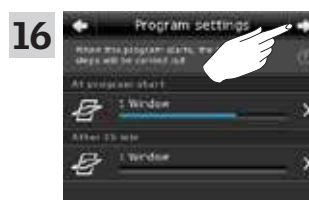
13 「全ての天窓」を押します。



14 閉めない天窓のチェック印を外します①。
注意:個々の製品はアイコンを押すことによって特定することができます。「製品を見つける」の章も参照してください。
⇒を押します②。



15 ◀を押します。



16 ⇒を押します。



17 ◻を押して終了します。

操作

プログラム - VELUX プログラム

2

製品ナビゲーターにプログラムを追加する

製品ナビゲーターにプログラムを配置してプログラムを起動しやすくなります。
例は、製品ナビゲーターに「換気」プログラムを追加する方法を示します。

- 1**  「換気」を押します。
- 2**  「スタート」を押します。
- 3**  画面は製品ナビゲーターにプログラムを追加したいかどうかを尋ねてきます。「Yes」を押します。
- 4**  これでプログラムが製品ナビゲーターに追加されました。製品ナビゲーターからより簡単にプログラムにアクセスできます。

デフォルト設定にリセットする

設定をキャンセルするために、デフォルト設定にリセットすることができます。

- 1**  「換気」を押します。
- 2**  「編集」を押します。
- 3**  「デフォルト設定にリセット」を押します。
- 4**  「Yes」を押します。

操作

プログラム - 独自のプログラム

2

プログラムを作成する

VELUX のプログラムにご希望の動作が含まれていない場合、独自のプログラムを作成することができます。例えば、毎日、特定の時間に部屋を換気するなどの場合です。

例は、「Night cooling」という名前のプログラムの作成方法を示します。

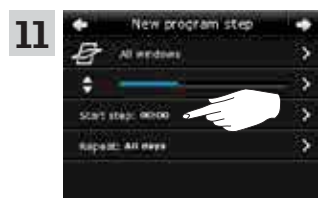
- 1**  ⊕を押します。
- 2**  「プログラム」を押します。
- 3**  「独自のプログラム」を押します。
- 4**  「プログラムを作成」を押します。
- 5**  選択された日にプログラム動作を繰り返したい場合は、「スケジュールによるプログラム」を押します①。
注意:プログラムをすぐに実行したい場合のみ「プログラム」を押してください。
⇒を押します②。
- 6**  「製品の追加」を押します。
- 7**  「天窓」を押します①。
⇒を押します②。
- 8**  画面を下にスクロールして、プログラムに含めたい天窓にチェック印をつけます①。
注意:個々の製品はアイコンを押すことによって特定することができます。「製品を見つける」の章も参照してください。
⇒を押します②。
- 9**  「位置設定」を押します。
- 10**  スライダーをドラッグまたはバーを押して天窓の開放位置を設定します。右下に0～100の位置が表示されます①。
⇒を押します②。

次の頁に続く

操作

プログラム - 独自のプログラム

2



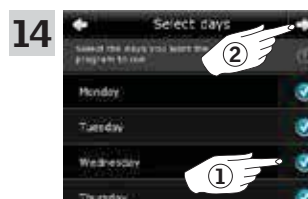
11 「ステップの実行：00:00」を押します。



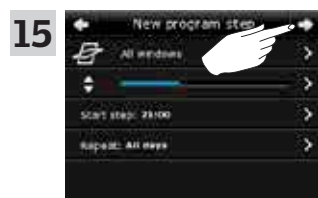
12 ホイールを回転させて天窓を開ける時間を設定します①。「OK」を押します②。



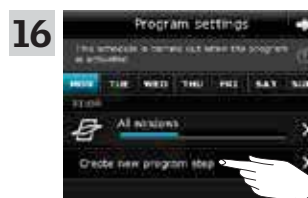
13 「リピート：毎日」を押します。



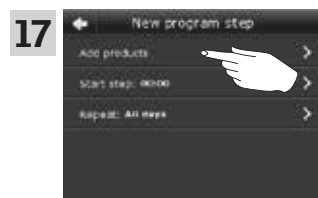
14 画面を下にスクロールしてプログラムに含めない曜日のチェック印を外します①。⇒を押します②。



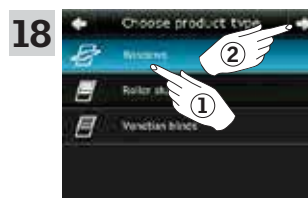
15 ⇒を押します。



16 「新しいプログラムステップの作成」を押して、天窓を再び閉める時間を設定します。



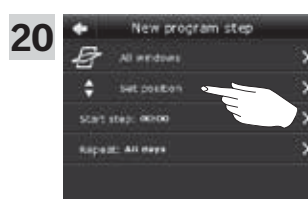
17 「製品の追加」を押します。



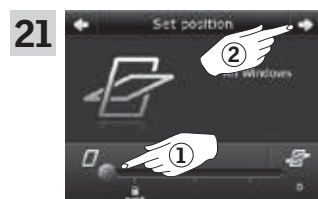
18 「天窓」を押します①。⇒を押します②。



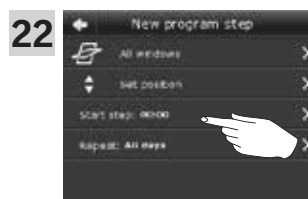
19 画面を下にスクロールして、プログラムに含める天窓にチェック印を付けます①。
注意：個々の製品はアイコンを押すことによって特定することができます。「製品を見つける」の章も参照してください。
⇒を押します②。



20 「位置設定」を押します。



21 スライダーをドラッグまたはバーを押して天窓の開放を0%に設定します。右下に0～100の位置が表示されます①。
⇒を押します②。



22 「ステップの実行：00:00」を押します。

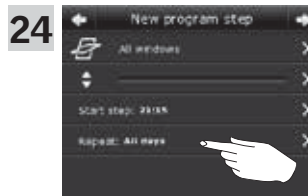
操作

プログラム - 独自のプログラム

2



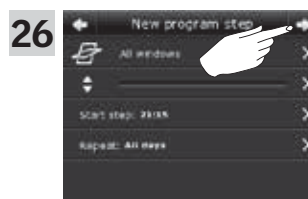
ホイールを回転させて天窓を開める時間を設定します①。
「OK」を押します②。



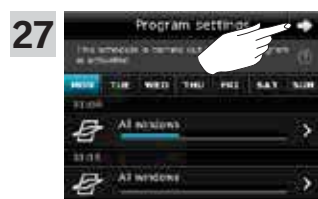
「リピート：毎日」を押します。



画面を下にスクロールして、プログラムに含めない曜日のチェック印を外します①。
⇒を押します②。



⇒を押します。



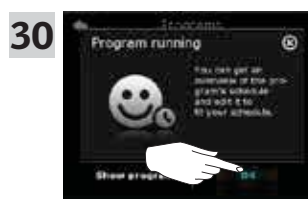
⇒を押します。



プログラムの名前を入力します。この例では「Night cooling」を入力します①。
キーボードの使用については、「キーボード」の章を参照してください。（日本語版ではこの入力では行えません。名前は「プログラム1」となります。）
⇒を押します②。



「スタート」を押してプログラムを起動させます。



「OK」を押します。



「Night cooling」プログラムがプログラム一覧の中にあります。この一覧からいつでもプログラムのスタート、ストップ、編集をすることができます。プログラムをスタートすると時計が青色になります。

操作

プログラム - 独自のプログラム

2

プログラムを編集する

プログラムの内容をよりご希望に沿うように変更できます。

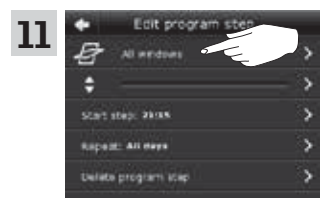
例は、天窓3を「Night cooling」プログラムから外すように設定を変更する方法を示します。

- 1  ⊕を押します。
- 2  「プログラム」を押します。
- 3  「Night cooling」を押します。
- 4  「編集」を押します。
- 5  「プログラムの設定」を押します。
- 6  「全ての天窓」を押します。
- 7  「全ての天窓」を押します。
- 8  開けない天窓のチェック印を外します①。
注意：個々の製品はアイコンを押すことによって特定することができます。「製品を見つける」の章も参照してください。
⇒を押します②。
- 9  ◀を押します。
- 10  「全ての天窓」を押します。

操作

プログラム - 独自のプログラム

2



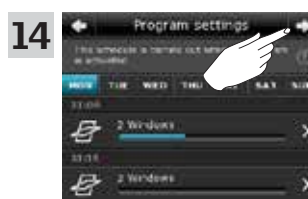
「全ての天窓」を押します。



閉めない天窓のチェック印を外します①。
注意: 個々の製品はアイコンを押すことによって特定することができます。「製品を見つける」の章も参照してください。
⇒を押します②。



←を押します。



⇒を押します。



△を押して終了します。

操作

プログラム - 独自のプログラム

2

製品ナビゲーターにプログラムを追加する

製品ナビゲーターにプログラムを配置してプログラムを起動しやすくなります。

例は、製品ナビゲーターに「Night cooling」プログラムを追加する方法を示します。

- 1**  ⊕ を押します。
- 2**  「プログラム」を押します。
- 3**  「Night cooling」を押します。
- 4**  「編集」を押します。
- 5**  「製品ナビゲーターに表示」にチェック印を付けます。
- 6**  ◁ を押して終了します。
- 7**  これでプログラムが製品ナビゲーターに追加されました。製品ナビゲーターからプログラムの開始および停止をすることができます。

操作

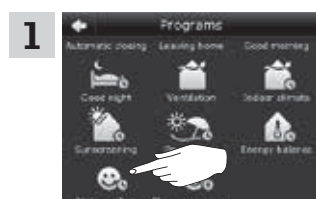
プログラム - 独自のプログラム

2

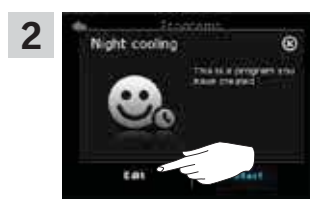
プログラムの名前を再設定する (日本仕様は対象外)

独自のプログラムの名前を再設定することができます。

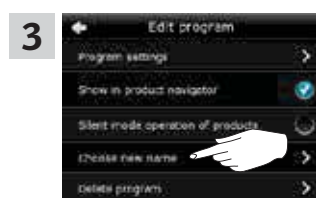
例では、「Night cooling」プログラムの名前を「Night Program」に変更します。



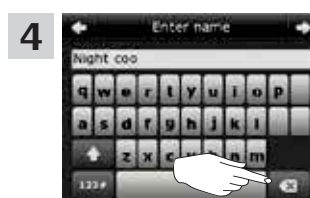
「Night cooling」を押します。



「編集」を押します。



「新しい名前の選択」を押します。



〈X〉を繰り返し押して現在の名前を削除します。キーボードの使用については、「キーボード」の章を参照してください。



プログラムに新しい名前、この例では「Night program」、を入力します①。
⇒を押します②。



「OK」を押します。



△を押して終了します。



製品ナビゲーターに新しい名前のプログラムを見つけることができます。

操作

プログラム - 独自のプログラム

2

サイレントモード運転

スケジュールに従って実行されるプログラムによって起動時にサイレントモード運転に設定されている製品があります。「プログラムを使用する」の章も参照してください。例えば、夜に自動的に製品を作動させる場合に便利です。サイレントモード運転に設定されている製品は運転速度が遅くなることにご留意ください。サイレントモード運転から脱ければ製品の動作は速くなります。

例は、「Night cooling」プログラムによって操作される製品のサイレントモード運転を解除する方法を示します。

- 1  「Night cooling」を押します。
- 2  「編集」を押します。
- 3  「製品のサイレントモードを作動」のチェック印を外します。
- 4  これでサイレントモード運転が解除されました。
- 5  ◁を押して終了します。

プログラムを削除する

独自のプログラムをもう使用したくない場合は、それを削除することができます。


例は「Night cooling」プログラムを削除する方法を示します。

- 1  「Night cooling」を押します。
- 2  「編集」を押します。
- 3  「プログラムの削除」を押します。
- 4  「Yes」を押します。

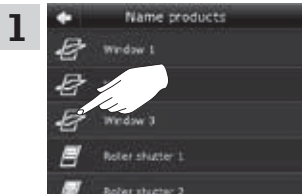
操作
スマート操作

2

製品を見つける

製品ナビゲーターで製品を見分けるのは難しいかもしれません。疑わしい場合は、製品のアイコン、例えば、天窓 3 の  を押すことで対象の製品を特定することができます。

下記の例は、例えば天窓 3 の名前を再設定しようとする場合に、天窓 3 を見つける方法を示します。



1 「天窓 3」の  を押します。



2 「表示」を押します。



3 天窓 3 が短い間、前後に動きます。これによってどの天窓か確認できます。「天窓 3」を押します。続けて天窓の名前の再設定や別の製品を確認することができます。

キーボード (日本仕様は対象外)

自動的に作成された名前を変更するために、キーボードで新しい名前を入力することができます。キーボードは使用可能なときだけ表示されます。

キーボードの機能:



小文字と大文字および数字と特殊記号を切り換えます

文字と数字を切り換えます

最後に入力された文字を削除します

例は、グループの名前を再設定してグループを「Group1」と呼びたい場合のキーボードの使い方を示します。



1 「Group」と入力します①。「123#」を押して数字に切り換えます②。



2 スペースバーを押します①。「1」を入力します②。⇒を押して続けます③。

操作
スマート操作

2

製品の名前を再設定する

製品を見つけやすく操作しやすくするために製品の名前を変更することができます。
例は、天窗4と天窗5の名前をそれぞれ「左」と「右」に変更する方法を示します。

- 1**  ⊕を押します。
- 2**  「製品名を設定」を押します。
- 3**  「天窗4」を押します①。
注意：個々の製品はアイコンを押すことによって特定することができます。「製品を見つける」の章も参照してください。
⇒を押します②。
- 4**  画面を下にスクロールして一覧で製品の名前を見つけます。
注意：「名前を入力」を押すことによって独自の名前を入力することもできます。キーボードの使用については、「キーボード」の章を参照してください。
(日本仕様は対象外)
- 5**  「左」を選択します①。
⇒を押します②。
- 6**  「OK」を押します。
- 7**  「天窗5」を押します①。
⇒を押します②。
- 8**  「右」を選択します①。
⇒を押します②。
- 9**  「OK」を押します。
- 10**  △を押して終了します。
- 11**  これでこの天窗は製品ナビゲーターで「左」と「右」と表示されます。

操作

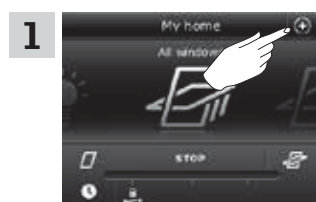
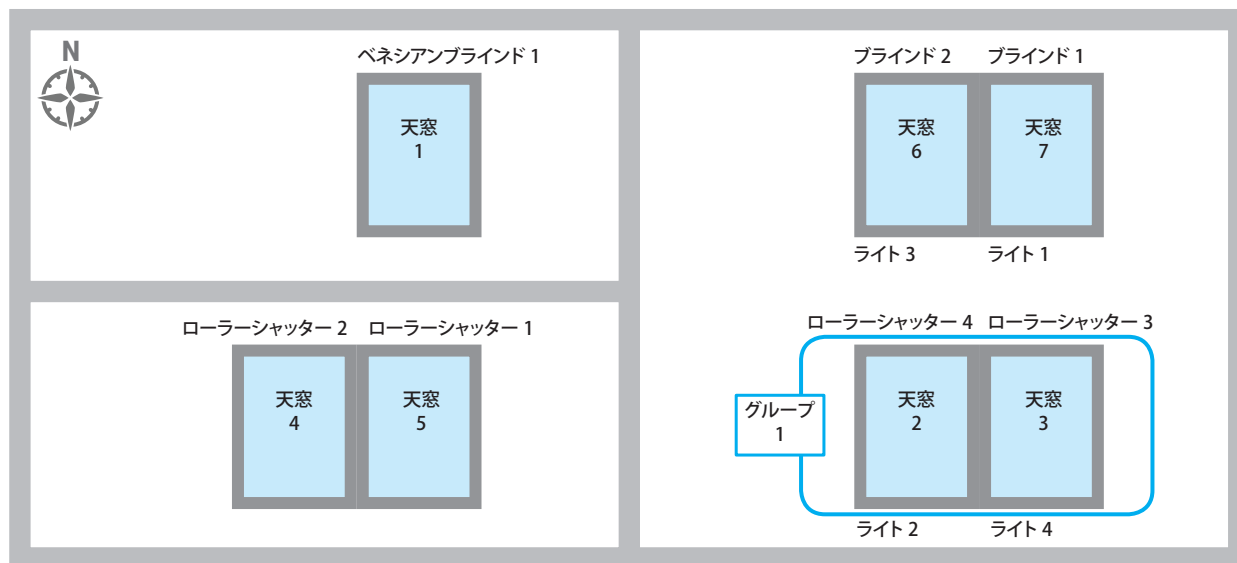
スマート操作 - グループ

2

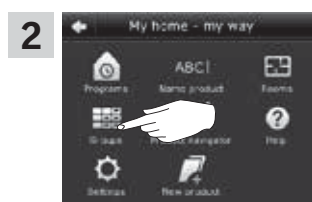
グループを作成する

同じ種類のいくつかの製品をお持ちの場合、それらの製品をグループ化することで同時に操作することができます。例えば、1つのボタンを押すことによって南向きの全ての天窓あるいは1つの部屋の全ての天窓を開閉することができます。

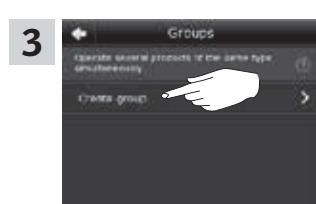
例は、天窓2と天窓3を含む「グループ1」の作成方法を示します。(ローラーシャッター・ベネシアンブラインドは日本仕様対象外です。)



⊕を押します。



「グループ」を押します。



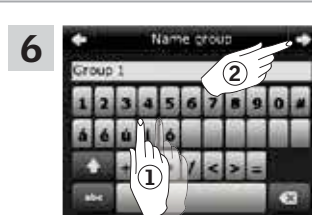
「グループを作成」を押します。



「天窓」を押します①。
⇒を押します②。



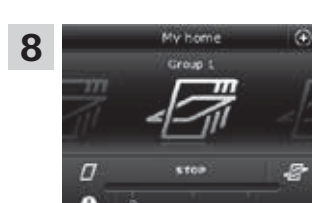
画面を下にスクロールしてグループに含める天窓にチェック印を付けます①。
注意: 個々の製品はアイコンを押すことによって特定することができます。「製品を見つける」の章も参照してください。
⇒を押します②。



グループの名前、この場合は「Group1」を入力します①。
キーボードの使用については、「キーボード」の章を参照してください。(日本語版ではこの入力では行えません。自動で名前は「グループ1」になります。)
⇒を押します②。



「グループを作動」を押して終了します。
注意: 他のグループの設定をするには「他のグループを作成」を押します。



製品ナビゲーターに「グループ1」が表示されます。

操作

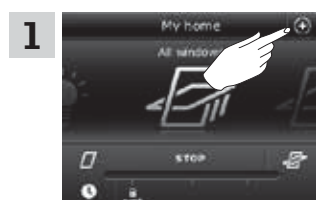
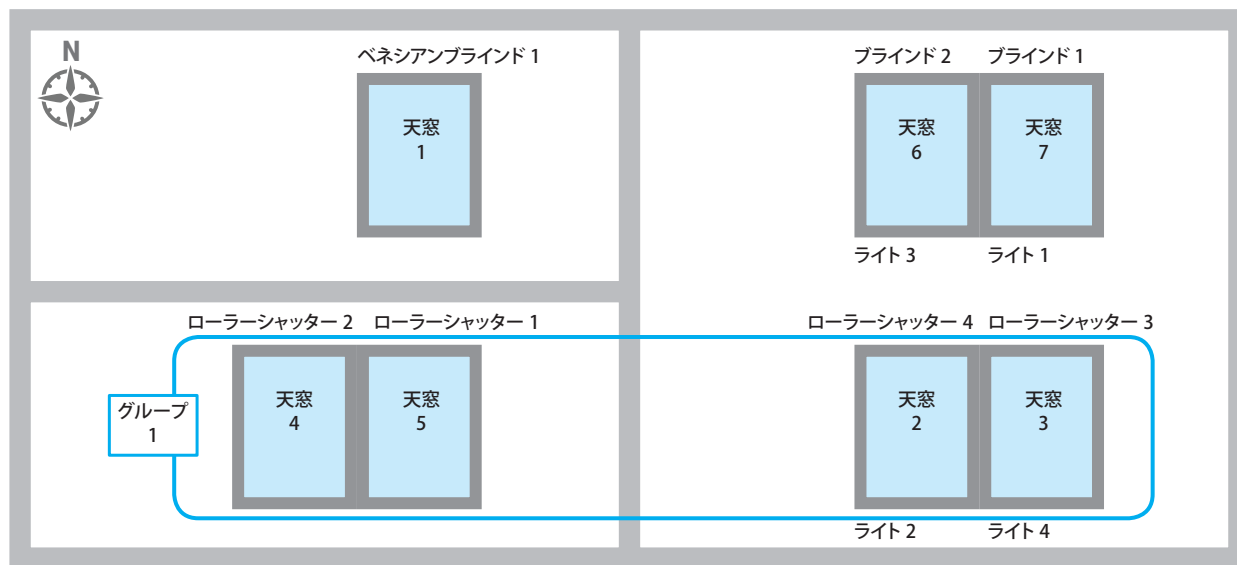
スマート操作 - グループ

2

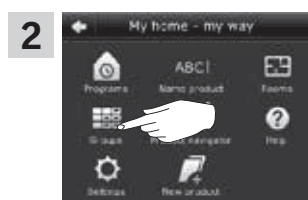
グループを編集する

製品を追加または削除することによってグループの内容を変更することができます。

例は、すでに天窓 2 と天窓 3 から構成されている「グループ 1」に天窓 4 と天窓 5 を追加する方法を示します。(ローラーシャッター・ベネシアンブラインドは日本仕様対象外です。)



1 ⊕を押します。



2 「グループ」を押します。



3 「グループを編集」を押します。



4 「グループ 1」を押します ①。
⇒を押します ②。



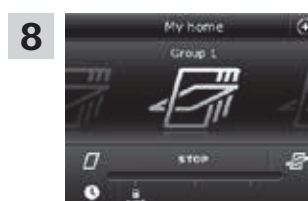
5 画面を下にスクロールして当該天窓を見つけます。
注意: 個々の製品はアイコンを押すことによって特定することができます。「製品を見つける」の章も参照してください。



6 グループ ① に追加する天窓にチェック印を付けます。
注意: 同様に、チェック印を外すことによって製品をグループから削除することができます。
⇒を押します ②。



7 「グループを作動」を押して終了します。
注意: 他のグループの設定をするには「他のグループを編集」を押します。



8 製品ナビゲーターに、追加製品を含む「グループ 1」が表示されます。

操作

スマート操作 - グループ

2

グループの名前を再設定する (日本仕様は対象外)

グループの名前を変更することができます。

例は、名前を「グループ 1」から「South windows」に変更する方法を示します。

- 1**  ⊕を押します。
- 2**  「グループ」を押します。
- 3**  「グループの名前を再設定」を押します。
- 4**  「グループ 1」を押します ①。
⇒を押します ②。
- 5**  グループの名前、この場合は「South windows」を入力します ①。
キーボードの使用については、「キーボード」の章を参照してください。
⇒を押します ②。
- 6**  「グループを作動」を押して終了します。
注意:他のグループの設定をするには「他のグループに名前を設定」を押します。
- 7**  これでこのグループは製品ナビゲーターに「South windows」と表示されます。

操作

スマート操作 - グループ

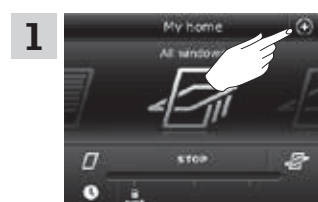
2

グループを削除する

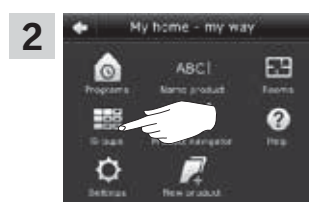
不要になったグループがあれば削除することができます。

例は、グループ「South windows」を削除する方法を示します。

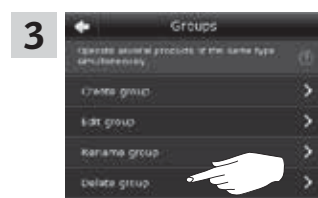
注意: このグループだけが削除されます。製品ナビゲーターを介して製品を個々に操作することはできません。



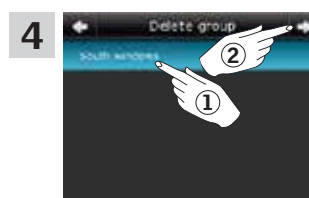
⊕を押します。



「グループ」を押します。



「グループを削除」を押します。



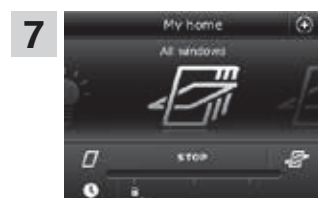
削除するグループ、この場合は「South windows」を押します①。
⇒を押します②。



「Yes」を押します。



△を押して終了します。



製品ナビゲーターの中にグループ「South windows」はありません。ただし、製品ナビゲーターを介して製品を個々に操作することはできます。

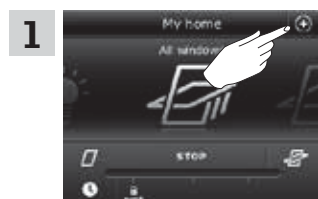
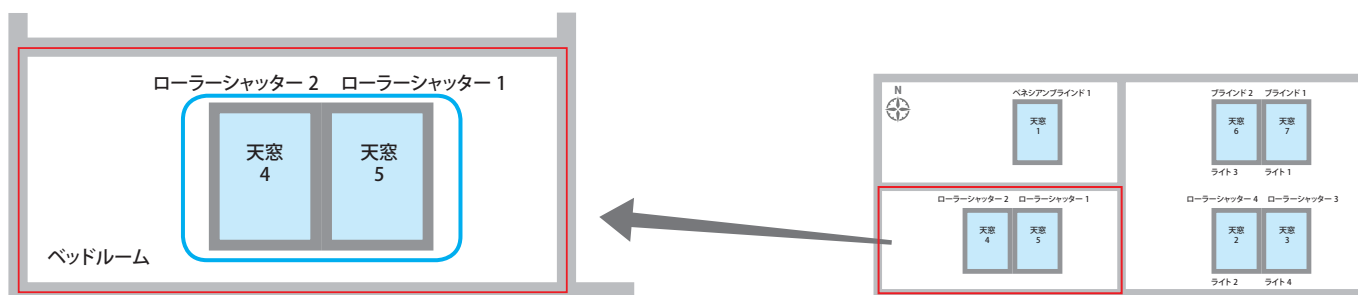
操作
スマート操作 - ルーム

2

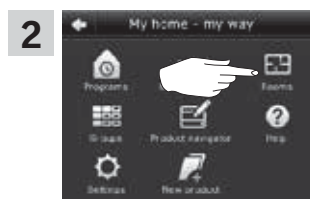
ルームを作成する

家の実際の部屋に対応するルームを作成して VELUX 製品をその中に配置することができます。これによって必要な製品を見つけやすく操作しやすくなります。

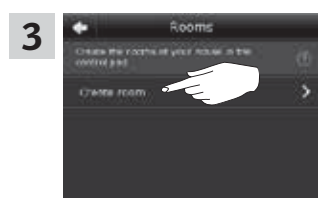
例は、天窓 4 と天窓 5 を中に含むルーム「ベッドルーム」を作成する方法を示します。(ローラーシャッター・ベネシアンブラインドは日本仕様対象外です。)



1 ⊕ を押します。



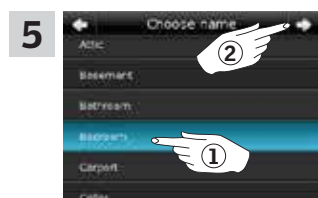
2 「ルーム」を押します。



3 「ルームを作成」を押します。



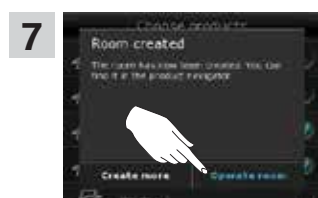
4 画面を下にスクロールして一覧でルームの名前を見つけます。
注意:「名前を入力」を押すことによって独自の名前を入力することもできます。キーボードの使用については、「キーボード」の章を参照してください。(日本仕様は対象外)



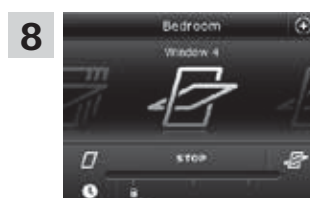
5 「ベッドルーム」を選択します①。
⇒を押します②。



6 画面を下にスクロールしてそのルームの天窓にチェック印を付けます①。
注意:個々の製品はアイコンを押すことによって特定することができます。「製品を見つける」の章も参照してください。
⇒を押します②。



7 「ルームを作動」を押して終了します。
注意:他のルームの作成するには「他のルームを作成」を押します。



8 これで製品ナビゲーターに「ベッドルーム」が表示されます。

操作

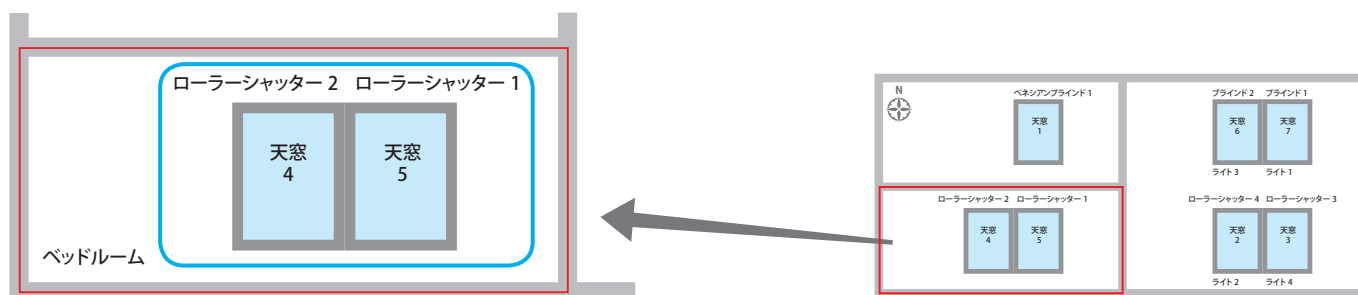
スマート操作 - ルーム

2

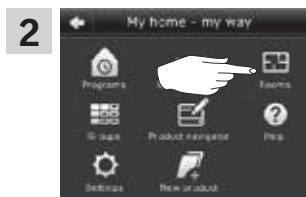
ルームを編集する

製品を追加または削除することによってルームの内容を変更することができます。

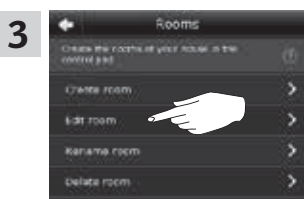
例は、すでに天窓 4 と天窓 5 から構成されているルーム「ベッドルーム」にローラーシャッター 2 とローラーシャッター 1 を追加する方法を示します。(ローラーシャッター・ベネシアンブラインドは日本仕様対象外です。)



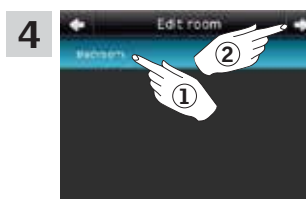
① を押します。



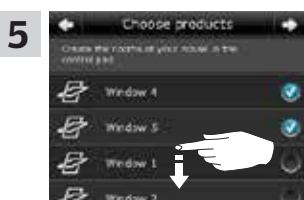
「ルーム」を押します。



「ルームを編集」を押します。



「ベッドルーム」を押します ①。
⇒ を押します ②。



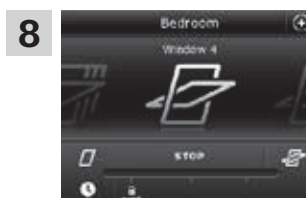
画面を下にスクロールしてルームのローラーシャッターを見つけてください。
注意: 個々の製品はアイコンを押すことによって特定することができます。「製品を見つける」の章も参照してください。



このルームに追加するローラーシャッターにチェック印を付けます ①。
注意: 同様に、製品はチェック印を削除することによってルームから削除することができます。
⇒ を押します ②。



「ルームを作動」を押して終了します。
注意: 他のルームの設定をするには「他のルームを編集」を押します。



これで、製品ナビゲーターのルーム「ベッドルーム」の変更内容を見ることができます。

操作

スマート操作 - ルーム

2

ルームの名前を再設定する（日本仕様は対象外）

ルームの名前を変更することができます。

例は、「ベッドルーム」という名前を「子供部屋」に変更する方法を示します。

- 1**  ⊕を押します。
- 2**  「ルーム」を押します。
- 3**  「新しい名前を選ぶ」を押します。
- 4**  「ベッドルーム」を押します①。
⇒を押します②。
- 5**  画面を下にスクロールして一覧でルームの名前を見つけてください。
注意:「名前を入力」を押すことによって独自の名前を入力することもできます。キーボードの使用については、「キーボード」の章を参照してください。（日本仕様は対象外）
- 6**  「子供部屋」を選択します①。
⇒を押します②。
- 7**  「ルームを作動」を押して終了します。
注意:他のルームについては設定をするには「他のルームの名前を変更」を押してください。
- 8**  これでルームは製品ナビゲーターに「子供部屋」と表示されています。

操作

スマート操作 - ルーム

2

ルームを削除する

不要になったルームを削除することができます。

例は、ルーム「子供部屋」を削除する方法を示します。

注意: このルームだけが削除されます。製品ナビゲーターを介して製品を個々に操作することはできます。

- | | | | |
|---|---|--|--|
| <p>1</p>  | <p>⊕を押します。</p> | <p>2</p>  | <p>「ルーム」を押します。</p> |
| <p>3</p>  | <p>「ルームの削除」を押します。</p> | <p>4</p>  | <p>削除するルーム、この場合は「子供部屋」を押します①。
⇒を押します②。</p> |
| <p>5</p>  | <p>「Yes」を押します。</p> | <p>6</p>  | <p>△を押して終了します。</p> |
| <p>7</p>  | <p>製品ナビゲーターの中にルーム「子供部屋」はありません。
ただし、製品ナビゲーターを介して製品を個々に操作することはできます。</p> | | |

操作

スマート操作 - お気に入り

2

製品ナビゲーターの製品の順番を編集する

他の製品、グループまたはプログラムよりも使用頻度が多い製品、グループまたはプログラムがある場合は、製品ナビゲーターで表示する順番を変えると便利です。

例は、製品ナビゲーターに天窓 4 と天窓 5 を最初に置く方法を示します。

- 1**  ⊕を押します。
- 2**  「製品ナビゲーター」を押します。
- 3**  「製品の順番」を押します。
- 4**  画面を下にスクロールして該当する製品、この場合は「天窓 4」を見つけます。
注意: 個々の製品はアイコンを押すことによって特定することができます。「製品を見つける」の章も参照してください。
- 5**  ≡を押します。
- 6**  ▲を連続 3 回押して、天窓 4 を天窓 1 の前に置きます。
- 7**  画面を下にスクロールして該当する製品、この場合は「天窓 5」を見つけます。
注意: 個々の製品はアイコンを押すことによって特定することができます。「製品を見つける」の章も参照してください。
- 8**  天窓 5 について 5 と 6 の操作を行って、天窓 4 の下に配置します。
- 9**  ⇨を押します。
- 10**  「OK」を押します。
- 11**  ◁を押して終了します。
- 12**  これで天窓 4 と天窓 5 が製品ナビゲーターの一番上に表示されています。

操作

スマート操作 - お気に入り

2

お気に入りを編集する

「お気に入り」機能を作動させると、製品ナビゲーターには最もよく使用する製品、グループおよび/またはプログラムだけが表示されます。いつでも、再び全ての製品、グループおよび/またはプログラムを表示させるように選択することができます。

例は、天窓 1、ローラーシャッター 1 およびベネシアンブラインド 1 をお気に入りとして選択する方法を示します。その結果、これらの製品だけが製品ナビゲーターに表示されるようになります。これらの製品が設置されている部屋だけでリモコンを使用する場合に便利かもしれません。(ローラーシャッター・ベネシアンブラインドは日本仕様対象外です。)

- | | | | | | |
|---|---|---|---|--|---|
| 1 |  | ⊕を押します。 | 2 |  | 「製品ナビゲーター」を押します。 |
| 3 |  | 「お気に入り」を押します。 | 4 |  | 「お気に入りを編集」を押します。 |
| 5 |  | デフォルトとして全ての製品がお気に入りに選択されています。お気に入りに含めない製品のチェック印を外してください。
注意: 個々の製品はアイコンを押すことによって特定することができます。「製品を見つける」の章も参照してください。 | 6 |  | お気に入りに含める製品、この場合は、天窓 1、ローラーシャッター 1 およびベネシアンブラインド 1 だけにチェック印が付いた状態で ⇨ を押します。 |
| 7 |  | 「OK」を押します。 | 8 |  | ⬇を押して終了します。 |
| 9 |  | これで製品ナビゲーターには選択された3つの製品だけが表示されています。 | |  | 全ての製品を再表示するには、8で「お気に入りを表示」のチェック印を外してください。 |

操作

リモコンを使用せずに操作する

2

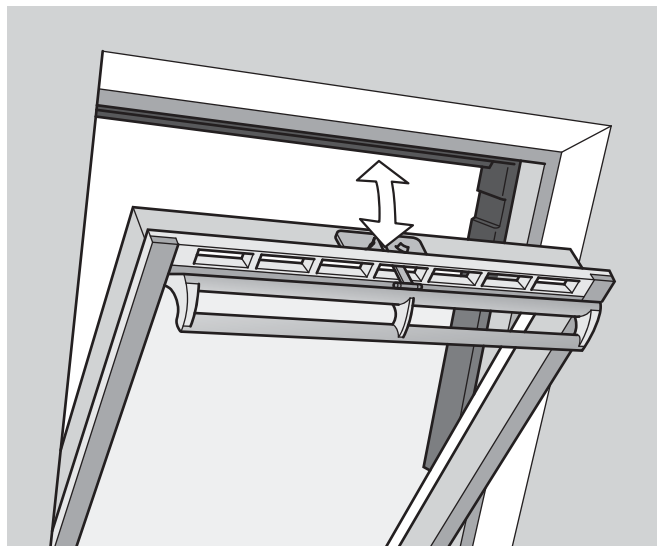
中軸回転式天窓の手動操作

中軸回転式天窓を手動で開閉することができます。

天窓がすでに開いている場合は、まずリモコンで天窓を完全に閉めてください。

- ・天窓の開閉レバーを下方向に引くことによって天窓が開けられます。
- ・開閉レバーを押し戻すことによって天窓が再び閉められます。

注意:天窓を手動で開けた場合は、リモコンで再び操作できるようにするには手動で天窓を閉めなければなりません。これは、プログラムを実行させる場合にもあてはまります。



操作

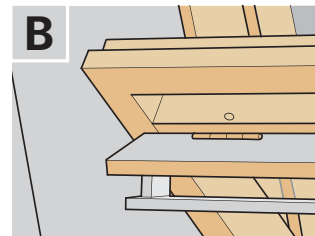
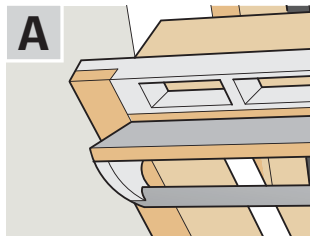
リモコンを使用せずに操作する

2

停電あるいはバッテリーが放電した場合に中軸回転式天窓を閉める

停電あるいはバッテリーが放電した場合、天窓の換気フラップのチェーンを外すことによって中軸回転式天窓を手動で閉めることができます。

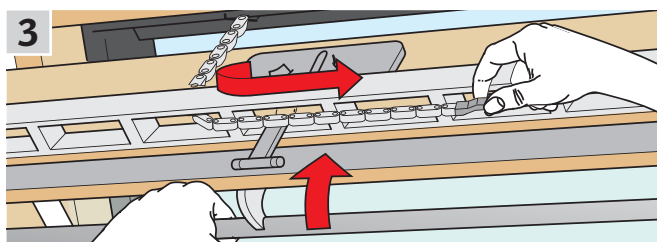
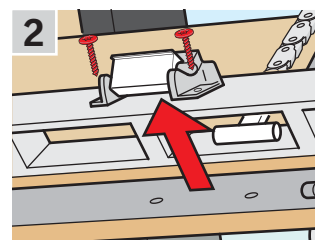
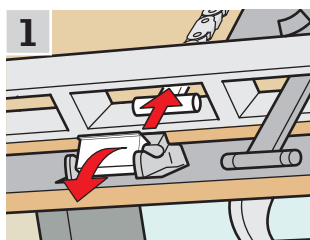
これを行う方法は、**A** または **B** のような換気フラップを有する天窓の種類によって 2 つあります。天窓の種類に応じて換気フラップのチェーンの外し方を下に示します。



A

天窓の換気フラップが **A** のような場合：

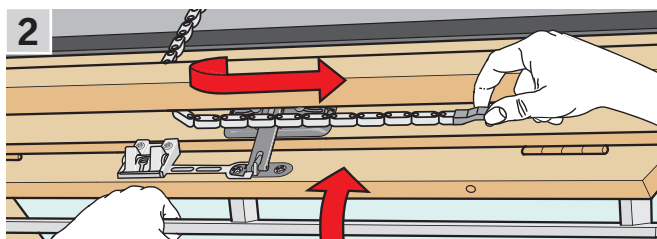
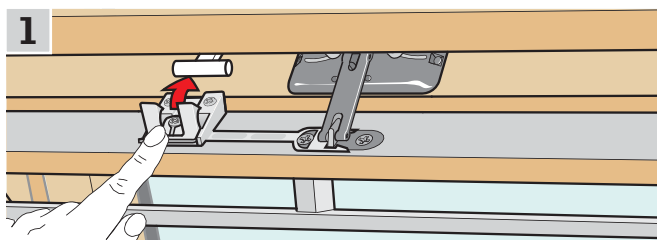
- 1 フラップブラケットの解除クリップを押すことによってチェーンを外します。
- 2 フラップブラケットを取り外します。
- 3 図示のようにチェーンを巻き付けて、天窓の換気フラップを換気位置まで閉めます。



B

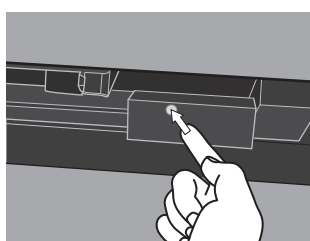
天窓の換気フラップが **B** のような場合：

- 1 フラップブラケットの解除クリップを押すことによってチェーンを外します。
- 2 図示のようにチェーンを巻き付けて、天窓を手で閉めます。



電源を再接続あるいはバッテリーを再充電したときは、チェーンを再び連結しなければなりません。

- ・天窓を手で開けて、チェーンをほどきます。
- ・**A** のような換気フラップの場合は、フラップブラケットを元通りに取り付けます。
- ・天窓オペレーターの試験ボタンを短く押すことによってチェーンを後退させます。
- ・天窓を手で閉めます。



操作

リモコンを使用せずに操作する

2

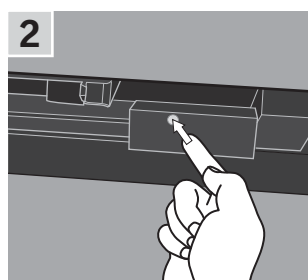
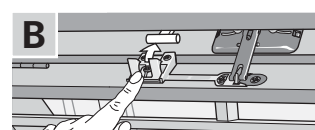
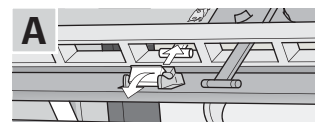
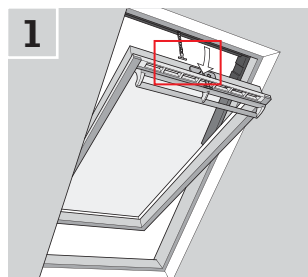
リモコンをどこかに置き忘れた場合に天窓を閉める

リモコンをどこかに置き忘れた場合、下記の操作を行うことによって天窓を閉めることができます。

注意：この機能は下に示されている製品についてのみ使用可能です。

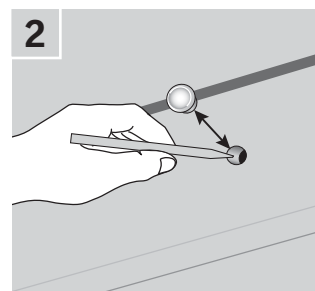
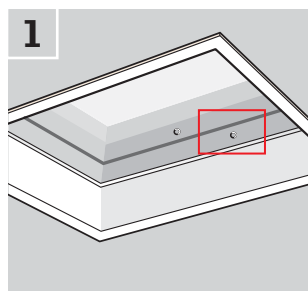
中軸回転式天窓

- 1 前頁に示される天窓の種類が **A** か **B** かを特定します。天窓の種類に応じてチェーンを外します。
- 2 天窓オペレーターの試験ボタンを短く押します。チェーンの動きが止まるまで待つてから天窓を手で閉めます。



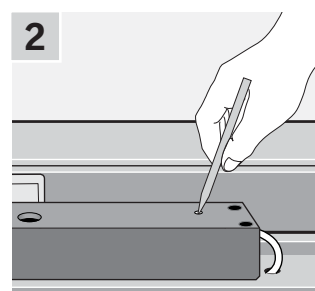
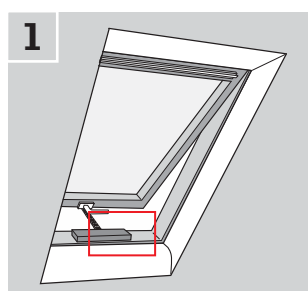
フラットルーフ天窓 (日本仕様は対象外)

- 1 枠のカバーキャップを慎重に取り外します。
- 2 カバーキャップの後ろの天窓オペレーターの試験ボタンを短く押して、カバーキャップを再び取り付けます。



押し出し式天窓

- 1 天窓オペレーターのカバーを取り外します。
- 2 天窓オペレーター試験ボタンを短く押して、カバーを再び取り付けます。



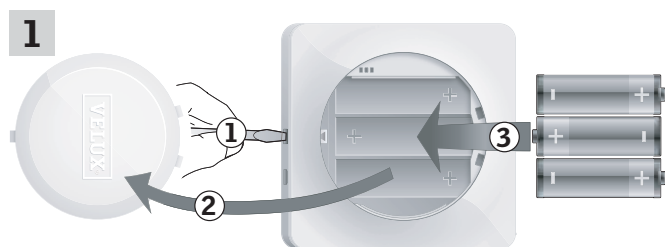
登録

新しい VELUX INTEGRA® システムの起動

3

初期登録

VELUX INTEGRA® 製品を操作できるようにする前にリモコンに製品登録をしなければなりません。



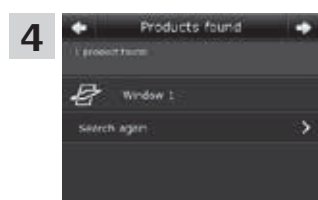
図示のようにドライバーで解除ボタンを押して電池ケースの蓋を取り外します①、②。電池(型:単 3[AA/LR6])を挿入します③。蓋を元通りに取り付けます。



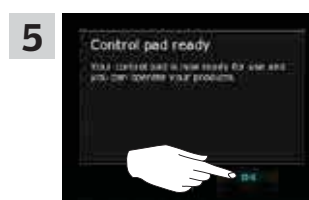
画面で、ホイールを矢印の方向に回転させて言語を選びます①。⇒を押します②。



画面の指示に従ってください。準備ができたら⇒を押してください。



リモコンが**全ての**製品を見つけたら⇒を押します。
注意:リモコンが**全ての**製品を見つけた場合は「再検索」を押して、画面の指示に従ってください。製品が電源に接続されているのにリモコンが全ての製品を見つけない場合は、「初期登録が失敗した場合」の章に進んでください。



「OK」を押します。

登録

新しい VELUX INTEGRA® システムの起動

3

初期登録が失敗した場合

リモコンが一部の製品を見つけることができない場合、その製品を手動で工場初期設定にリセットすることで製品の登録準備をすることができます。

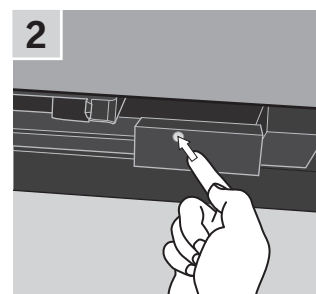
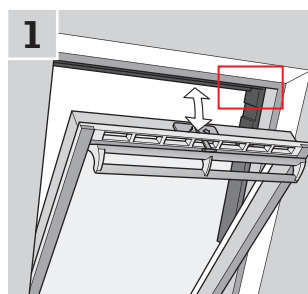
注意: リセットされた製品はリモコンに登録されるまで操作できません。「初期登録」の章を参照してください。

天窓の種類によって製品を異なる方法でリセットすることができます。

注意: 下に示されていない製品のリセットにつきましては最寄りの VELUX 販売会社にご連絡ください。

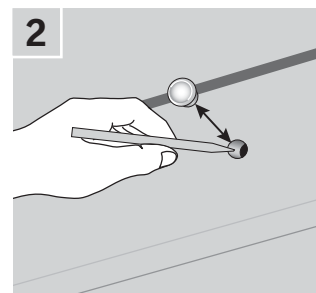
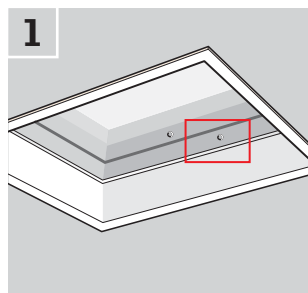
中軸回転式天窓

- 1 天窓を手動で開けます。(天窓がすでに開いている場合は、天窓オペレーターを試験ボタンを押して閉めてください。)
- 2 天窓オペレーターの試験ボタンを少なくとも 10 秒間押してください。天窓オペレーターと天窓の他の電気製品が短い時間、前後に動きます。フレームライトが取り付けられている場合はライトが短い時間点滅します。



フラットルーフ天窓 (日本仕様は対象外)

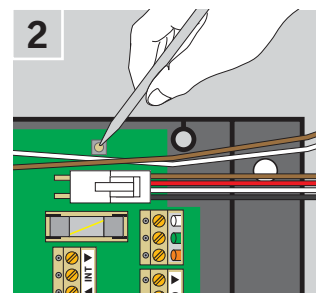
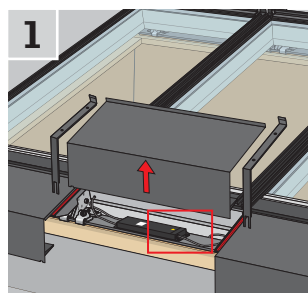
- 1 枠のカバーキャップを慎重に取り外します。
- 2 カバーキャップの後ろの天窓オペレーターの試験ボタンを少なくとも 10 秒間押します。天窓オペレーターと天窓の他の電気製品が短い時間、前後に動きます。カバーキャップを元通りに取り付けます。



モジュラー式スカイライト (日本仕様は対象外)

- 1 モジュラー式スカイライトから底部雨押さえ部分を取り外して、制御装置の右側の小カバーのねじを外します。
- 2 制御装置のリセットボタンを 6 ~ 10 秒間押します。再びカバーをねじで留めて、底部雨押さえを元通りに取り付けます。

注意: リモコンへの登録は 10 分以内に行わなければなりませんので、底部雨押さえ部分を元通りに取り付けの前に製品を登録することをお勧めします。



登録

新しい VELUX INTEGRA® システムの拡張

3

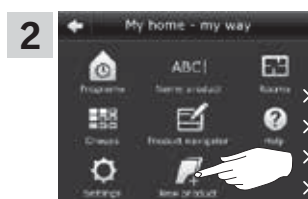
リモコンに製品を追加する

天窗、ローラーシャッターおよびブラインドなど最大 200 の製品をリモコンに登録することによって操作することができます。

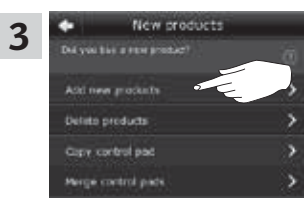
例は、画面の指示に従って他の製品をリモコンに追加する方法を示します。



⊕ を押します。



「新しい製品」を押します。



「新しい製品を追加」を押します。



⇒ を押します。



リモコンが製品を見つけたら⇒
を押します。
これで新しい製品を操作することが
できます。

登録

VELUX INTEGRA® システムの拡張 - リモコンの追加

3

VELUX INTEGRA® リモコン KLR 200 ですでに操作されているシステムにリモコンを追加する

「リモコン」は、VELUX INTEGRA® 製品を操作することができる全ての装置の総称として使用します。

追加のリモコンで VELUX INTEGRA® 製品を操作するために、すでに使用中のリモコン KLR 200 の内容を他のリモコンにコピーすることができます。

注意: 標準プログラムを編集あるいは独自のプログラムを作成した場合、それらのプログラムは追加リモコンにコピーされません。

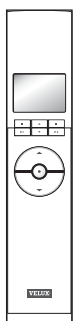
システムに追加したいリモコンを探すには、下記の参照ページをご覧ください。



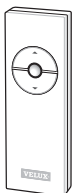
VELUX INTEGRA®
リモコン KLR 200
(3LR A02)
42 ~ 43 頁



VELUX INTEGRA®
リモコン KRX 100
(3LF D02)
44 ~ 46 頁
(日本仕様は対象外)



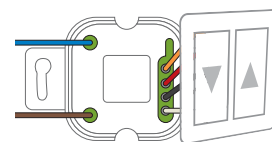
VELUX INTEGRA®
画面無しリモコン
(3UR B01)
47 頁
(日本仕様は対象外)



VELUX INTEGRA®
リモコン KLI 110
(3LI D01)
48 頁



VELUX INTEGRA®
別のメーカーのウォール
スイッチ/コンセントに
取り付けられたインター
フェイス KLF 050
(3LF D50)
49 頁
(日本仕様は対象外)



VELUX INTEGRA®
インターフェイス KLF 100
(3LF D01)
50 ~ 51 頁



他の種類の io-homecontrol®
リモコン
52 ~ 53 頁
(日本仕様は対象外)



登録

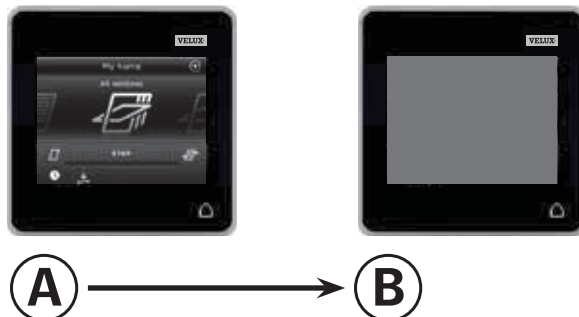
VELUX INTEGRA® システムの拡張 - リモコンの追加

3

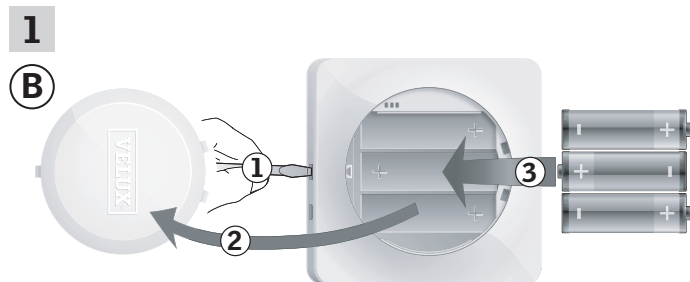
リモコン KLR 200 ですでに操作されているシステムに VELUX INTEGRA®
リモコン KLR 200 を追加する

1つのリモコン KLR 200 の内容を別のリモコンにコピーする方法を以下
に説明します。

コピーを**送信**するリモコン KLR 200 をリモコン (A) と呼びます。
コピーを**受信**するリモコン KLR 200 をリモコン (B) と呼びます。



まず、(B) で 1～4 の操作を行ってください。



図示のようにドライバーで解除ボタンを押して電池ケースの蓋を外してください①、②。
電池 (型: 単 3[AA/LR6]) を挿入します③。
蓋を元通りに取り付けます。



画面で、ホイールを矢印の方向に回転させて、言語を選択します①。
⇒を押します②。



画面の指示に従って、準備ができたら⇒を押してください。



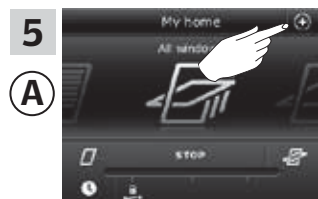
9の操作まで「コピーを受信」を押さないでください。

登録

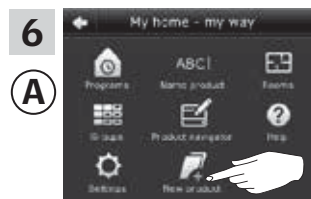
VELUX INTEGRA® システムの拡張 - リモコンの追加

3

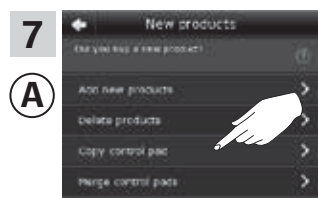
次に、①で5～8の操作を行ってください。



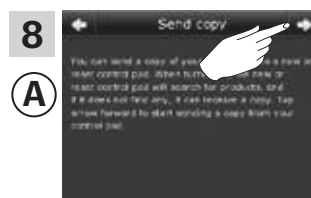
④を押します。



「新しい製品」を押します。



「リモコンのコピー」を押します。

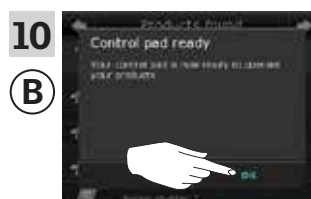


⇒を押します。

2分以内に②で9の操作を行ってください。



「コピーを受信」を押します。
画面の指示に従って、準備ができたら⇒を押してください。



「OK」を押します。



両方のリモコンの△を押して終了します。

登録

VELUX INTEGRA® システムの拡張 - リモコンの追加

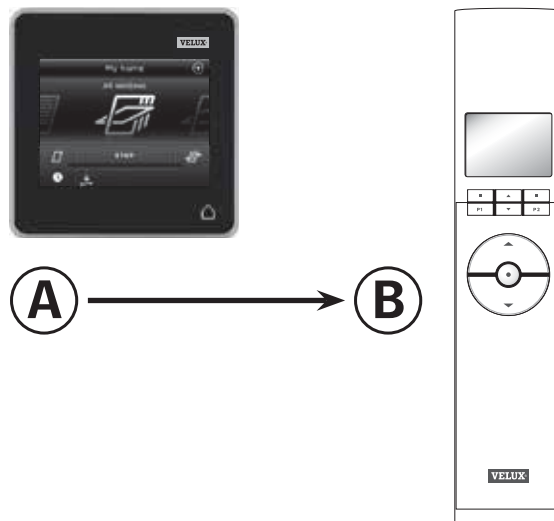
3

リモコン KLR 200 ですでに操作されているシステムに VELUX INTEGRA®
リモコン KRX 100 を追加する (日本仕様は対象外)

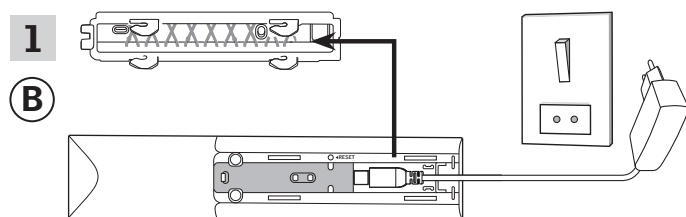
リモコン KLR 200 の内容をリモコン KRX 100 にコピーする方法を以下
に説明します。リモコンの説明書も参照してください。

注意: 無線周波数が 868 MHz の VELUX INTEGRA® 製品のみで有効
です。

コピーを**送信**するリモコン KLR 200 をリモコン (A) と呼びます。
コピーを**受信**する制御装置 KRX 100 をリモコン (B) と呼びます。



まず、(B) で 1～3 の操作を行ってください。

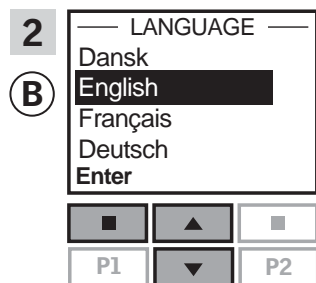


電源に接続します:

図示のようにリモコンの裏カバーを取り外してください。アダプタープラグをリモコンにカチッと音がするまで挿入して、カバーを元通りに取り付けてください。アダプターを電源に接続します。

注意: 電源を切っても選択された設定はリモコンに保存されます。そのため、ブラインドやセンサーがリモコンに登録されるまでリモコンを持続的に取り付けないことをお勧めします。

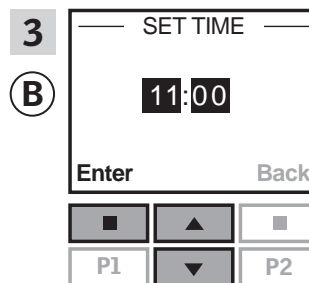
ただし、時間と日付は電源を切った後、30 秒間だけ保存されます。



言語を選択します:

▲ を押して言語を強調表示させてください。

■ 「Enter」を押して選択を確定してください。



時間を設定します:

▲ を押して分を設定してください。
■ 「Enter」を押して時間に変更してください。

▲ を押して時間を設定してください。

■ 「Enter」を押して設定を確定してください。

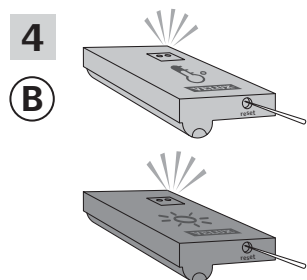
登録

VELUX INTEGRA® システムの拡張 - リモコンの追加

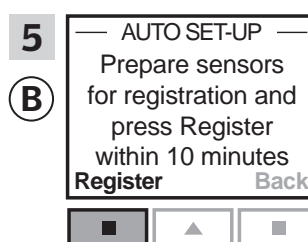
3

センサーを準備してリモコンにセンサーを登録します。

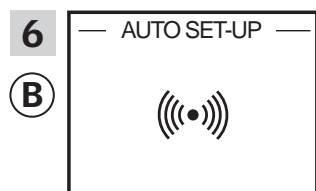
注意：10 分以内に 4～8 の操作を行ってください。



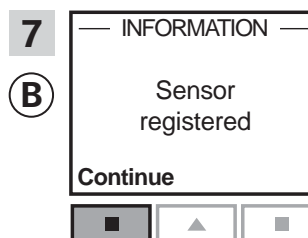
登録するセンサーを準備します：
先のとがった物でセンサーの底部
のボタンを LED が点滅するまで少
なくとも 5 秒間押してください。



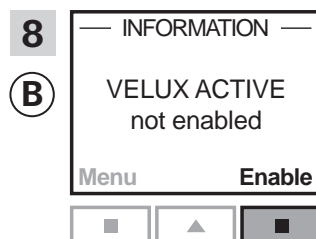
センサーをリモコンに登録します：
[] 「Register」を押して 2 つのセ
ンサーを登録してください。



登録中です。数分かかる場合が
あります。



センサーが登録されると画面に
「Sensor registered」と表示され
ます。
[] 「Continue」を押して次に進
みます。

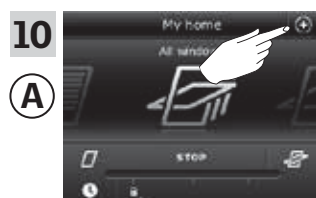


画面に VELUX ACTIVE プログラ
ムが有効でないことが表示され
ます。
[] 「Enable」を押してリモコン
へのブラインドの登録を開始し
ます。

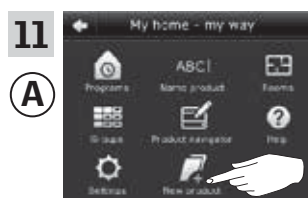


14 の操作まで「Register」を押さ
ないでください。

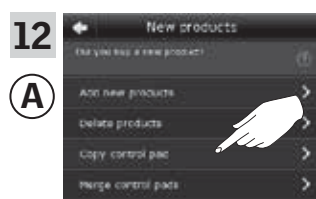
(A) で 10～13 の操作を行ってください。



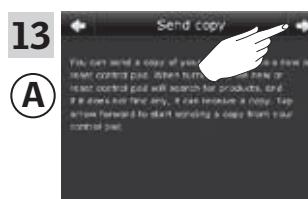
⊕ を押します。



「新しい製品」を押します。



「リモコンのコピー」を押します。



⇒ を押します。

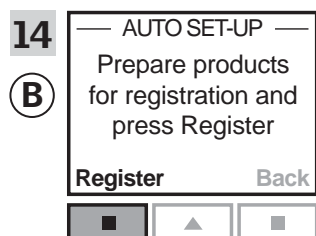
次の頁に続く


登録

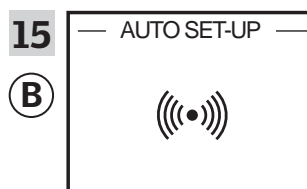
VELUX INTEGRA® システムの拡張 - リモコンの追加

3

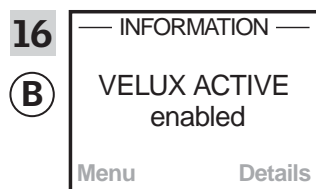
2分以内に ③ で 14 の操作を行ってください。



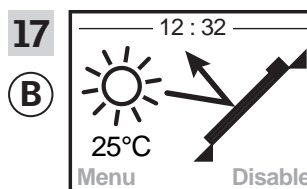
リモコンの  「Register」 を押し
て登録を開始してください。



登録中です。数分かかる場合が
あります。



画面に VELUX ACTIVE プログラ
ムが有効であることが表示され
ます。
画面に VELUX ACTIVE プログラ
ムが有効でないことが表示され
ている場合は、リモコンの説明書
の「初期登録」の章、「ブラインド」
を参照してください。



画面は現在の温度と時刻を含む
プログラムモードを表示します。



△を押して終了します。

登録

VELUX INTEGRA® システムの拡張 - リモコンの追加

3

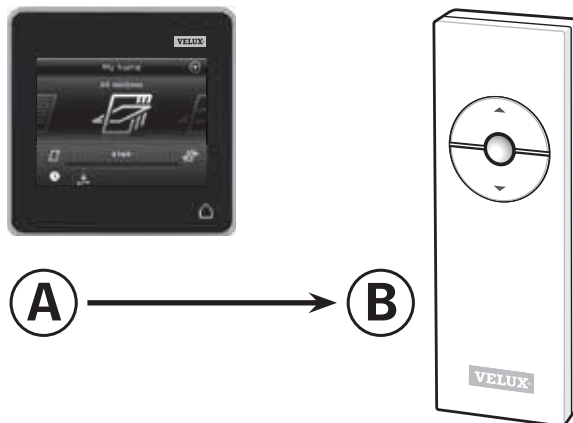
リモコン KLR 200 ですでに操作されているシステムに VELUX INTEGRA® 画面無しリモコンを追加する (日本仕様は対象外)

リモコン KLR 200 の内容を画面無しリモコンにコピーする方法を以下に説明します。画面無しリモコンの説明書も参照してください。

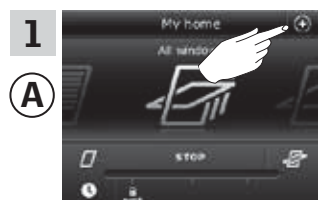
注意: 無線周波数が 868 MHz の VELUX INTEGRA® 製品のみで使用可能です。

コピーを送信するリモコン KLR 200 をリモコン (A) と呼びます。

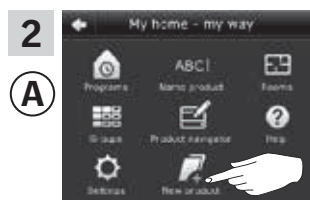
コピーを受信する画面無しリモコンをリモコン (B) と呼びます。



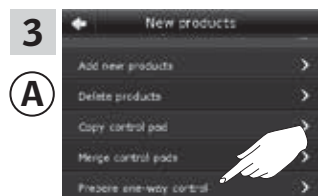
まず、(A) で 1～5 の操作を行ってください。



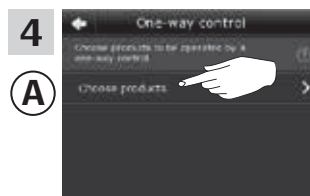
⊕を押します。



「新しい製品」を押します。



「ワンウェイリモコンの準備」を押します。

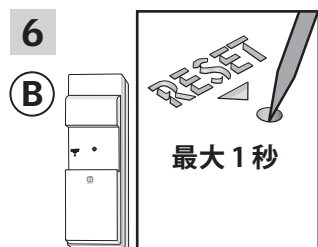


「製品を選ぶ」を押します。



画面を下にスクロールして追加する製品を選びます ①。
注意: 個々の製品はアイコンを押すことによって特定することができます。「製品を見つける」の章も参照してください。
⇒を押します ②。

10分以内に (B) で 6 の操作を行ってください。



先のとがった物で裏面のリセットボタンを短く押して新しい製品を登録してください。これで選んだ製品を (B) で操作することができるようになりました。



△を押して終了します。
注意: 他の製品を追加するには、「製品の追加」を押して、5～7の操作を繰り返します。

登録

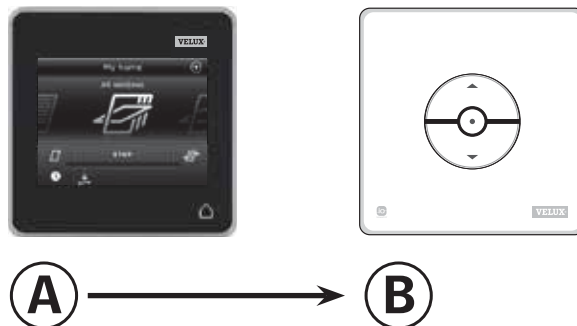
VELUX INTEGRA® システムの拡張 - リモコンの追加

3

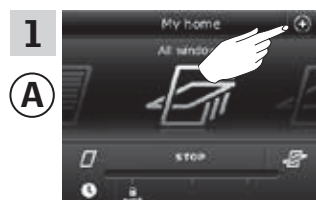
リモコン KLR 200 ですでに操作されているシステムに VELUX INTEGRA®
リモコン KLI 110 を追加する

リモコン KLR 200 の内容をリモコン KLI 110 にコピーする方法を以下に
説明します。リモコン KLI110 の説明書も参照してください。

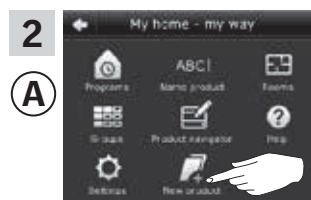
コピーを**送信**するリモコン KLR 200 をリモコン **(A)** と呼びます。
コピーを**受信**するリモコン KLI 110 をリモコン **(B)** と呼びます。



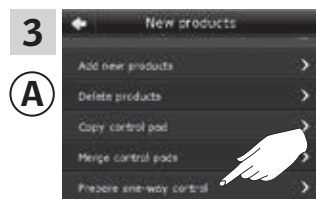
まず、**(A)** で 1～5 の操作を行ってください。



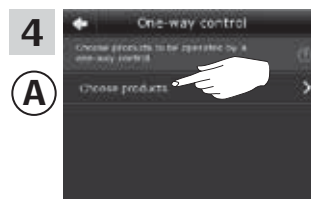
⊕を押します。



「新しい製品」を押します。



「ワンウェイリモコンの準備」を
押します。

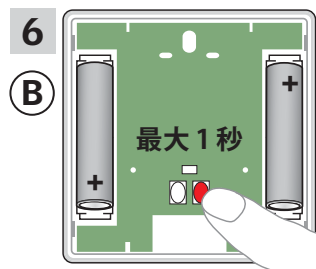


「製品を選ぶ」を押します。



画面を下にスクロールして追加する製
品を選びます **①**。
注意: 個々の製品はアイコンを押すこ
とによって特定することができます。
「製品を見つける」の章も参照してくだ
さい。
⇒を押します **②**。

10 分以内に **(B)** で 6 の操作を行ってください。



裏面の R ボタンを短く押して新し
い製品を登録してください。
これで選んだ製品を **(B)** で操作す
ることができるようになりました。



⏠を押して終了します。
注意: 他の製品を追加するには、
「製品の追加」を押して、5～7
の操作を繰り返します。

登録

VELUX INTEGRA® システムの拡張 - リモコンの追加

3

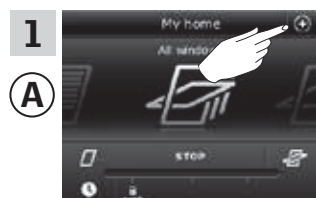
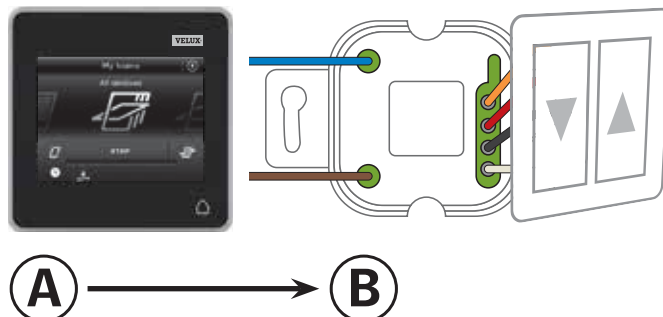
リモコン KLR 200 ですでに操作されているシステムに別のメーカーのウォールスイッチ/コンセントに取り付けられた VELUX INTEGRA® インターフェイス KLF 050 を追加する (日本仕様は対象外)

リモコン KLR 200 の内容を別のメーカーのウォールスイッチ/コンセントに取り付けられたインターフェイス KLF 050 にコピーする方法を以下に説明します。インターフェイスの説明書も参照してください。

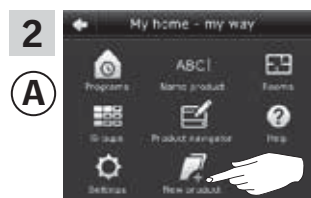
注意: 無線周波数が 868 MHz の VELUX INTEGRA® 製品のみで使用可能です。

コピーを送信するリモコン KLR 200 をリモコン (A) と呼びます。
コピーを受信するインターフェイス KLF 050 をリモコン (B) と呼びます。

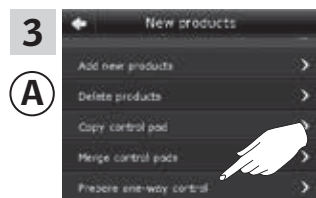
まず、(A) で 1 ~ 5 の操作を行ってください。



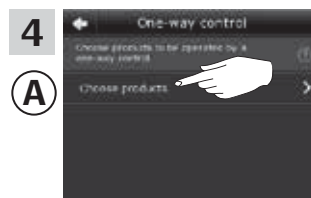
+を押します。



「新しい製品」を押します。



「ワンウェイリモコンの準備」を押します。

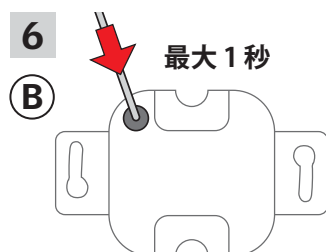


「製品を選ぶ」を押します。



画面を下にスクロールして、追加する製品を選びます (1)。
注意: アイコンを押すことによって個々の製品が特定されます。「製品を見つける」の章も参照してください。
⇒を押します (2)。

10 分以内に (B) で 6 の操作を行ってください。



先のとがった物で裏面のセットボタンを短く押して新しい製品を登録してください。これで選んだ製品を (B) で操作することができるようになりました。



△を押して終了します。
注意: 他の製品を追加するには、「製品の追加」を押して、5 ~ 7 の操作を繰り返します。

登録

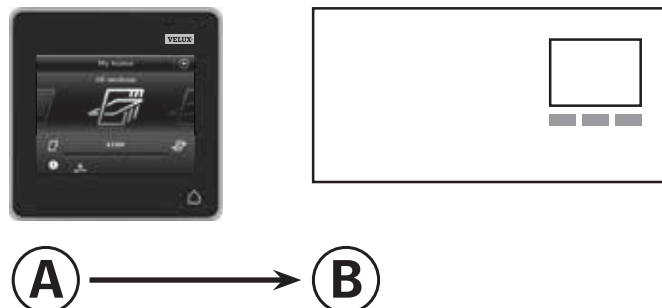
VELUX INTEGRA® システムの拡張 - リモコンの追加

3

リモコン KLR 200 ですでに操作されているシステムに VELUX INTEGRA®
インターフェイス KLF 100 を追加する

リモコン KLR 200 の内容をインターフェイス KLF 100 にコピーする方法
を以下に説明します。インターフェイスの説明書も参照してください。

コピーを**送信**するリモコン KLR 200 をリモコン **(A)** と呼びます。
コピーを**受信**するインターフェイス KLF 100 をリモコン **(B)** と呼びます。

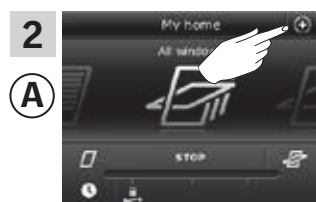


まず、**(B)** で 1 の操作を行ってください。

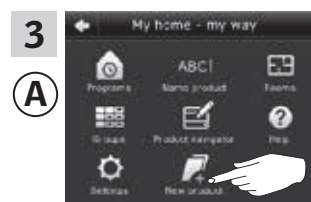


メニュー項目 **H** が強調表示されるまでインターフェイスの指示に従ってください。

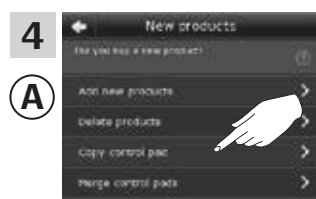
次に、**(A)** で 2～5 の操作を行ってください。



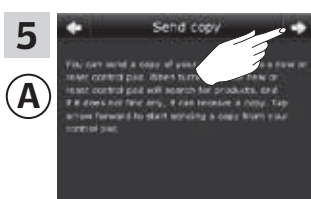
⊕ を押します。



「新しい製品」を押します。



「リモコンのコピー」を押します。



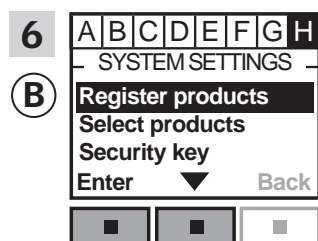
⇒ を押します。

登録

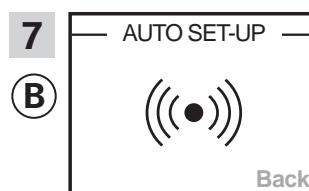
VELUX INTEGRA® システムの拡張 - リモコンの追加

3

2分以内に ⑥ で 6 の操作を行ってください。



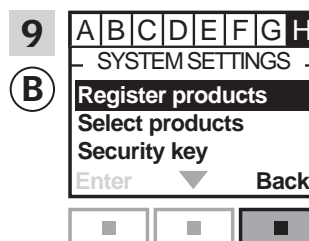
◀▼を押して「Register products」を強調表示させます。
▶「Enter」を押して選択を確定します。



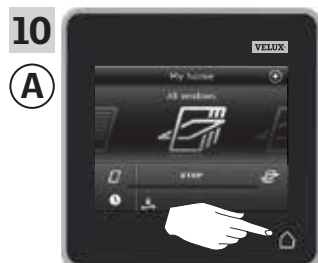
自動登録が実行されています。お待ちください。登録は最大1分かかる場合があります。



画面に新しい製品が登録されたことが表示されます。



▶「Back」を押して終了します。



◀を押して終了します。

登録

VELUX INTEGRA® システムの拡張 - リモコンの追加

3

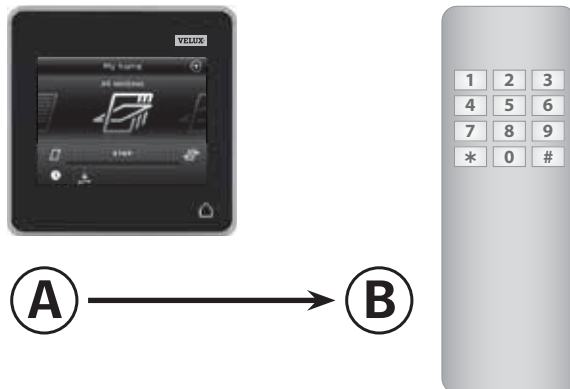
VELUX INTEGRA® リモコン KLR 200 ですでに操作されているシステムに他の種類の io-homecontrol® リモコンを追加する (日本仕様は対象外)

リモコン KLR 200 の内容を他の種類の io-homecontrol® リモコンにコピーする方法を以下に説明します。当該リモコンの説明書も参照してください。

注意:無線周波数が 868 MHz の VELUX INTEGRA® 製品のみで使用可能です。

コピーを送信するリモコン KLR 200 をリモコン (A) と呼びます。

コピーを受信する io-homecontrol® リモコンをリモコン (B) と呼びます。



説明は次の 2 つに分かれています:

ワンウェイリモコンの説明

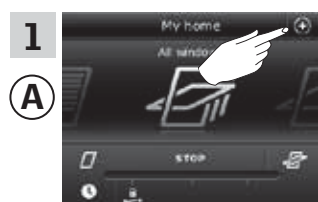
製品にこのマークが付いている

ツーウェイリモコンの説明

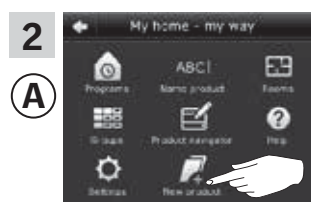
製品にこのマークが付いている

ワンウェイリモコン

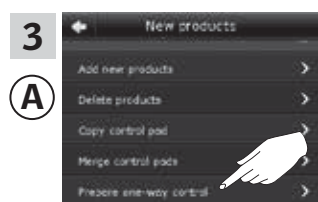
まず、(A) で 1 ~ 5 の操作を行ってください。



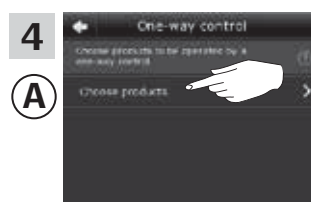
⊕を押します。



「新しい製品」を押します。



「ワンウェイリモコンの準備」を押します。

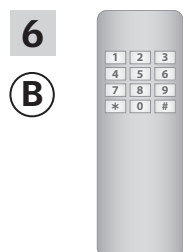


「製品を選ぶ」を押します。



画面を下にスクロールして追加する製品を選びます ①。
注意:個々の製品はアイコンを押すことによって特定することができます。「製品を見つける」の章も参照してください。
⇒を押します ②。

10 分以内に (B) で 6 の操作を行ってください。



io-homecontrol® リモコンの説明書を参照してください。




⊕を押して終了します。


登録

VELUX INTEGRA® システムの拡張 - リモコンの追加

3

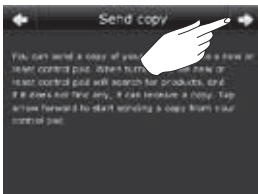
ツーウェイリモコン 

まず、(A) で 1～4 の操作を行ってください。


1
(A)  ⊕ を押します。

2
(A)  「新しい製品」を押します。

3
(A)  「リモコンのコピー」を押します。

4
(A)  ⇨ を押します。

2分以内に (B) で 5 の操作を行ってください。

5
(B)  io-homecontrol® リモコンの説明書を参照してください。「io-homecontrol® 製品のジョイント操作」の章も参照されると良いでしょう。

6
(A)  ◁ を押して終了します。

登録

VELUX INTEGRA® システムの拡張 - リモコンの追加

別のリモコンですでに操作されているシステムに VELUX INTEGRA® リモコン KLR 200 を追加する

「リモコン」は、VELUX INTEGRA® 製品を操作することができる全ての装置の総称として使用します。

VELUX INTEGRA® 製品を追加リモコンで操作するために、すでに使用しているリモコンの内容を新しいリモコン KLR 200 にコピーすることができます。

注意: 標準プログラムを編集している場合、あるいは、独自のプログラムを作成した場合は、それらのプログラムは新しいリモコンにコピーされません。

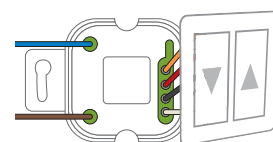
システムの操作をすでに行っているリモコンを探すには、下記の参照ページをご覧ください。



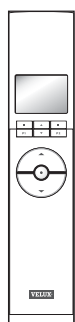
VELUX INTEGRA®
リモコン KLR100
(3LR A01)
55 ~ 56 頁



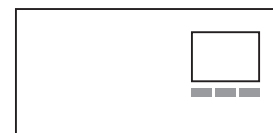
VELUX INTEGRA®
別のメーカーのウォール
スイッチ/コンセントに
取り付けられたインター
フェイス KLF 050
(3LF D50)
63 ~ 64 頁
(日本仕様は対象外)



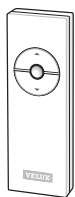
VELUX INTEGRA®
リモコン KRX100
(3LF D02)
57 ~ 58 頁
(日本仕様は対象外)



SVELUX INTEGRA®
インターフェイス KLF 100
(3LF D01)
65 ~ 66 頁



VELUX INTEGRA®
画面無しリモコン
(3UR B01)
59 ~ 60 頁
(日本仕様は対象外)



他の種類の io-homecontrol®
リモコン
67 ~ 68 頁
(日本仕様は対象外)



VELUX INTEGRA®
リモコン KLI110
(3LI D01)
61 ~ 62 頁



登録

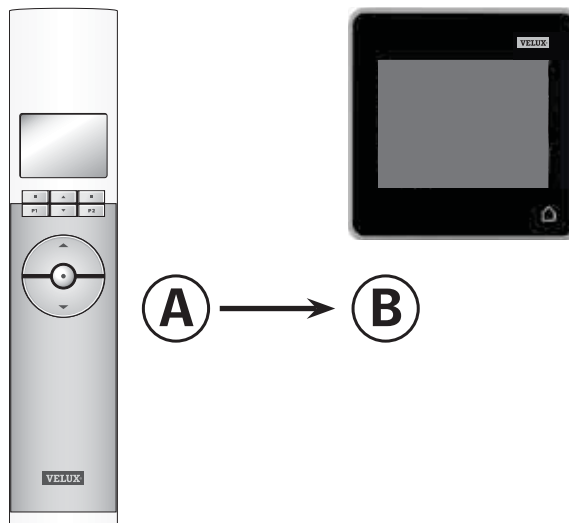
VELUX INTEGRA® システムの拡張 - リモコンの追加

3

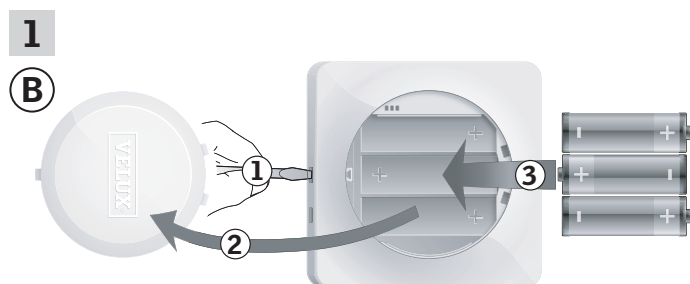
リモコン KLR 100 ですでに操作されているシステムに VELUX INTEGRA®
リモコン KLR 200 を追加する

すでに使用されているリモコン KLR 100 からリモコン KLR 200 に内容をコピーする方法を以下に説明します。リモコン KLR 100 の説明書も参照してください。

コピーを**送信**するリモコン KLR 100 をリモコン (A) と呼びます。
コピーを**受信**するリモコン KLR 200 をリモコン (B) と呼びます。



まず、(B) で 1～4 の操作を行ってください。



図示のようにドライバーで解除ボタンを押して電池ケースの蓋を取り外します ①、②。
電池 (型: 単 3[AA/LR6]) を挿入します ③。
蓋を元通りに取り付けます。



画面で、ホイールを矢印の方向に回転させて、言語を選択します ①。
⇒ を押します ②。



画面の指示に従って、準備ができたら ⇒ を押してください。



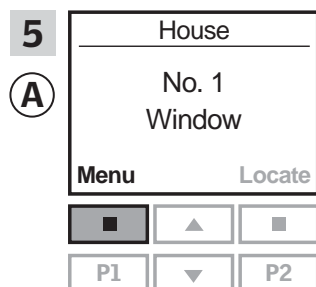
8 の操作まで「コピーを受信」を押さないでください。

登録

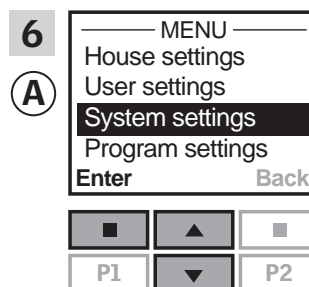
VELUX INTEGRA® システムの拡張 - リモコンの追加

3

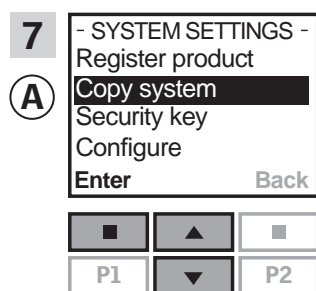
次に、⑤で5～7の操作を行ってください。



☑ 「メニュー」を押します。



☑ を押して「システムセッテイ」を強調表示させます。
☑ 「エンター」を押して選択を確定します。

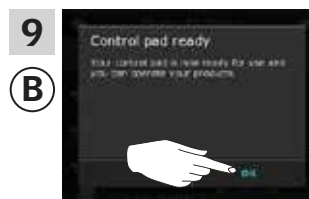


☑ を押して「コピーシステム」を強調表示させます。
☑ 「エンター」を押して選択を確定します。

2分以内に⑥で8の操作を行ってください。



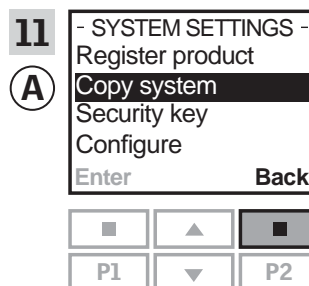
「コピーを受信」を押します。
画面の指示に従って、準備ができたら ⇨ を押してください。



「OK」を押します。



△を押して終了します。



☑ 「モデル」を押して終了します。

登録

VELUX INTEGRA® システムの拡張 - リモコンの追加

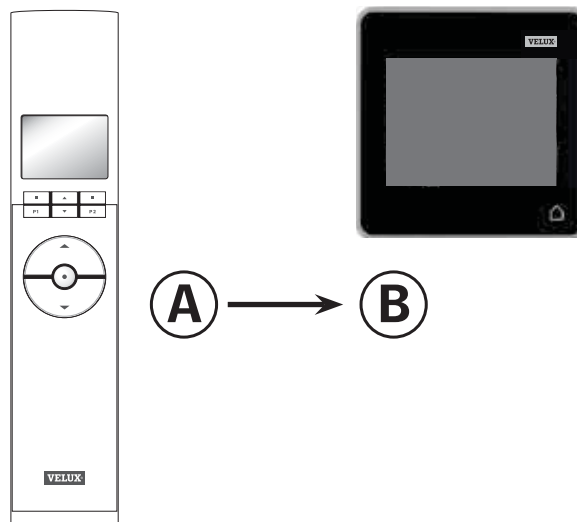
3

リモコン KRX 100 ですでに操作されているシステムに VELUX INTEGRA® リモコン KLR 200 を追加する (日本仕様は対象外)

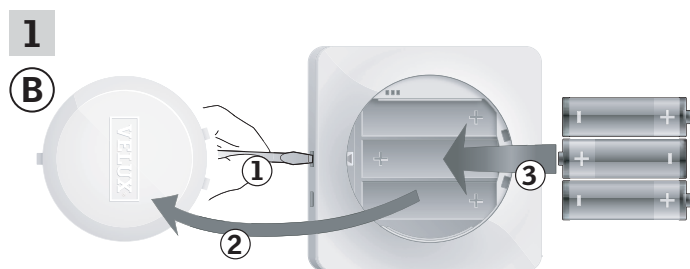
すでに使用されているリモコン KRX 100 からリモコン KLR 200 に内容をコピーする方法を以下に説明します。リモコンの説明書も参照してください。

注意: 無線周波数が 868 MHz の VELUX INTEGRA® 製品のみで使用可能です。

コピーを**送信**するリモコン KRX 100 をリモコン **(A)** と呼びます。
コピーを**受信**するリモコン KLR 200 をリモコン **(B)** と呼びます。



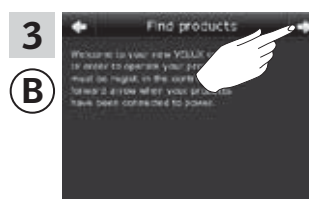
まず、**(B)** で 1~4 の操作を行ってください。



図示のようにドライバーで解除ボタンを押して電池ケースの蓋を取り外します **(1)**、**(2)**。
電池 (型: 単 3 [AA/LR6]) を挿入します **(3)**。
蓋を元通りに取り付けます。



画面で、ホイールを矢印の方向に回転させて、言語を選択します **(1)**。
⇨ を押します **(2)**。



画面の指示に従って、準備ができたら ⇨ を押します。



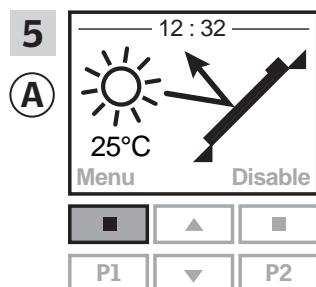
8 の操作まで「コピーを受信」を押さないでください。

登録

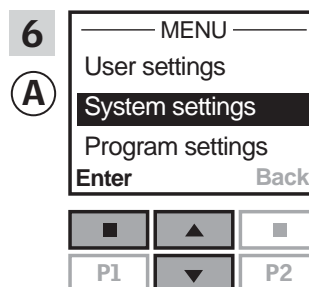
VELUX INTEGRA® システムの拡張 - リモコンの追加

3

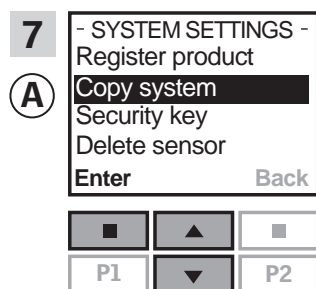
次に、④で5～7の操作を行ってください。



☑ 「Menu」 を押します。



☑ を押して「System settings」を強調表示させます。
☑ 「Enter」 を押して選択を確定します。

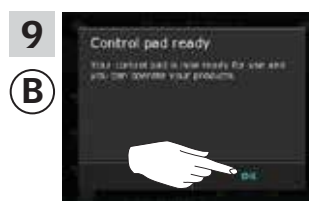


☑ を押して「Copy system」を強調表示させます。
☑ 「Enter」 を押して選択を確定します。

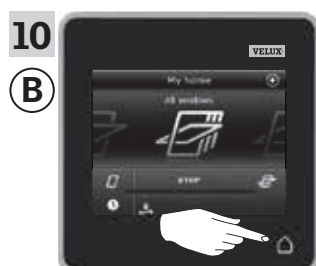
2分以内に⑤で8の操作を行ってください。



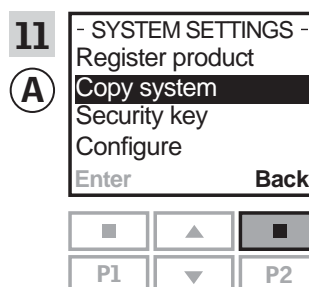
「コピーを受信」を押します。
画面の指示に従って、準備ができたら ➡ を押してください。



「OK」を押します。



△ を押して終了します。



☑ 「Back」 を押して終了します。

登録

VELUX INTEGRA® システムの拡張 - リモコンの追加

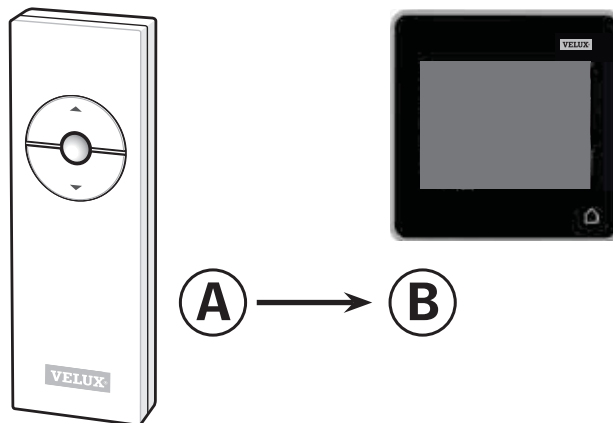
3

VELUX INTEGRA® の画面無しリモコンですでに操作されているシステムに VELUX INTEGRA® リモコン KLR 200 を追加する (日本仕様は対象外)

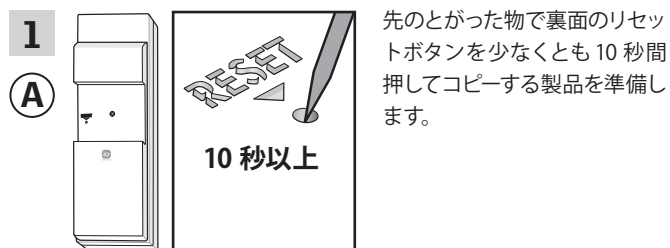
すでに使用されている画面無しリモコンからリモコン KLR 200 に内容をコピーする方法を以下に説明します。画面無しリモコンの説明書も参照してください。

注意: 無線周波数が 868 MHz の VELUX INTEGRA® 製品のみで使用可能です。

コピーを**送信**する画面無しリモコンをリモコン (A) と呼びます。
コピーを**受信**するリモコン KLR 200 をリモコン (B) と呼びます。

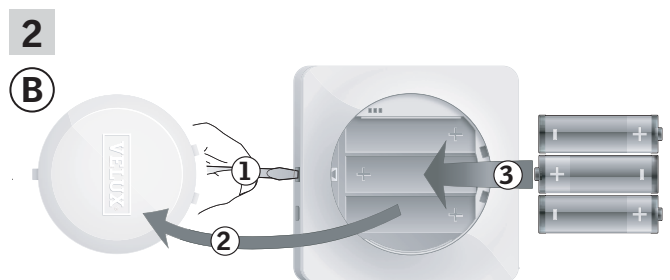


まず、(A) で 1 の操作を行ってください。

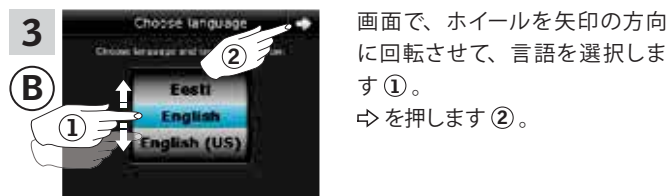


先のとがった物で裏面のリセットボタンを少なくとも 10 秒間押し続けてコピーする製品を準備します。

2 分以内に (B) で 2 ~ 7 の操作を行ってください。



図示のようにドライバーで解除ボタンを押して電池ケースの蓋を取り外します ①、②。電池 (型: 単 3[AA/LR6]) を挿入します ③。蓋を元通りに取り付けます。



画面で、ホイールを矢印の方向に回転させて、言語を選択します ①。
⇒ を押します ②。

次の頁に続く

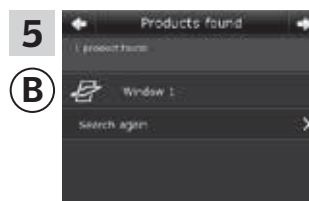
登録

VELUX INTEGRA® システムの拡張 - リモコンの追加

3

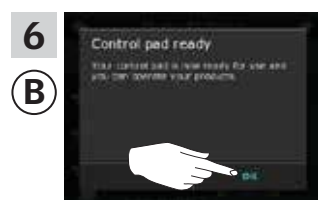


画面の指示に従って、準備ができたら → を押してください。

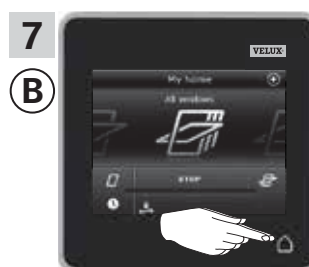


リモコンは製品が見つかりましたと表示します。

注意: リモコンが全ての製品を見つけなかった場合は「再検索」を押して、画面の指示に従ってください。製品が電源に接続されているのにリモコンが全ての製品を見つけることができない場合は、「初期登録が失敗した場合」の章に進んでください。



「OK」を押します。



△「OK」を押します。

登録

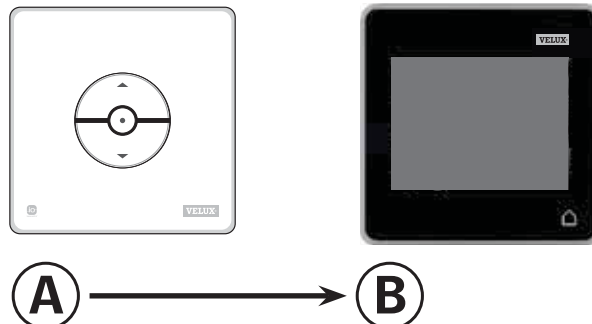
VELUX INTEGRA® システムの拡張 - リモコンの追加

3

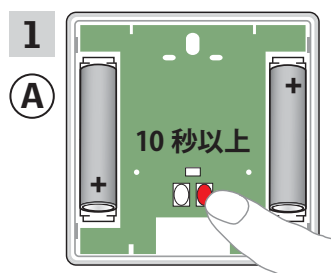
リモコン KLI 110 ですでに操作されているシステムに VELUX INTEGRA® リモコン KLR 200 を追加する

すでに使用されているリモコン KLI 110 からリモコン KLR 200 に内容をコピーする方法を以下に説明します。リモコン KLI110 の説明書も参照してください。

コピーを**送信**するリモコン KLI 110 をリモコン ① と呼びます。
コピーを**受信**するリモコン KLR 200 をリモコン ② と呼びます。

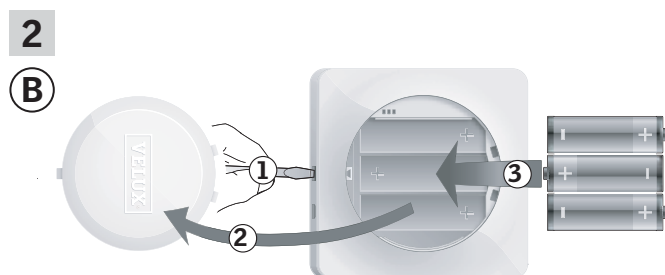


まず、① で 1 の操作を行ってください。



裏面の R ボタンを少なくとも 10 秒間押し続けてコピーする製品を準備します。

2 分以内に ② で 2～7 の操作を行ってください。



図示のようにドライバーで解除ボタンを押して電池ケースの蓋を取り外します ①、②。電池 (型: 単 3[AA/LR6]) を挿入します ③。蓋を元通りに取り付けます。



画面で、ホイールを矢印の方向に回転させて、言語を選択します ①。
⇒ を押します ②。

次の頁に続く

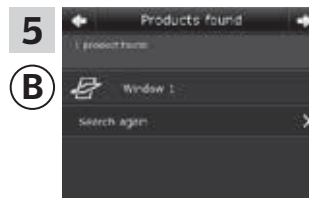
登録

VELUX INTEGRA® システムの拡張 - リモコンの追加

3

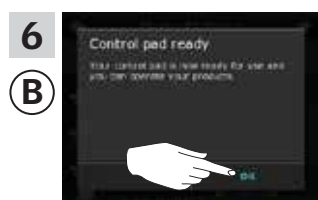


画面の指示に従って、準備ができたら → を押してください。

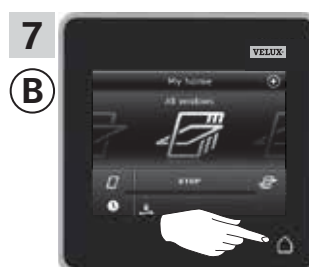


リモコンは製品が見つかりましたと表示します。

注意: リモコンが全ての製品を見つけなかった場合は「再検索」を押して、画面の指示に従ってください。製品が電源に接続されているのにリモコンが全ての製品を見つけることができない場合は、「初期登録が失敗した場合」の章に進んでください。



「OK」を押します。



△を押して終了します。

登録

VELUX INTEGRA® システムの拡張 - リモコンの追加

3

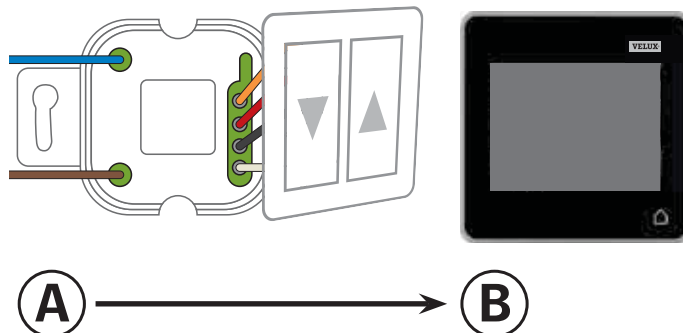
別のメーカーのウォールスイッチ/コンセントに取り付けられたインターフェイス KLF 050 ですでに操作されているシステムに VELUX INTEGRA® リモコン KLR 200 を追加する（日本仕様は対象外）

すでに使用されているインターフェイス KLF 050 からリモコン KLR 200 に内容をコピーする方法を以下に説明します。インターフェイスの説明書も参照してください。

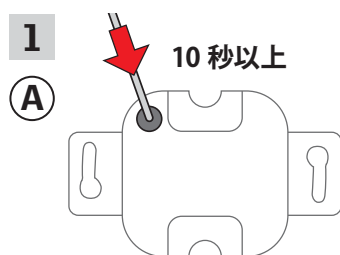
注意: 無線周波数が 868 MHz の VELUX INTEGRA® 製品のみで使用可能です。

コピーを**送信**するインターフェイス KLF 050 をリモコン (A) と呼びます。

コピーを**受信**するリモコン KLR 200 をリモコン (B) と呼びます。

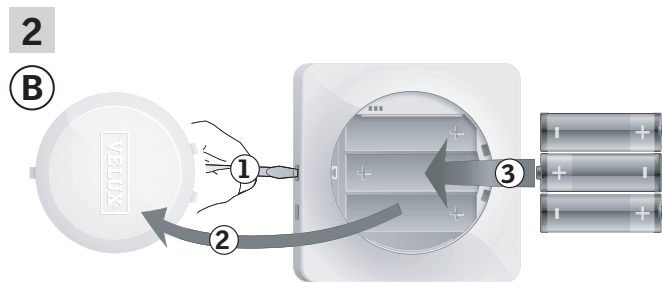


まず、(A) で 1 の操作を行ってください。



先のとがった物で裏面のセットボタンを少なくとも 10 秒間押してコピーする製品を準備します。

2 分以内に (B) で 2 ~ 7 の操作を行ってください。



図示のようにドライバーで解除ボタンを押して電池ケースの蓋を取り外します ①、②。電池 (型: 単 3 [AA/LR6]) を挿入します ③。蓋を元通りに取り付けます。



画面で、ホイールを矢印の方向に回転させて、言語を選択します ①。
⇒ を押します ②。

次の頁に続く

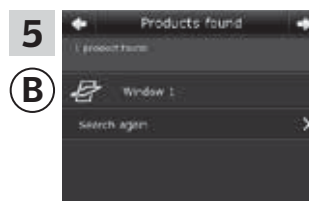
登録

VELUX INTEGRA® システムの拡張 - リモコンの追加

3

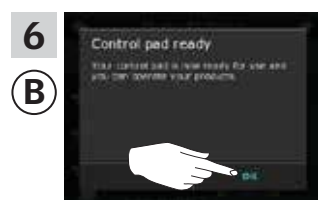


画面の指示に従って、準備ができたら → を押してください。

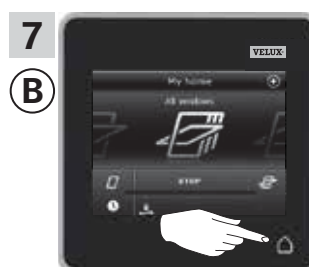


リモコンは製品が見つかりましたと表示します。

注意: リモコンが全ての製品を見つけなかった場合は「再検索」を押して、画面の指示に従ってください。製品が電源に接続されているのにリモコンが全ての製品を見つけることができない場合は、「初期登録が失敗した場合」の章に進んでください。



「OK」を押します。



△を押して終了します。

登録

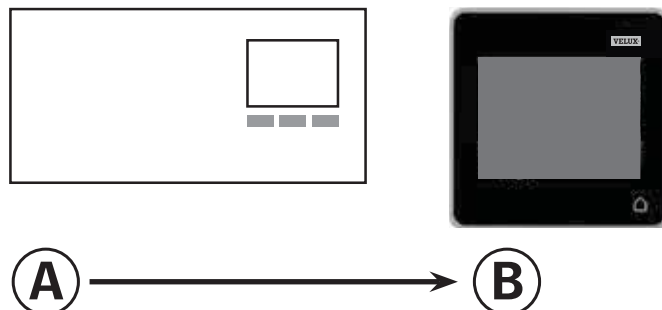
VELUX INTEGRA® システムの拡張 - リモコンの追加

3

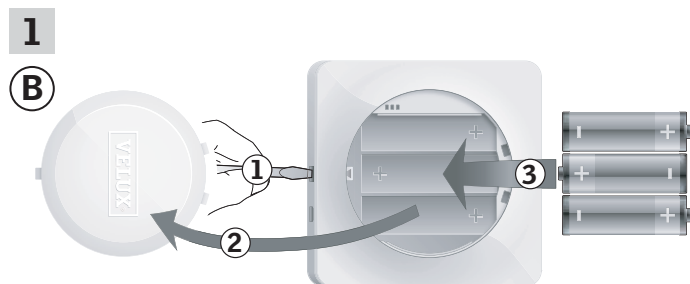
インターフェイス KLF 100 ですでに操作されているシステムに VELUX INTEGRA® リモコン KLR 200 を追加する

すでに使用されているインターフェイス KLF 100 からリモコン KLR 200 に内容をコピーする方法を以下に説明します。インターフェイスの説明書も参照してください。

コピーを**送信**するインターフェイス KLF 100 をリモコン **(A)** と呼びます。コピーを**受信**するリモコン KLR 200 をリモコン **(B)** と呼びます。



まず、**(B)** で 1～4 の操作を行ってください。



図示のようにドライバーで解除ボタンを押して電池ケースの蓋を取り外します①、②。電池(型:単 3[AA/LR6])を挿入します③。蓋を元通りに取り付けます。



画面で、ホイールを矢印の方向に回転させて、言語を選択します①。⇒を押します②。



画面の指示に従って、準備ができたら⇒を押してください。



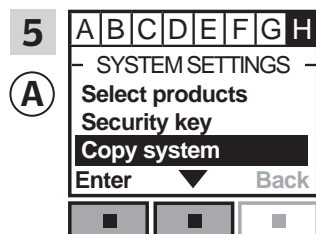
6 の操作まで「コピーを受信」を押さないでください。

登録

VELUX INTEGRA® システムの拡張 - リモコンの追加

3

次に、④で5の操作を行ってください。

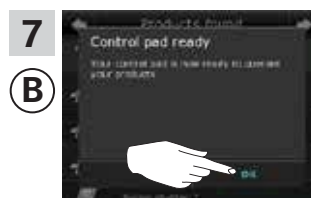


メニュー項目 **H** が強調表示されるまでインターフェイスの指示に従ってください。
 ◻ ▼ を押して「Copy system」を強調表示させます。
 ◻ 「Enter」を押して選択を確定します。

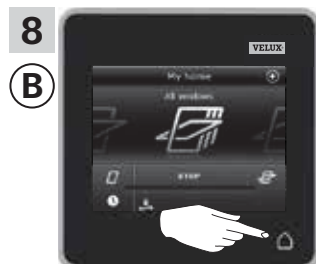
2分以内に⑤で6の操作を行ってください。



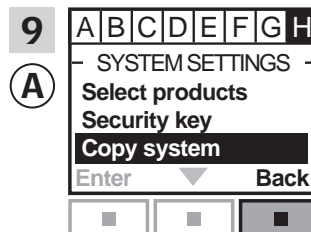
「コピーを受信」を押します。
 画面の指示に従って、準備ができたら ◻ を押してください。



「OK」を押します。



◻ を押して終了します。



◻ 「Back」を押して終了します。

登録

VELUX INTEGRA® システムの拡張 - リモコンの追加

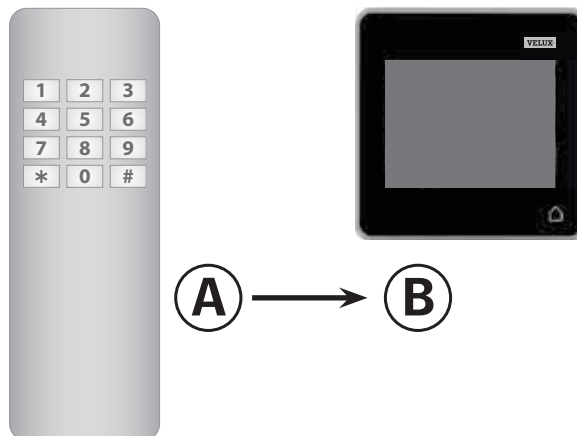
3

別の種類の io-homecontrol® リモコンですでに操作されているシステムに VELUX INTEGRA® リモコン KLR 200 を追加する (日本仕様は対象外)

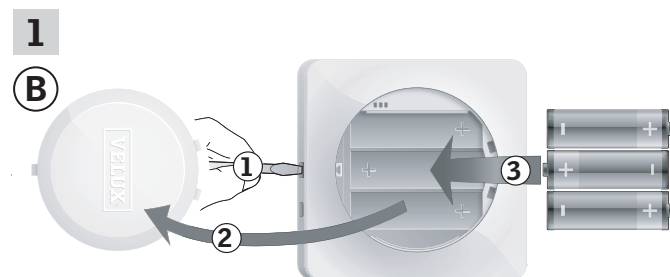
すでに使用されている io-homecontrol® リモコンからリモコン KLR 200 に内容をコピーする方法を以下に説明します。リモコンの説明書または「io-homecontrol® 製品のジョイント操作」の章も参照してください。

注意: 無線周波数が 868 MHz の VELUX INTEGRA® 製品のみで使用可能です。

コピーを**送信**する io-homecontrol® リモコンをリモコン (A) と呼びます。コピーを**受信**するリモコン KLR 200 をリモコン (B) と呼びます。



まず、(A) で 1 ~ 4 の操作を行ってください。



図示のようにドライバーで解除ボタンを押して電池ケースの蓋を取り外します ①、②。電池 (型: 単 3 [AA/LR6]) を挿入します ③。蓋を元通りに取り付けます。



画面で、ホイールを矢印の方向に回転させて、言語を選択します ①。⇨ を押します ②。



画面の指示に従って、準備ができたら ⇨ を押してください。



6 の操作まで「コピーを受信」を押さないでください。

登録

VELUX INTEGRA® システムの拡張 - リモコンの追加

3

次に、④で5の操作を行ってください。

5

④



io-homecontrol® リモコンの説明書を参照してください。

ツーウェイリモコンをお持ちの場合は、「io-homecontrol® 製品のジョイント操作」の章も参照されると良いでしょう。

2分以内に⑤で6の操作を行ってください。

6

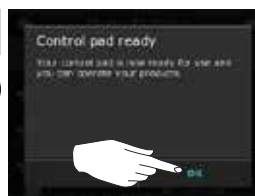
⑤



「コピーを受信」を押します。
画面の指示に従って、準備ができたら ➡ を押してください。

7

⑤



「OK」を押します。

8

⑤



⏏ を押して終了します。

登録

VELUX INTEGRA® システムの拡張 - リモコンの追加

別々のシステムですでに使用されているリモコンを互いの製品の操作ができるようにする

「リモコン」は、VELUX INTEGRA® 製品を操作することができる全ての装置の総称として使用します。

別々のシステムですでに使用されている2つ（以上）のリモコンをお持ちの場合は、それらのリモコンに互いの製品を操作させることができます。そのために、全ての製品が同じセキュリティキーを有するようにそれぞれのリモコンにすでに登録されている全ての製品を両方のリモコンに登録しなければなりません。

リモコン KLR 200 を統合するリモコンを探すには、下記の参照ページをご覧ください。



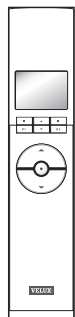
VELUX INTEGRA®
リモコン KLR 200
(3LR A02)
70 ~ 71 頁



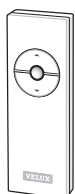
VELUX INTEGRA®
リモコン KLR 100
(3LR A01)
72 ~ 73 頁



VELUX INTEGRA®
リモコン KRX 100
(3LF D02)
74 ~ 75 頁
(日本仕様は対象外)



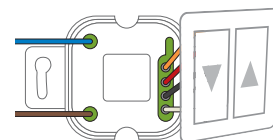
VELUX INTEGRA®
画面無しのリモコン
(3UR B01)
76 頁
(日本仕様は対象外)



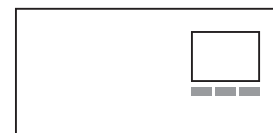
VELUX INTEGRA®
リモコン KLI 110
(3LI D01)
77 頁



VELUX INTEGRA®
別のメーカーのウォール
スイッチ/コンセントに
取り付けられたインター
フェイス KLF 050
(3LF D50)
78 頁
(日本仕様は対象外)



VELUX INTEGRA®
インターフェイス KLF 100
(3LF D01)
79 ~ 80 頁



他の種類の io-homecontrol®
リモコン
81 ~ 83 頁
(日本仕様は対象外)



登録

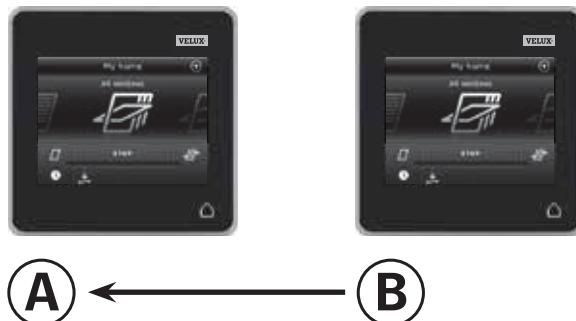
VELUX INTEGRA® システムの拡張 - リモコンの追加

3

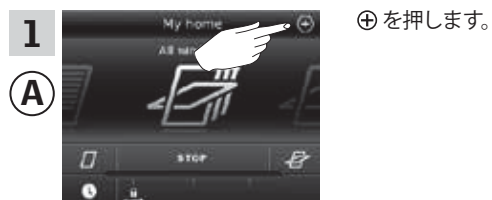
別々のシステムの2つ以上のVELUX INTEGRA® リモコン KLR 200 を互いの製品の操作ができるようにする

リモコン KLR 200 に別のリモコン KLR 200 に登録されている製品も操作させる方法を以下に説明します。

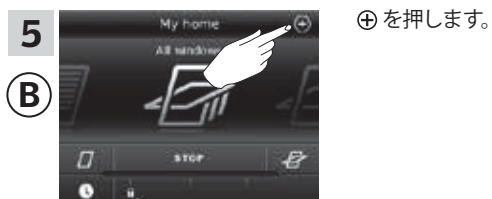
製品を受信するリモコン KLR 200 をリモコン ① と呼びます。
製品を送信するリモコン KLR 200 をリモコン ② と呼びます。



まず、① で1～4の操作を行ってください。



2分以内に②で5～8の操作を行ってください。



次の頁に続く

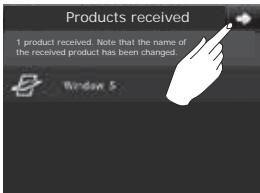
登録

VELUX INTEGRA® システムの拡張 - リモコンの追加

3


次に、①で 9～11 の操作を行ってください。

9
①



⇒ を押します。

10
①



画面は他の製品を受信したいかどうかを尋ねてきます。「No」を押します。


11
①



△を押して終了します。

次に、②で 12～13 の操作を行ってください。

12
②



リモコンに自身の製品だけを操作できるようにする場合は「No」を押します。
注意：そうでない場合は「Yes」を押します。

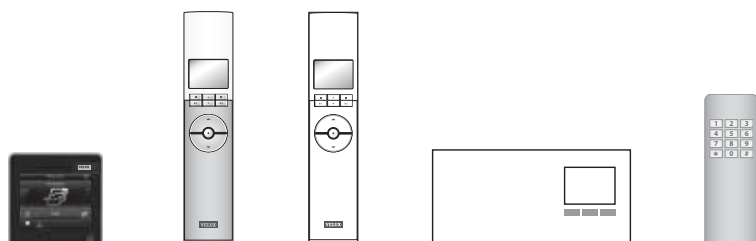
13
②



△を押して終了します。

これで ① は全ての製品を操作することができます。同様に ② で全ての製品を操作することができるようにするには、「リモコンに製品を追加する」の章に従ってください。

転送前に ① と同じ製品を操作することができた追加リモコンをお持ちの場合は、それらの製品を再び操作することができるようにするにはセキュリティキーを同期しなければなりません。84 頁の一覧を参照してください。



登録

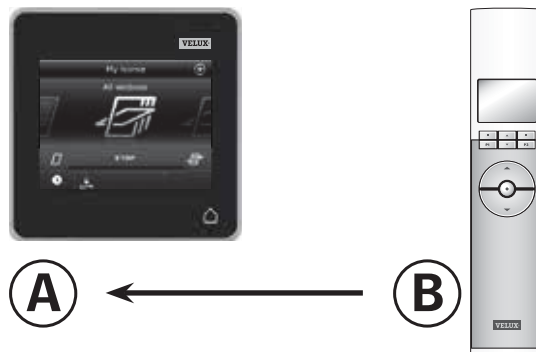
VELUX INTEGRA® システムの拡張 - リモコンの追加

3

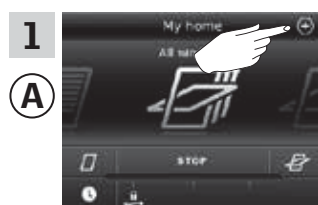
別々のシステムの VELUX INTEGRA® リモコン KLR 200 とリモコン KLR 100 を互いの製品の操作ができるようにする

リモコン KLR 100 に登録された製品をリモコン KLR 200 でも操作できるようにする方法を以下に説明します。

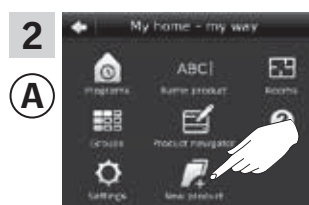
製品を受信するリモコン KLR 200 をリモコン (A) と呼びます。
製品を送信するリモコン KLR 100 をリモコン (B) と呼びます。



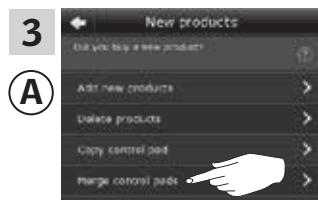
まず、(A) で 1～4 の操作を行ってください。



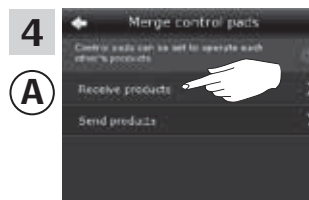
⊕ を押します。



「新しい製品」を押します。

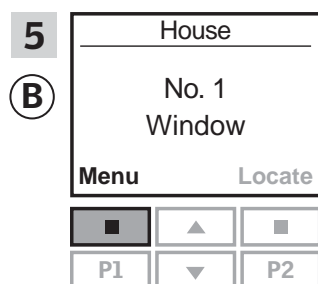


「リモコンの統合」を押します。

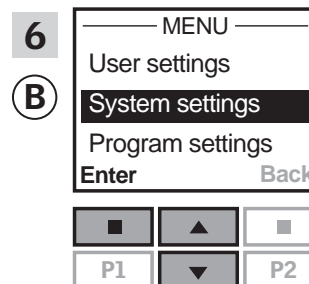


「製品を受信する」を押します。

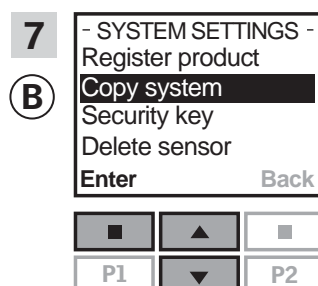
2分以内に (B) で 5～7 の操作を行ってください。



⏏ 「メニュー」を押します。



⏏ を押して「システムセッテイ」を強調表示させます。
⏏ 「エンター」を押して選択を確定します。



⏏ を押して「コピーシステム」を強調表示させます。
⏏ 「エンター」を押して選択を確定します。
(B) が (A) に製品を転送します。

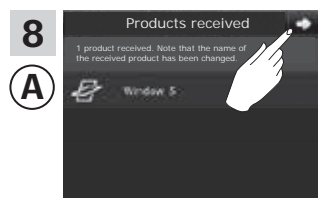
次の頁に続く

登録

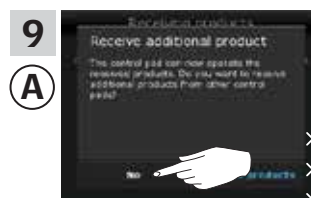
VELUX INTEGRA® システムの拡張 - リモコンの追加

3

次に、①で 8～10 の操作を行ってください。



⇒ を押します。

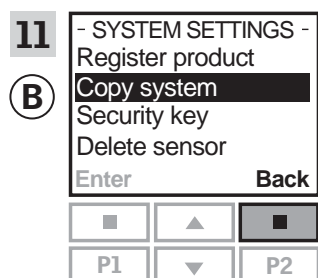


画面は他の製品を受信したいかどうかを尋ねてきます。
「No」を押します。



△ を押して終了します。

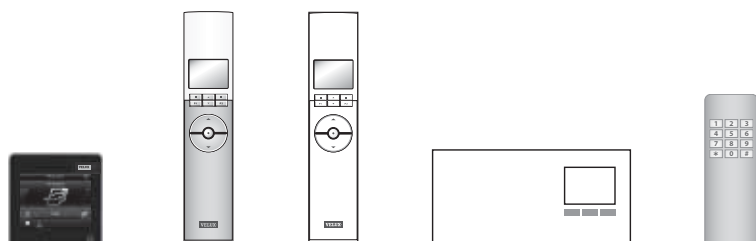
次に、②で 11 の操作を行ってください。



□ 「モデル」 を押して終了します。

これで ① は全ての製品を操作することができるようになりました。同様に ② で全ての製品を操作することができるようにするには、リモコン KLR 100 の使用説明書の「新しい製品を登録する」の章に従ってください。

転送前に ① と同じ製品を操作することができた追加リモコンをお持ちの場合は、それらの製品を再び操作することができるようにするにはセキュリティキーを同期しなければなりません。84 頁の一覧を参照してください。



登録

VELUX INTEGRA® システムの拡張 - リモコンの追加

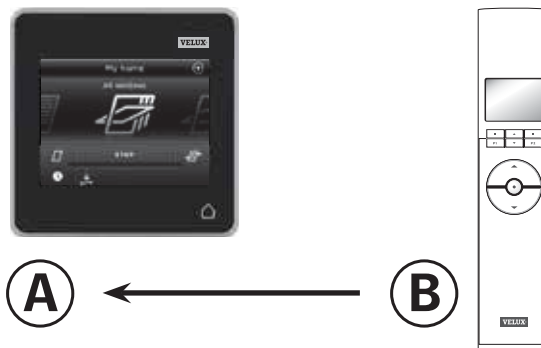
3

別々のシステムの VELUX INTEGRA® リモコン KLR 200 とリモコン KRX 100 を互いの製品の操作ができるようにする (日本仕様は対象外)

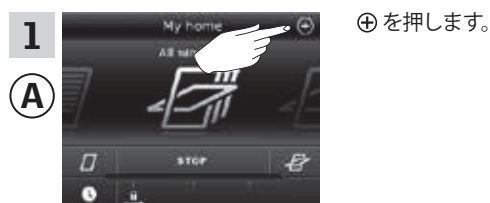
リモコン KRX 100 に登録された製品をリモコン KLR 200 でも操作できるようにする方法を以下に説明します。

注意: 無線周波数が 868 MHz の VELUX INTEGRA® 製品のみで使用可能です。

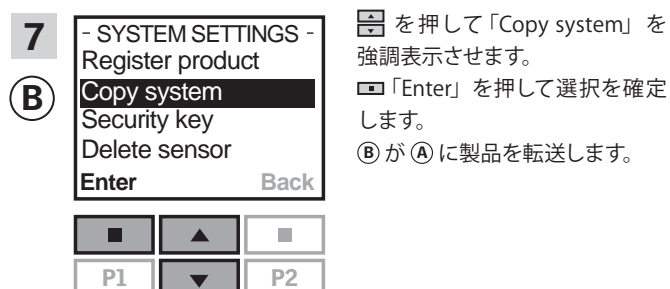
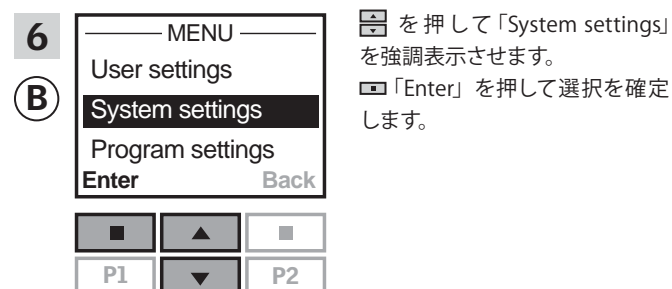
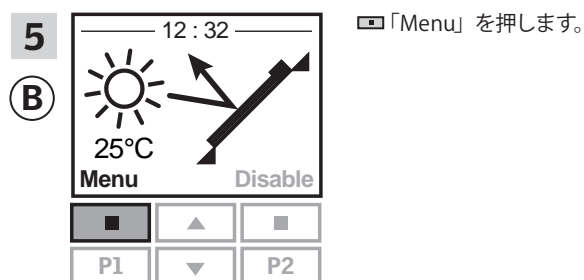
製品を受信するリモコン KLR 200 をリモコン ① と呼びます。
製品を送信するリモコン KRX 100 をリモコン ② と呼びます。



まず、① で 1～4 の操作を行ってください。



2分以内に ② で 5～7 の操作を行ってください。



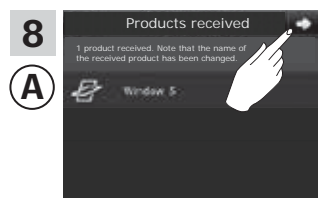
次の頁に続く

登録

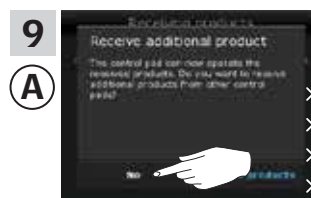
VELUX INTEGRA® システムの拡張 - リモコンの追加

3

Ⓐで8～10の操作を行ってください。



⇒を押します。

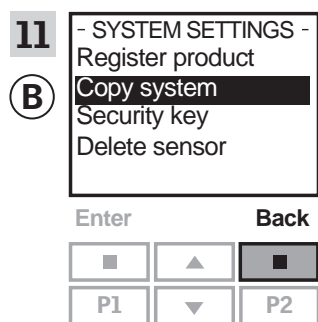


画面は他の製品を受信したいかどうかを尋ねてきます。
「No」を押します。



⏏を押して終了します。

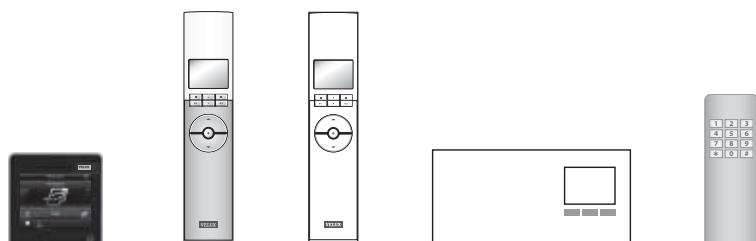
Ⓑで11の操作を行ってください。



⏪「Back」を押して終了します。

これで Ⓐ は全ての製品を操作することができるようになりました。同様に Ⓑ で全ての製品を操作することができるようにするには、リモコン KRX 100 の説明書の「リモコンにブラインドを登録する」の章に従ってください。

転送前に Ⓐ と同じ製品を操作することができた追加リモコンをお持ちの場合は、それらの製品を再び操作することができるようにするにはセキュリティキーを同期しなければなりません。84 頁の一覧を参照してください。



登録

VELUX INTEGRA® システムの拡張 - リモコンの追加

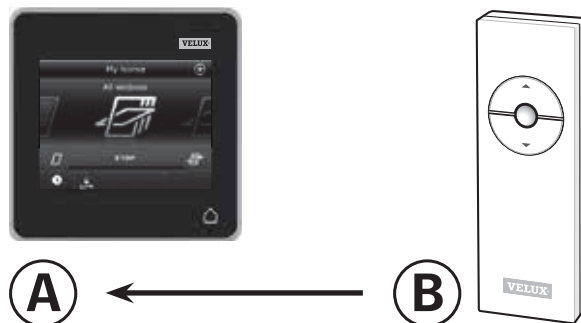
3

別々のシステムの VELUX INTEGRA® リモコン KLR 200 と VELUX INTEGRA® 画面無しリモコンを互いの製品の操作ができるようにする (日本仕様は対象外)

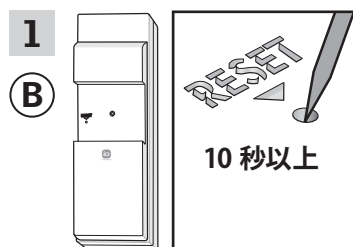
画面無しリモコンに登録された製品をリモコン KLR 200 でも操作できるようにする方法を以下に説明します。

注意: 無線周波数が 868 MHz の VELUX INTEGRA® 製品のみで使用可能です。

製品を**受信**するリモコン KLR 200 をリモコン **(A)** と呼びます。
製品を**送信**する画面無しリモコンをリモコン **(B)** と呼びます。



まず、**(B)** で 1 の操作を行ってください。

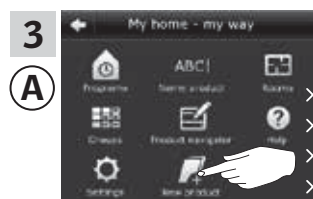


先のとがった物で裏面のリセットボタンを少なくとも 10 秒間押して登録する製品を準備します。

10 分以内に **(A)** で 2 ~ 6 の操作を行ってください。



⊕を押します。



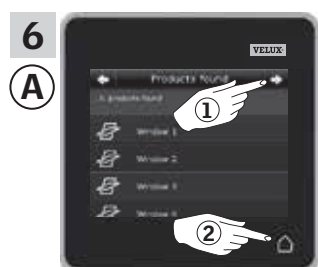
「新しい製品」を押します。



「新しい製品を追加」を押します。



⇒を押します。



リモコンが製品を見つけたら ⇒を押します **①**。
これで新しい製品を操作できるようになりました。
⊕を押して終了します **②**。

同様に **(B)** で、選択された製品を操作することができるようにするには、制御システム KUX 100 の説明書の「追加リモコン」の章に従ってください。

登録

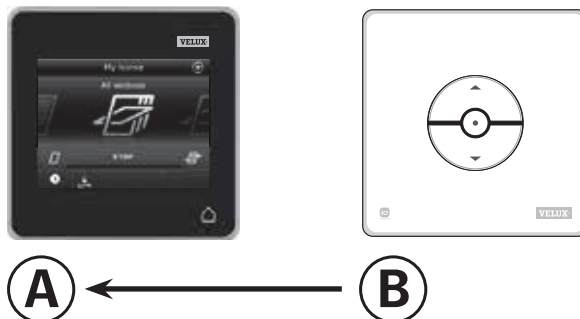
VELUX INTEGRA® システムの拡張 - リモコンの追加

3

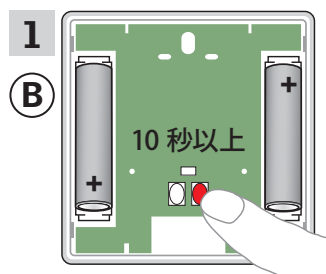
別々のシステムの VELUX INTEGRA® リモコン KLR 200 とリモコン KLI 110 を互いの製品の操作ができるようにする

リモコン KLI 110 に登録された製品をリモコン KLR 200 でも操作できるようにする方法を以下に説明します。

製品を受信するリモコン KLR 200 をリモコン ① と呼びます。
製品を送信するリモコン KLI 110 をリモコン ② と呼びます。

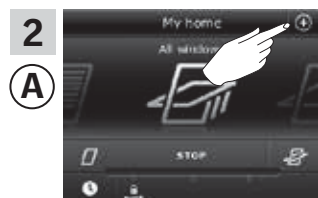


まず、② で 1 の操作を行ってください。

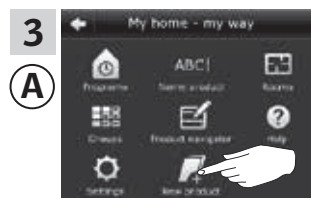


裏面の R ボタンを少なくとも 10 秒間押して登録する製品を準備します。

10 分以内に ① で 2～6 の操作を行ってください。



⊕ を押します。



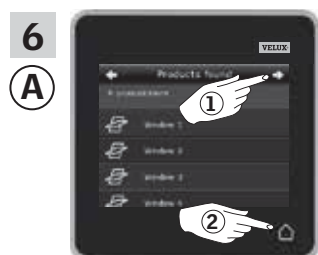
「新しい製品」を押します。



「新しい製品を追加」を押します。



⇒ を押します。



リモコンが製品を見つけたら ⇨ を押します ①。
これで新しい製品を操作することができます。
⊙ を押して終了します ②。

同様に ② で、選択された製品を操作することができるようにするには、リモコン KLI 110 の説明書の「リモコン KLR200 に登録済みの製品の操作」の章に従ってください。

登録

VELUX INTEGRA® システムの拡張 - リモコンの追加

3

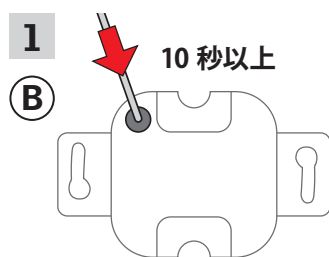
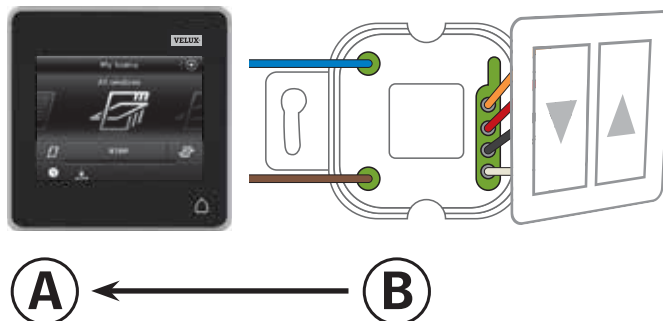
別々のシステムの VELUX INTEGRA® リモコン KLR 200 とインターフェイス KLF 050 を互いの製品の操作ができるようにする（日本仕様は対象外）

インターフェイス KLF 050 に登録された製品をリモコン KLR 200 でも操作できるようにする方法を以下に説明します。

注意：無線周波数が 868 MHz の VELUX INTEGRA® 製品のみで使用可能です。

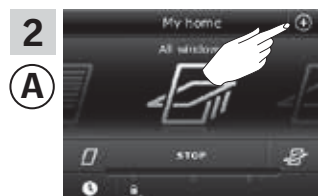
製品を受信するリモコン KLR 200 をリモコン (A) と呼びます。
製品を送信するインターフェイス KLF 050 をリモコン (B) と呼びます。

まず、(B) で 1 の操作を行ってください。

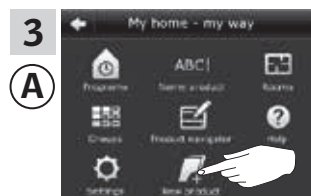


先のとがった物で裏面のセットボタンを少なくとも10秒間押し、登録する製品を準備します。

10 分以内に (A) で 2～6 の操作を行ってください。



⊕ を押します。



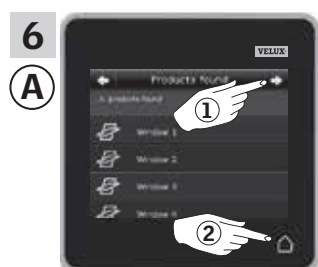
「新しい製品」を押します。



「新しい製品を追加」を押します。



⇒ を押します。



リモコンが製品を見つけたら ⇒ を押します ①。
これで新しい製品を操作することができます。
⊕ を押して終了します ②。

同様に (B) で、選択された製品を操作することができるようにするには、インターフェイス KLF 050 の説明書の「運転状態にする」の章に従ってください。

登録

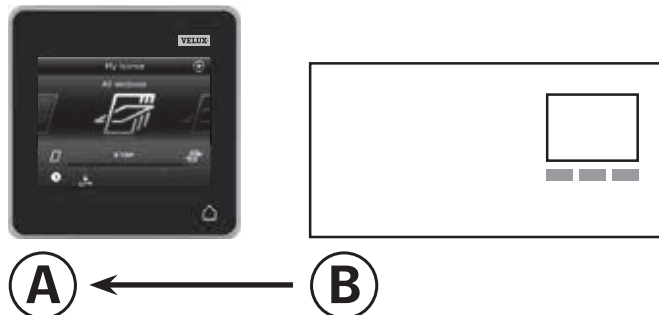
VELUX INTEGRA® システムの拡張 - リモコンの追加

3

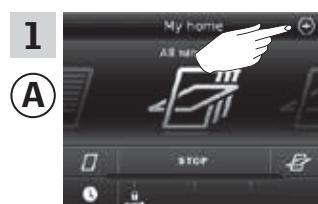
別々のシステムの VELUX INTEGRA® リモコン KLR 200 とインターフェイス KLF100 を互いの製品の操作ができるようにする

インターフェイス KLF 100 に登録された製品をリモコン KLR 200 でも操作できるようにする方法を以下に説明します。

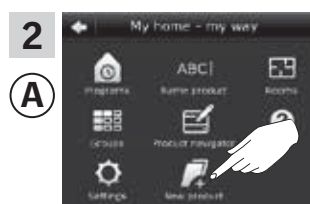
製品を受信するリモコン KLR 200 をリモコン (A) と呼びます。
製品を送信するインターフェイス KLF 100 をリモコン (B) と呼びます。



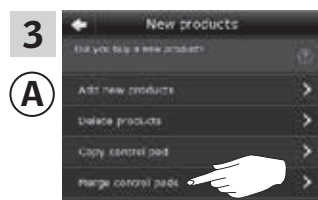
まず、(A) で 1～4 の操作を行ってください。



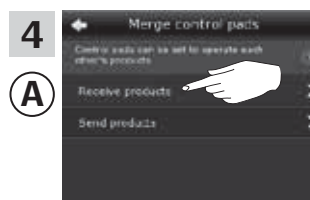
⊕ を押します。



「新しい製品」を押します。

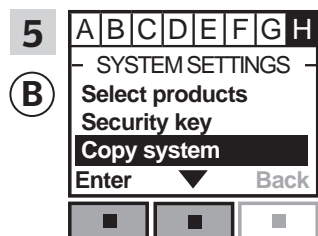


「リモコンの統合」を押します。



「製品を受信する」を押します。

2分以内に (B) で 5 の操作を行ってください。



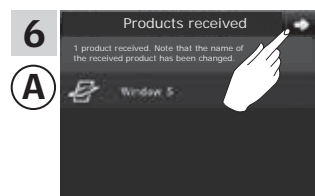
メニュー項目 **H** が強調表示されるまでインターフェイスの指示に従ってください。
▼ を押して「Copy system」を強調表示させます。
Enter を押して選択を確定します。
B が **A** に製品を転送します。

登録

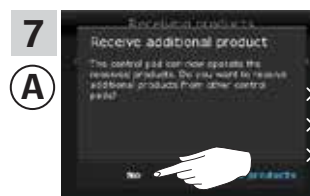
VELUX INTEGRA® システムの拡張 - リモコンの追加

3

①で6～8の操作を行ってください。



⇒ を押します。

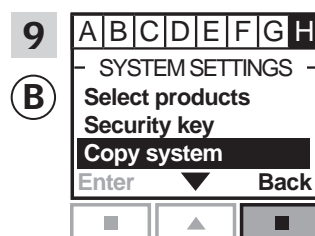


画面は他の製品を受信したいかどうかを尋ねてきます。「No」を押します。



◀ を押して終了します。

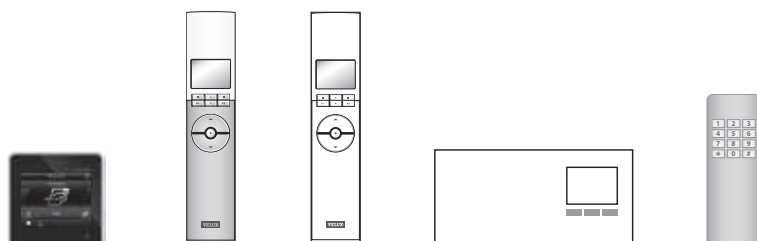
②で9の操作を行ってください。



◀ 「Back」を押して終了します。

これで①は全ての製品を操作することができます。同様に②で全ての製品を操作することができるようにするには、インターフェイス KLF 100の使用説明書の「製品を登録する」の章に従ってください。

転送前に①と同じ製品を操作することができた追加リモコンをお持ちの場合は、それらの製品を再び操作することができるようにするにはセキュリティキーを同期しなければなりません。84頁の一覧を参照してください。



登録

VELUX INTEGRA® システムの拡張 - リモコンの追加

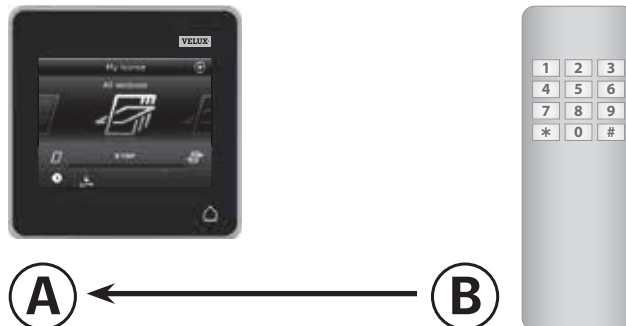
3

別々のシステムの VELUX INTEGRA® リモコン KLR 200 と別の種類の io-homecontrol® リモコンを互いの製品の操作ができるようにする (日本仕様は対象外)


別の種類の io-homecontrol® リモコンに登録された製品をリモコン KLR 200 でも操作できるようにする方法を以下に説明します。


注意: 無線周波数が 868 MHz の VELUX INTEGRA® 製品のみで使用可能です。

製品を受信するリモコン KLR 200 をリモコン (A) と呼びます。
製品を送信する io-homecontrol® リモコンをリモコン (B) と呼びます。



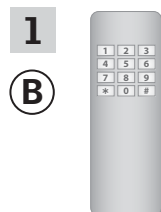
説明は次の 2 つに分かれています:

ワンウェイリモコンの説明 
製品にこのマークが付いている

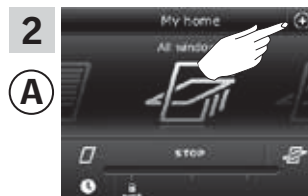
ツーウェイリモコンの説明 
製品にこのマークが付いている

ワンウェイリモコン 

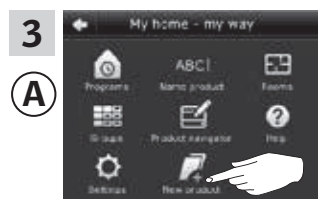
まず、(B) で 1 の操作を行ってください。



io-homecontrol® リモコンの説明書を参照してください。
10 分以内に (A) で 2 ~ 6 の操作を行ってください。



⊕を押します。



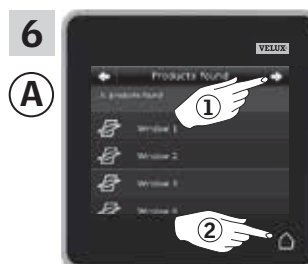
「新しい製品」を押します。



「新しい製品を追加」を押します。



⇒を押します。



リモコンが製品を見つけたら ⇨ を押します ①。
これで新しい製品を操作することができます。
⏏を押して終了します ②。

同様に (B) で、選択された製品を操作することができるようにするには、「VELUX INTEGRA® リモコン KLR 200 ですすでに操作されているシステムに他の種類の io-homecontrol® リモコンを追加する」の章の 1 ~ 7 の操作を行ってください。

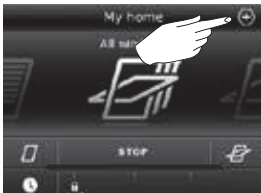
登録

VELUX INTEGRA® システムの拡張 - リモコンの追加

3

ツーウェイリモコン 

まず、**(A)** で 1～4 の操作を行ってください。


1  **(A)** ⊕ を押します。

2  **(A)** 「新しい製品」を押します。

3  **(A)** 「リモコンを統合する」を押します。

4  **(A)** 「製品を受信する」を押します。

2分以内に **(B)** で 5 の操作を行ってください。

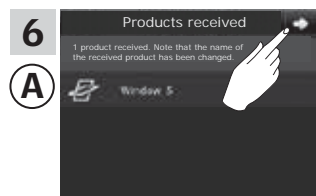
5  **(B)** io-homecontrol® リモコンの説明書を参照してください。
「io-homecontrol® 製品のジョイント操作」の章も参照されると良いでしょう。
(B) が **(A)** に製品を転送します。

登録

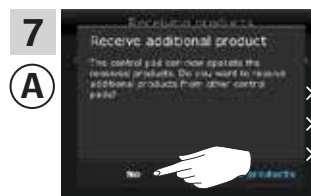
VELUX INTEGRA® システムの拡張 - リモコンの追加

3

④で6～8の操作を行ってください。



⇒ を押します。



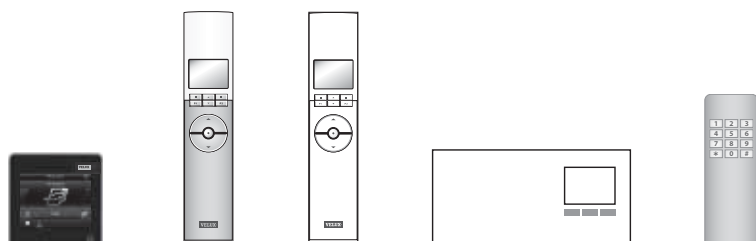
画面は他の製品を受信したいかどうかを尋ねてきます。「No」を押します。



⏏ を押して終了します。

これで ① は全ての製品を操作できるようになりました。同様に ② で全ての製品を操作できるようにするには、io-homecontrol® リモコンの説明書に従ってください。

転送前に ① と同じ製品を操作することができた追加リモコンをお持ちの場合は、それらの製品を再び操作できるようにするにはセキュリティキーを同期しなければなりません。84 頁の一覧を参照してください。



同じシステム内のリモコンのセキュリティキーを同期してそれらのリモコンが製品を再び操作できるようにする

「リモコン」は、VELUX INTEGRA® 製品を操作することができる全ての装置の総称として使用します。

製品に新しいセキュリティキーが付与されたために製品を操作することができなくなったリモコンがある場合、それらの製品を再び操作することができるようにするためにそのリモコンのセキュリティキーを同期しなければなりません。

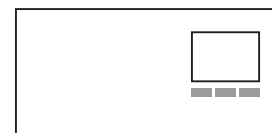
リモコン KLR 200 と同じセキュリティキーを持たせるリモコンを探すには、下記の参照ページをご覧ください。



VELUX INTEGRA®
リモコン KLR 200
(3LR A02)
85 ~ 86 頁



VELUX INTEGRA®
インターフェイス KLF 100
(3LF D01)
91 ~ 92 頁



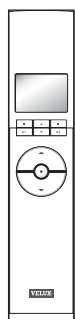
VELUX INTEGRA®
リモコン KLR 100
(3LR A01)
87 ~ 88 頁



他の種類の io-homecontrol®
リモコン
93 頁
(日本仕様は対象外)



VELUX INTEGRA®
リモコン KRX 100
(3LF D02)
89 ~ 90 頁
(日本仕様は対象外)



登録

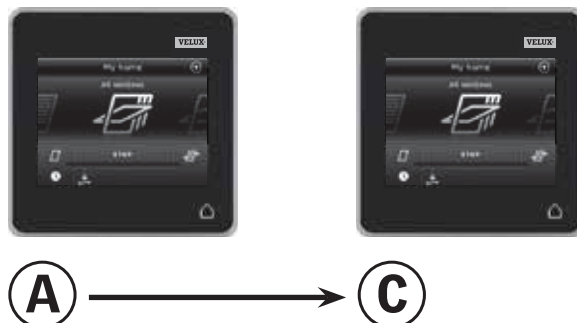
VELUX INTEGRA® システムの拡張 - リモコンの追加

3

同じシステム内の2つのVELUX INTEGRA®リモコンKLR 200のセキュリティキーを同期させて両方のリモコンが再び製品を操作することができるようにする

リモコンKLR 200のセキュリティキーを別のリモコンKLR 200に転送する方法を以下に説明します。

セキュリティキーを送信するリモコンKLR 200をリモコン(A)と呼びます。
セキュリティキーを受信するリモコンKLR 200をリモコン(C)と呼びます。



まず、(A)で1～4の操作を行ってください。

1 ⊕を押します。

(A)

2 「新しい製品」を押します。

(A)

3 「リモコンのコピー」を押します。

(A)

4 ⇨を押します。

(A)

2分以内に(C)で5～8の操作を行ってください。

5 ⊕を押します。

(C)

6 「設定」を押します。

(C)

7 「セキュリティ」を押します。

(C)

8 「セキュリティキーを受信」を押します。

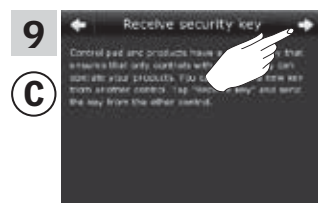
(C)

次の頁に続く

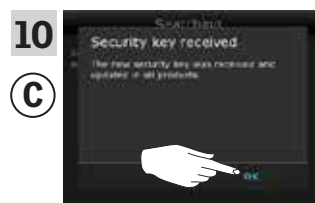
登録

VELUX INTEGRA® システムの拡張 - リモコンの追加

3



⇒ を押します。



「OK」を押します。



△ を押して終了します。

これでセキュリティキーは両方のリモコンで同じになり、ⓐ は再び製品を操作することができるようになりました。

同じシステムに追加のリモコンをお持ちの場合は、それらのリモコンに製品を再び操作させるためにセキュリティキーを同期しなければなりません。84 頁の一覧を参照してください。

同様に ⓐ で全ての製品を操作することができるようにするには、「リモコンに製品を追加する」の章に従ってください。

登録

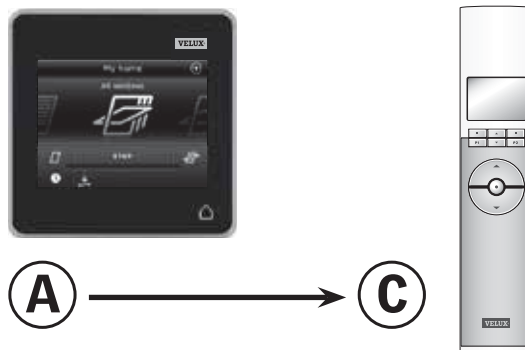
VELUX INTEGRA® システムの拡張 - リモコンの追加

3

同じシステム内の VELUX INTEGRA® リモコン KLR 200 とリモコン KLR 100 のセキュリティキーを同期させて両方のリモコンが再び製品を操作できるようにする

リモコン KLR 200 のセキュリティキーをリモコン KLR 100 に転送する方法を以下に説明します。

セキュリティキーを送信するリモコン KLR 200 をリモコン (A) と呼びます。
セキュリティキーを受信するリモコン KLR 100 をリモコン (C) と呼びます。



まず、(A) で 1～4 の操作を行ってください。

1 (A) ⊕ を押します。

2 (A) 「新しい製品」を押します。

3 (A) 「リモコンのコピー」を押します。

4 (A) ⇨ を押します。

2分以内に (C) で 5～8 の操作を行ってください。

5 (C) 「メニュー」を押します。

6 (C) を押して「システムセットイ」を強調表示させます。
「エンター」を押して選択を確定します。

7 (C) を押して「セキュリティキー」を強調表示させます。
「エンター」を押して選択を確定します。

8 (C) を押して「ジュリョウ」を強調表示させます。
「エンター」を押して選択を確定します。
画面はセキュリティキーが転送されていることを示します。

次の頁に続く

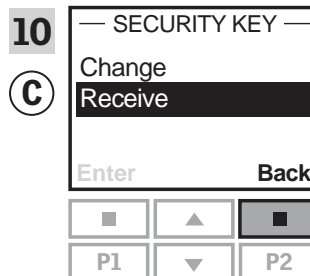
登録

VELUX INTEGRA® システムの拡張 - リモコンの追加

3



△を押して終了します。



□「モデル」を押して終了します。

これでセキュリティキーは両方のリモコンで同じになり、(C) は再び製品を操作することができるようになりました。

同じシステムに追加リモコンをお持ちの場合は、それらのリモコンに製品を再び操作させるためにセキュリティキーを同期しなければなりません。84 頁の一覧を参照してください。

同様に (C) で全ての製品を操作することができるようにするには、リモコン KLR 100 の使用説明書の「新しい製品を登録する」の章に従ってください。

登録

VELUX INTEGRA® システムの拡張 - リモコンの追加

3

同じシステム内の VELUX INTEGRA® リモコン KLR 200 とリモコン KRX 100 のセキュリティキーを同期させて両方が再び製品を操作できるようにする（日本仕様は対象外）

リモコン KLR 200 のセキュリティキーをリモコン KRX 100 に転送する方法を以下に説明します。

注意:無線周波数が 868 MHz の VELUX INTEGRA® 製品のみで使用可能です。

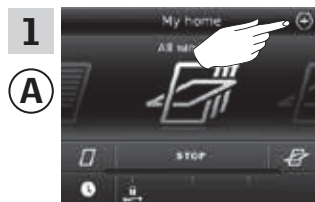
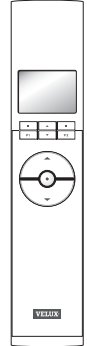
セキュリティキーを**送信**するリモコン KLR 200 をリモコン ①と呼びます。
セキュリティキーを**受信**するリモコン KRX 100 をリモコン ③と呼びます。

まず、①で1～4の操作を行ってください。

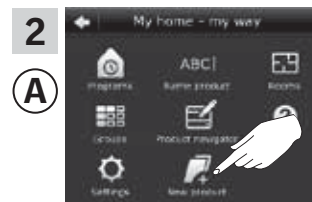


①

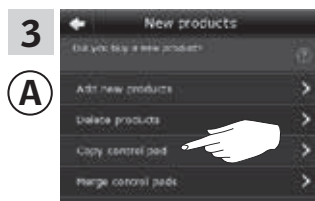
③



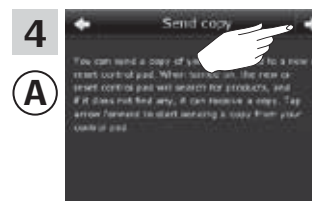
⊕を押します。



「新しい製品」を押します。

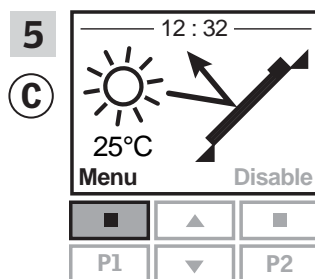


「リモコンのコピー」を押します。

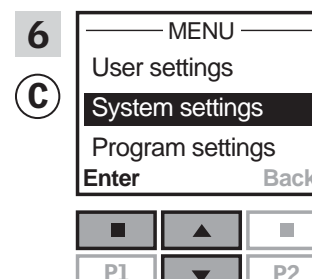


⇒を押します。

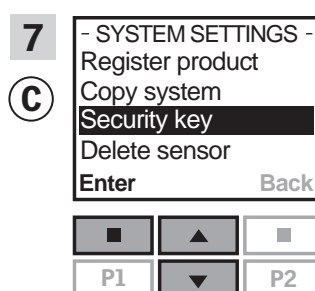
2分以内に③で5～8の操作を行ってください。



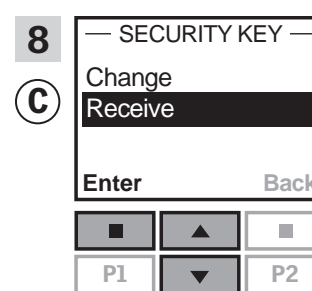
☰「Menu」を押します。



☰を押して「System settings」を強調表示させます。
☑「Enter」を押して選択を確定します。



☰を押して「Security key」を強調表示させます。
☑「Enter」を押して選択を確定します。



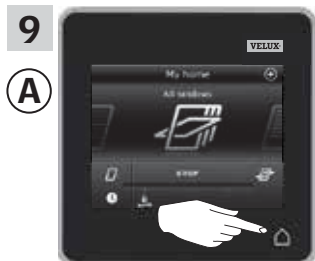
☰を押して「Receive」を強調表示させます。
☑「Enter」を押して選択を確定します。
画面はセキュリティキーが転送されていることを示します。

次の頁に続く

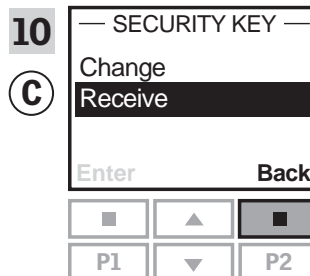
登録

VELUX INTEGRA® システムの拡張 - リモコンの追加

3



△を押して終了します。



▣「Back」を押して終了します。

これでセキュリティキーは両方のリモコンで同じになり、(C) は再び製品を操作できるようになりました。

同じシステムに追加リモコンをお持ちの場合、それらのリモコンに製品を再び操作させるためにセキュリティキーを同期しなければなりません。84 頁の一覧を参照してください。

同様に (C) で全ての製品を操作することができるようにするには、リモコン KRX 100 の説明書の「ブラインドをリモコンに登録する」の章に従ってください。

登録

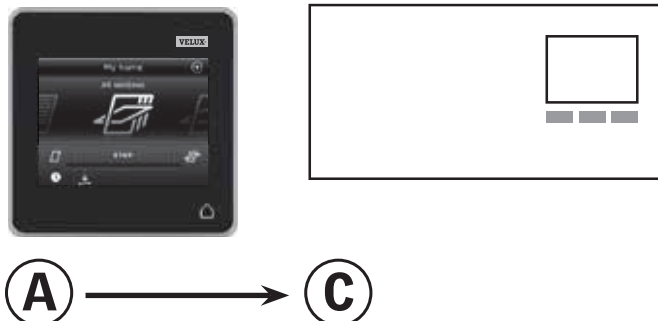
VELUX INTEGRA® システムの拡張 - リモコンの追加

3

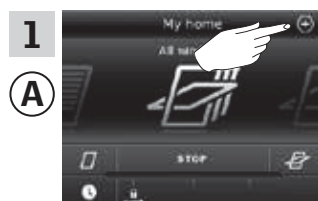
同じシステム内の VELUX INTEGRA® リモコン KLR 200 とインターフェイス KLF 100 のセキュリティキーを同期させて両方が再び製品を操作できるようにする

リモコン KLR 200 のセキュリティキーをインターフェイス KLF 100 に転送する方法を以下に説明します。

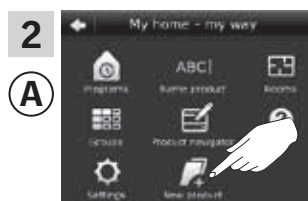
セキュリティキーを送信するリモコン KLR 200 をリモコン (A) と呼びます。セキュリティキーを受信するインターフェイス KLF 100 をリモコン (C) と呼びます。



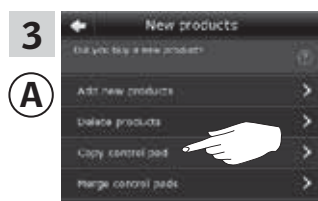
まず、(A) で 1～4 の操作を行ってください。



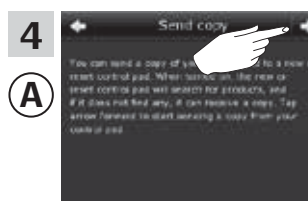
⊕を押します。



「新しい製品」を押します。

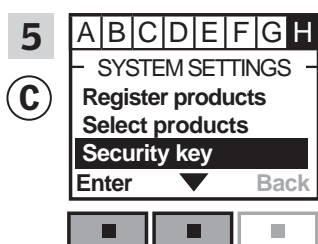


「リモコンのコピー」を押します。

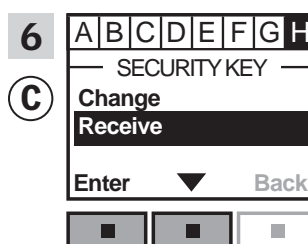


⇒を押します。

2分以内に (C) で 5～6 の操作を行ってください。



メニュー項目 H が強調表示されるまでインターフェイスの指示に従ってください。
 ▢▼を押して「Security key」を強調表示させます。
 ▢「Enter」を押して選択を確定します。



▢▼を押して「Receive」を強調表示させます。
 ▢「Enter」を押して選択を確定します。

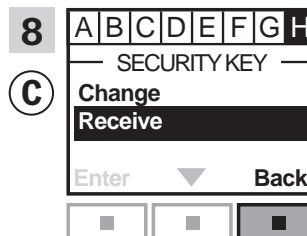
登録

VELUX INTEGRA® システムの拡張 - リモコンの追加

3



⏏を押して終了します。



⏏「Back」を押して終了します。

これでセキュリティキーは両方のリモコンで同じになり、Ⓒは再び製品を操作できるようになりました。

同じシステムに追加リモコンをお持ちの場合、それらのリモコンに製品を再び操作させるためにセキュリティキーを同期しなければなりません。84 頁の一覧を参照してください。

同様に Ⓒ で全ての製品を操作することができるようにするには、インターフェイス KLF 100 の使用説明書の「製品登録」の章に従ってください。

登録

VELUX INTEGRA® システムの拡張 - リモコンの追加

3

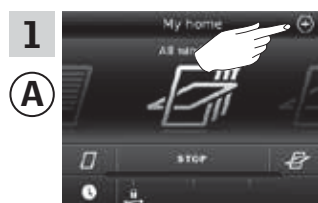
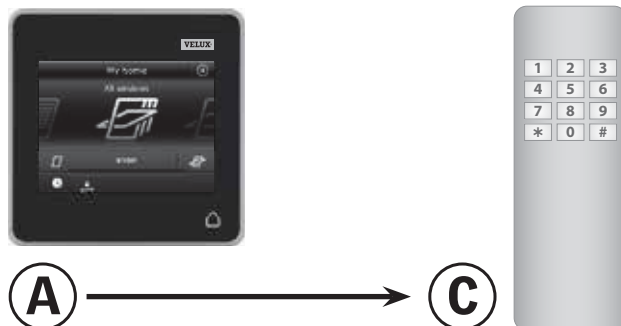
同じシステム内の VELUX INTEGRA® リモコン KLR 200 と別の種類の io-homecontrol® リモコンのセキュリティキーを同期させて両方が再び製品を操作できるようにする (日本仕様は対象外)

リモコン KLR 200 のセキュリティキーを io-homecontrol® リモコンに転送する方法を以下に説明します。

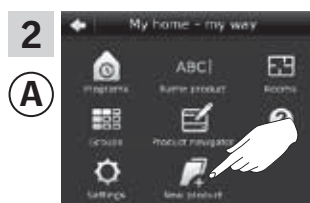
注意: 無線周波数が 868 MHz の VELUX INTEGRA® 製品のみで使用可能です。

セキュリティキーを送信するリモコン KLR 200 をリモコン (A) と呼びます。
セキュリティキーを受信する io-homecontrol® リモコンをリモコン (C) と呼びます。

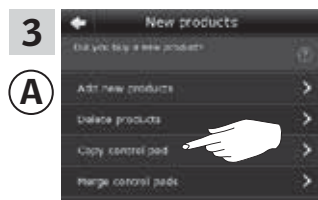
まず、(A) で 1 ~ 4 の操作を行ってください。



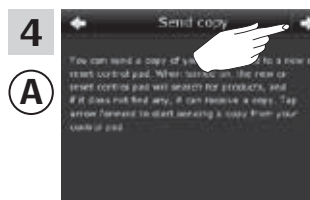
⊕を押します。



「新しい製品」を押します。

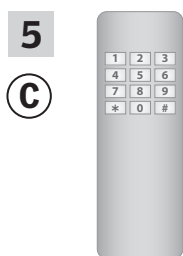


「リモコンのコピー」を押します。

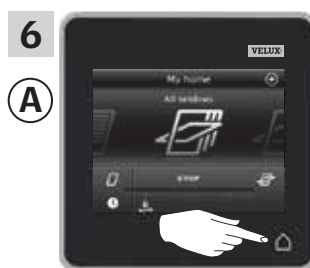


⇒を押します。

2分以内に (C) で 5 の操作を行ってください。



io-homecontrol® リモコンの説明書を参照してください。
「io-homecontrol® 製品のジョイント操作」の章も参照されると良いでしょう。



△を押して終了します。

これでセキュリティキーは両方のリモコンで同じになり、(C) は再び製品を操作することができるようになりました。

同じシステムに追加リモコンをお持ちの場合、それらのリモコンに製品を再び操作させるためにセキュリティキーを同期しなければなりません。84 頁の一覧を参照してください。

同様に (C) で全ての製品を操作することができるようにするには、io-homecontrol® リモコンの説明書に従ってください。

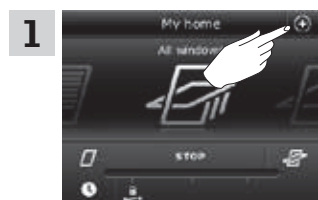
登録

VELUX INTEGRA® システムの拡張

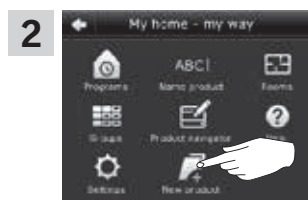
3

リモコンの製品を削除する

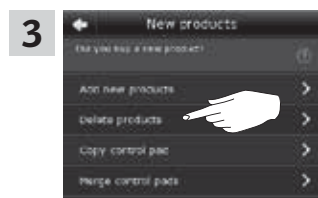
リモコンで製品を操作することができないようにしたい場合はリモコンから製品を削除することができます。



⊕を押します。



「新しい製品」を押します。



「製品を削除」を押します。



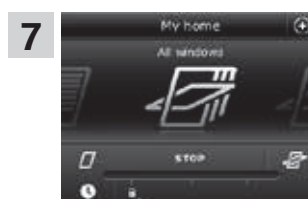
削除したい製品、この場合は「ローラーシャッター1」を押します①。
注意: 個々の製品はアイコンを押すことによって特定することができます。「製品を見つける」の章も参照してください。
⇒を押します②。



「Yes」を押します。



△を押して終了します。



製品ナビゲーターには、もう製品「ローラーシャッター1」はありません。

登録

VELUX INTEGRA® システムの拡張 - io-homecontrol® 製品のジョイント操作 (日本仕様は対象外)


3

VELUX INTEGRA® 製品以外の他の種類の io-homecontrol® 製品をリモコン KLR 200 で操作する、あるいは、VELUX INTEGRA® 製品をリモコン KLR 200 以外の別の種類の io-homecontrol® リモコンで操作するには、全ての製品が同じセキュリティキーを持たなければなりません。


「VELUX INTEGRA® システムの拡張」の章の参照ページの一覧を参照して、リモコン KLR 200 が、通信時に同じ無線周波数を使用して明記されている他の種類の io-homecontrol® 製品およびシステムとどのように接続することができるかを確認してください。io-homecontrol® 製品全般をジョイントシステム内に含めるように構成する方法ならびに新しいセキュリティキーを作成する方法を下に記載しています。原則として、リモコン KLR 200 はさらなる説明書を必要とすることなく他のリモコンと組み合わせることができますが、全てのリモコンで io-homecontrol® 製品のジョイント操作ができるわけではないことにご留意ください。

リモコン KLR 200 の裏面の蓋の下のキーボタンは、先のとがった物で押すことで作動させることができます。セキュリティキーを受信、送信または作成したいかどうかに応じて、このキーボタンを一定の時間押ししてください。


別のリモコンのセキュリティキーの受信：

LED がゆっくりと点滅 (1 秒につき 1 回点滅) し始めるまでキーボタンを短く  (最大 2 秒) 押ししてください。

別のリモコンにセキュリティキーを送信：

LED がすこし速く点滅 (1 秒につき 3 回点滅) し始めるまでキーボタンを少し長く  (2 ~ 7 秒) 押ししてください。

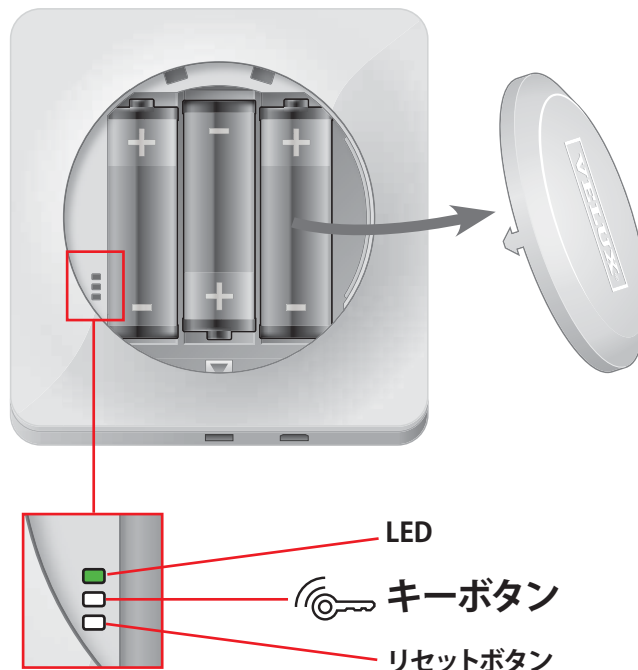
新しいセキュリティキーの作成：

LED が非常に速く点滅 (1 秒につき 7 回点滅) し始めるまでキーボタンを長く  (7 ~ 15 秒) 押ししてください。

重要：新しいセキュリティキーを作成する前に、リモコンの全ての製品が操作可能であることを確認しなければなりません。操作可能でない製品は新しいセキュリティキーでも操作できなくなります。

セキュリティキーの受信、送信または作成をキャンセルするには、LED が消えるまでキーボタンを押し続けてください。

以下のページの説明は、3 つの状況のどれが該当するかに応じてセキュリティキーの転送方法を示します。



登録


VELUX INTEGRA® システムの拡張 - io-homecontrol® 製品のジョイント操作 (日本仕様は対象外)

3

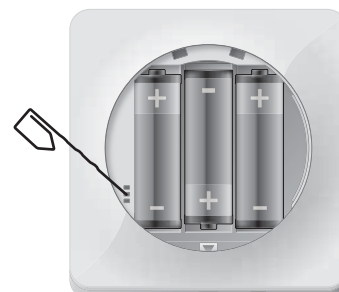
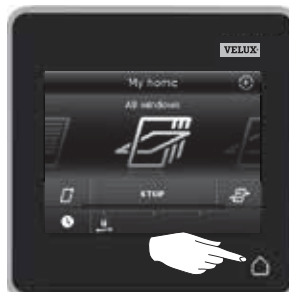
セキュリティキーを別の io-homecontrol® リモコンに送信する

VELUX INTEGRA® リモコン KLR 200


△を押してリモコンの画面が ON であることを確認してください。


LED が点滅  (1 秒につき 3 回点滅) し始めるまでキーボタンを 2~7 秒間押してください。




注意: 転送はキーボタンをもう一度押すことによって中断できます。



io-homecontrol® リモコン ①

LED がゆっくりと点滅  (1 秒につき 1 回点滅) し始めるまでキーボタンを短く (最大 2 秒) 押してください。

リモコン KLR 200 の LED が約 2 秒間緑色  になり、その後消えれば、転送は成功です。

リモコン KLR 200 の LED が赤色で連続 3 回素早く点滅    して、その後消えた場合、転送は失敗です。この場合、両方のリモコンで処理を繰り返さなければなりません。

セキュリティキーの送信が完了したら、リモコン KLR 200 から io-homecontrol® リモコン ① に製品を追加しなければなりません。io-homecontrol® リモコン ① の説明書を参照してください。



登録

VELUX INTEGRA® システムの拡張 - io-homecontrol® 製品のジョイント操作 (日本仕様は対象外)

3

別の io-homecontrol® リモコンのセキュリティキーを受信する


io-homecontrol® リモコン ④


LED が点滅  (1 秒につき 3 回点滅) するまでキーボタンを 2 ~ 7 秒押ししてください。




注意: 転送はキーボタンをもう 1 回押すことによって中断できます。

VELUX INTEGRA® リモコン KLR 200

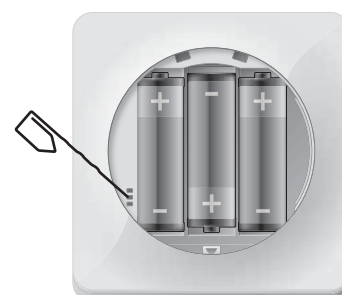
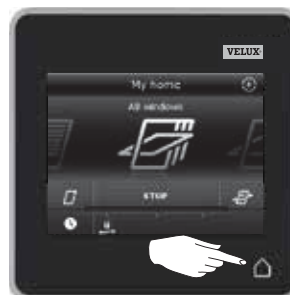
△ を押してリモコンの画面が ON であることを確認してください。

LED がゆっくりと点滅  (1 秒につき 1 回点滅) し始めるまでキーボタンを短く (最大 2 秒) 押ししてください。

リモコン KLR 200 の LED が約 2 秒間緑色  になり、その後消えれば、転送は成功です。

リモコン KLR 200 の LED が赤色で連続 3 回素早く点滅    して、その後消えた場合、転送は失敗です。この場合、両方のリモコンで処理を繰り返さなければなりません。


セキュリティキーの受信が完了したら、io-homecontrol® リモコン ④ からリモコン KLR 200 に製品を追加しなければなりません。「リモコンに製品を追加する」の章を参照してください。







VELUX INTEGRA® リモコン KLR 200 で新しいセキュリティキーを作成する

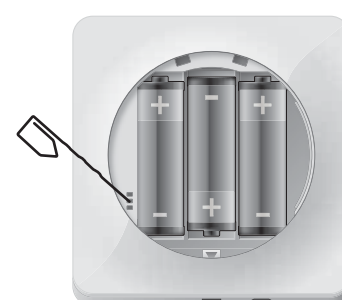
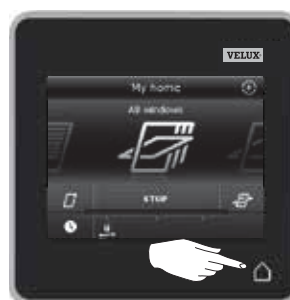
△ を押してリモコンの画面が ON であることを確認してください。

注意: リモコンの全ての製品が操作可能でなければなりません。そうでない製品は新しいセキュリティキーでも操作できません。従って、次に進む前に全ての製品が電源に接続されていて、かつ、範囲内にあることを確認してください。

LED が非常に速く点滅  (1 秒につき 7 回点滅) し始めるまでキーボタンを 7 ~ 15 秒間押ししてください。

リモコン KLR 200 の LED が約 2 秒間緑色  になり、その後消えれば、作成は成功です。

リモコン KLR 200 の LED が赤色で連続 3 回素早く点滅    して、その後消えた場合、作成は失敗です。現在、一部の製品はこのリモコンで操作できません。



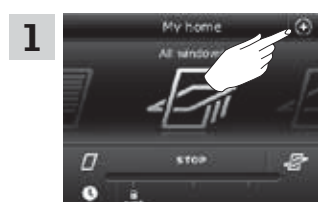
日時

日時はいつでも設定することができます。

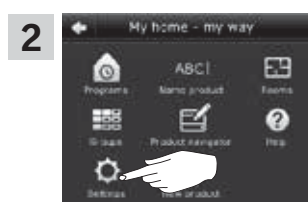
注意：日時を設定するまでプログラムを使用することができません。

時間の設定

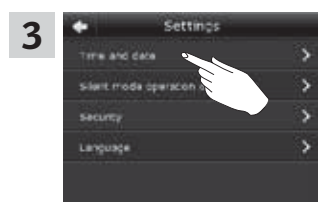
例は時間の設定方法を示します。



⊕を押します。



「設定」を押します。



「日時」を押します。

時と分を設定します。



「時間を設定」を押します。

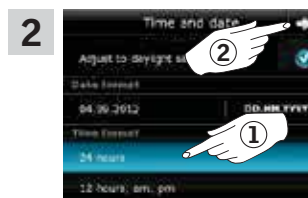


ホイールを矢印の方向に回転させて時と分を選んでください①。「OK」を押します②。

12 時間 (am/pm) と 24 時間の表示形式を切り換えます。



「時間表示形式」が表示されるまで画面を下にスクロールします。



12 時間か 24 時間のいずれかの表示形式を押します①。⇒を押します②。

サマータイムに調整します。



時間はサマータイム/デイトライト・セービング・タイムから標準時間に、また、その逆に自動的に切り替わります。
この機能は「サマータイムに調整」のチェック印を外すことで無効化できます。

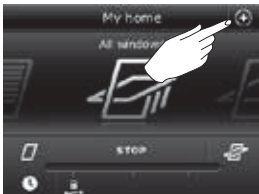
次の頁に続く

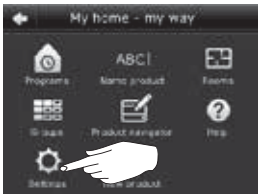
登録
設定

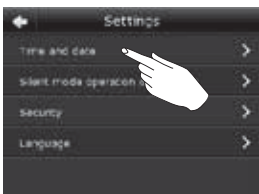
3

日付の設定

例は日付の設定方法を示します。


1  ⊕を押します。

2  「設定」を押します。

3  「日時」を押します。

日付を設定します。

1  「日付を設定」を押します。

2  ホイールを矢印の方向に回転させて日、月、年を選びます①。
「OK」を押します②。

日付表示形式を設定します。

1  画面を下にスクロールさせて、「日付表示形式」を押します。

2  ホイールを矢印の方向に回転させて日付表示形式を選びます①。
「OK」を押します②。



時間および/または日付の設定が終了したら、◀または▶を押します。

言語

リモコンが初めて操作できる状態になったときに言語を選ばなければなりません。選んだ言語はいつでも変更することができます。

例は言語の変更方法を示します。


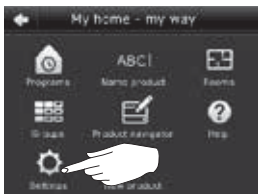


- 1  ⊕を押します。
- 2  「設定」を押します。
- 3  「言語」を押します。
- 4  ホイールを矢印の方向に回転させて、言語を選択します①。
⇒を押します②。

製品のサイレントモード運転

いくつかの製品は運転時にサイレントモードに設定することができます。例えば、製品が夜にプログラムによって自動的に作動する場合に便利です。

注意: サイレントモード運転に設定された製品の動作は遅くなります。

例は、製品をサイレントモードで運転する際の設定方法を示します。

- 1  ⊕を押します。
- 2  「設定」を押します。
- 3  「製品のサイレントモードを作動」を押します。
- 4  サイレント運転させる製品にチェック印を付けます①。
⇒を押します②。

登録

リモコンをリセットする

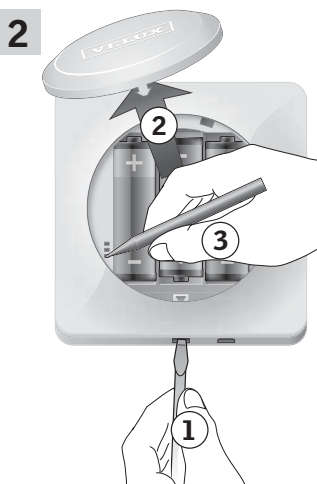
3

リモコンは、全ての登録された製品やパーソナル設定を削除して新たにスタートしたい場合に出荷時の初期設定にリセットすることができます。

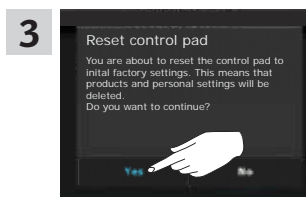
注意: リモコンを1つしか持っていない場合、リモコンに登録する前に全ての製品をリセットしなければなりません。「初期登録が失敗した場合」の章を参照してください。追加リモコンをお持ちの場合は、リセットするリモコンにそのデータをコピーすることができます。「リモコンの追加」の章を参照してください。



1 △を押してリモコンの画面が ON になっていることを確認します。



2 図示のようにドライバーで解除ボタンを押して電池ケースの蓋を取り外します①、②。先のとがった物でリモコンの裏面のリセットボタンを少なくとも5秒間押してください③。蓋を元通りに取り付けます。



3 画面で、「Yes」を押して、リモコンをリセットすることを確定します。リモコンがリセットされました。リモコンを使用することができるようにするために、製品を再度登録しなければなりません。「初期登録」の章を参照してください。

登録
セキュリティ

3

パスワード

設定を自分以外の誰も変更できないようにするために、リモコンの設定へのアクセスをパスワードで制限することができます。例は、設定をパスワードでロックする方法を示します。

- 1  ①を押します。
- 2  「設定」を押します。
- 3  「セキュリティ」を押します。
- 4  「ロックを設定」を押します。
- 5  「パスワードによるロックを設定」を押します①。
⇒を押します②。
- 6  選んだパスワード(少なくとも4文字)を入力します①。
キーボードの使用については、「キーボード」の章を参照してください。(日本語版は数字のみです。) ⇒を押します②。
- 7  選んだパスワードをもう一度入力します①。
⇒を押します②。
- 8  △を押して終了します。
- 9  これでリモコンの設定へのアクセスが制限されました。



パスワードをキャンセルするには、1～5の操作を行い、5で「無制限アクセス、パスワードなし」を押してください。

セキュリティキーの変更

認証されたセキュリティキーを有するリモコンだけが製品を操作することができるようにするためにリモコンや製品はセキュリティキーを持っています。リモコンのセキュリティキーが許可なく変更された疑いがある場合、新しいセキュリティキーを作成することができます。セキュリティキーを変更すれば、システム内の全ての製品はその新しいセキュリティキーを持たなければなりません。

「リモコン」は、VELUX INTEGRA® 製品を操作することができる全ての装置の総称として使用します。

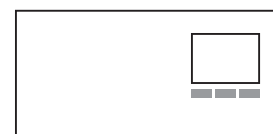
リモコン KLR 200 と同じシステムを操作し、セキュリティキーの変更を必要とするリモコンを探すには、以下の参照ページをご覧ください。



VELUX INTEGRA®
リモコン KLR 200
(3LR A02)
104 ~ 105 頁



VELUX INTEGRA®
インターフェイス KLF 100
(3LF D01)
110 ~ 111 頁



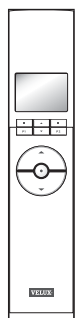
VELUX INTEGRA®
リモコン KLR 100
(3LR A01)
106 ~ 107 頁



他の種類の io-homecontrol®
リモコン
112 ~ 113 頁
(日本仕様は対象外)



VELUX INTEGRA®
リモコン KRX 100
(3LF D02)
108 ~ 109 頁
(日本仕様は対象外)



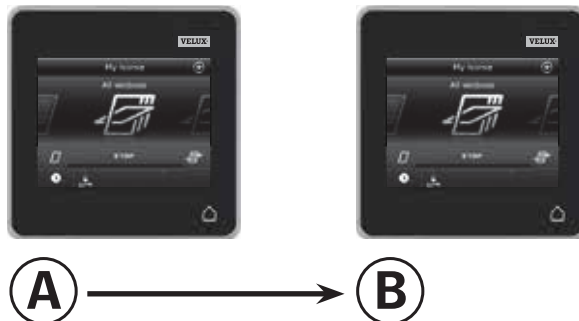
登録

セキュリティ - セキュリティキーの変更

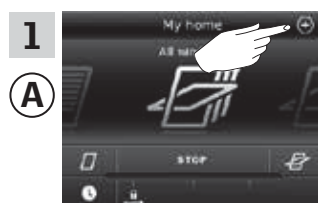
3

1つ以上の VELUX INTEGRA® リモコン KLR 200 でシステムのセキュリティキーを変更する

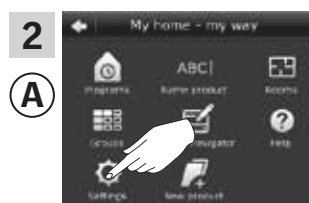
セキュリティキーを送信するリモコン KLR 200 をリモコン (A) と呼びます。
セキュリティキーを受信するリモコン KLR 200 をリモコン (B) と呼びます。
どちらのリモコンを (A) と呼んでも (B) と呼んでも構いません。



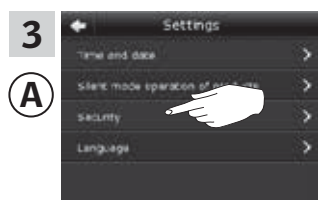
まず、(A) で1～6の操作を行ってください。



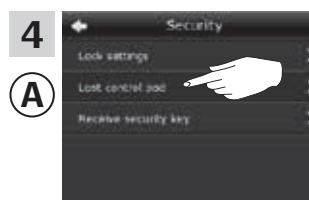
⊕を押します。



「設定」を押します。



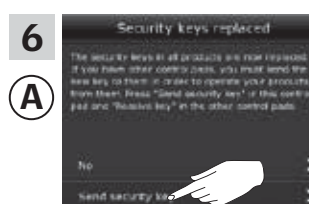
「セキュリティ」を押します。



「リモコンの紛失」を押します。



⇒を押します。



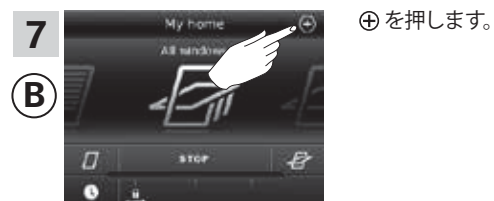
「セキュリティキーを送信」を押します。
注意: お持ちのリモコンが1つだけの場合は「No」を押します。

登録

セキュリティ - セキュリティキーの変更

3

2分以内に ⑧ で 7～12 の操作を行ってください。



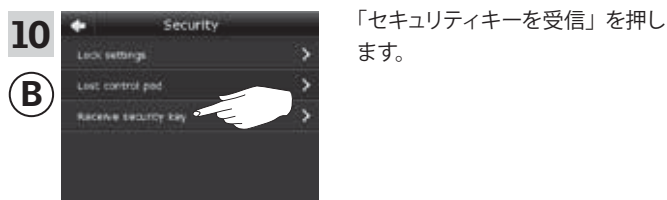
⊕ を押します。



「設定」を押します。



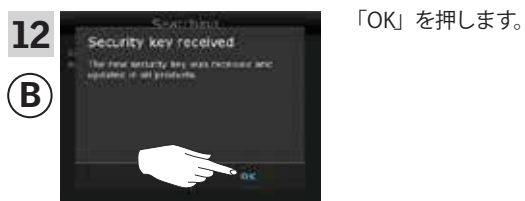
「セキュリティ」を押します。



「セキュリティキーを受信」を押します。



⇒ を押します。



「OK」を押します。

これでセキュリティキーは両方のリモコンで同じになりました。

追加リモコンをお持ちの場合は、**⑨** で 6 の操作を行い、各追加 **⑧** で 7～12 または相当する項の操作を行ってください。「セキュリティキーを変更する」の章の参照ページをご覧ください。



全てのリモコンの ◻ または相当する「戻る」キーを押して終了します。

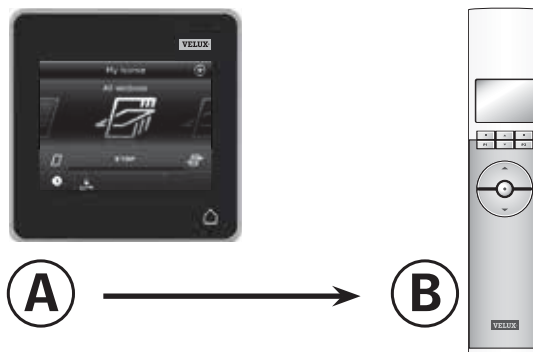
登録

セキュリティ - セキュリティキーの変更

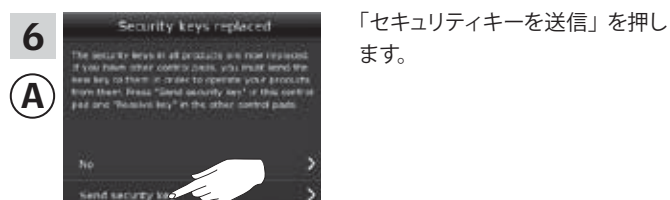
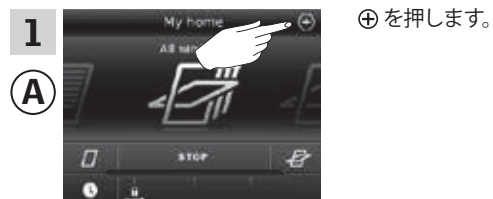
3

1つ以上の VELUX INTEGRA® リモコン KLR 200 およびリモコン KLR 100 でシステムのセキュリティキーを変更する

セキュリティキーを送信するリモコン KLR 200 をリモコン ① と呼びます。
セキュリティキーを受信するリモコン KLR 100 をリモコン ② と呼びます。



まず、① で 1～6 の操作を行ってください。




次の頁に続く


登録



セキュリティ - セキュリティキーの変更

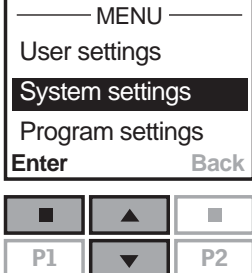
3



2分以内に ⑧ で 7～10 の操作を行ってください。

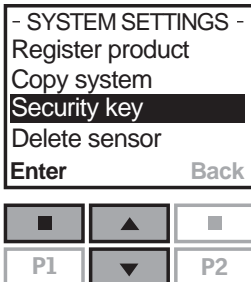
7  「メニュー」を押します。



⑧ 

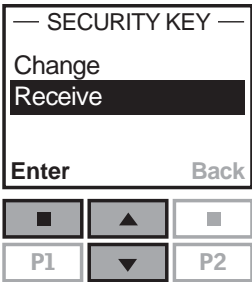
8  を押して「システムセットイ」を強調表示させます。
 「エンター」を押して選択を確定します。

⑧ 

9  を押して「セキュリティキー」を強調表示させます。
 「エンター」を押して選択を確定します。

⑧ 


10  を押して「ジュリョウ」を強調表示させます。
 「エンター」を押して選択を確定します。
画面はセキュリティキーが転送中であることを表示します。

⑧ 

これでセキュリティキーは両方のリモコンで同じになりました。

追加リモコンをお持ちの場合は、**④** で 6 の操作を行い、各追加 **⑧** で 7～10 または相当する項の操作を行ってください。「セキュリティキーを変更する」の章の参照ページをご覧ください。



全てのリモコンの  または相当する「モデル」キーを押して終了します。

登録

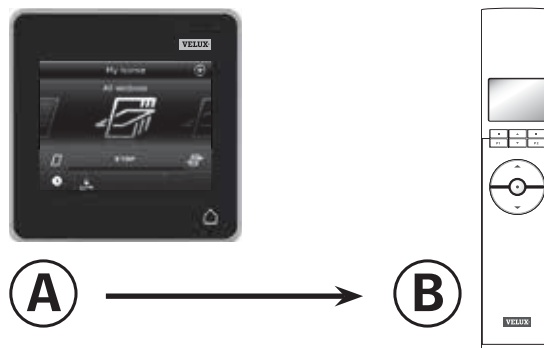
セキュリティ - セキュリティキーの変更

3

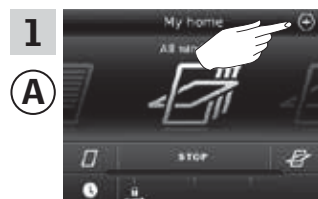
1つ以上の VELUX INTEGRA® リモコン KLR 200 およびリモコン KRX 100 でシステムのセキュリティキーを変更する（日本仕様は対象外）

注意: 無線周波数が 868 MHz の VELUX INTEGRA® 製品のみで使用可能です。

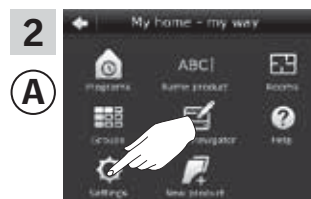
セキュリティキーを送信するリモコン KLR 200 をリモコン ① と呼びます。
セキュリティキーを受信するリモコン KRX 100 をリモコン ② と呼びます。



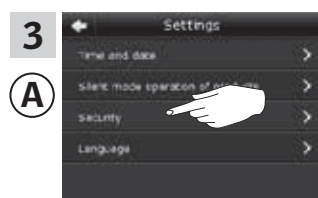
まず、① で 1～6 の操作を行ってください。



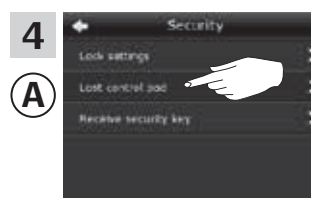
⊕ を押します。



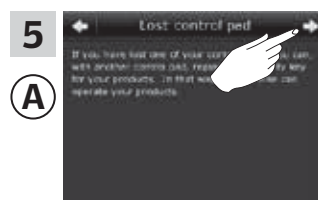
「設定」を押します。



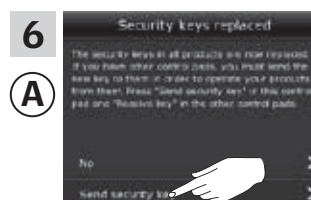
「セキュリティ」を押します。



「リモコンの紛失」を押します。



⇒ を押します。



「セキュリティキーを送信」を押します。


次の頁に続く

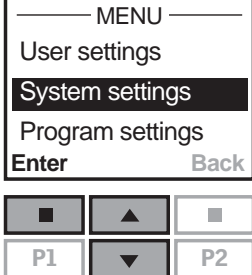
登録

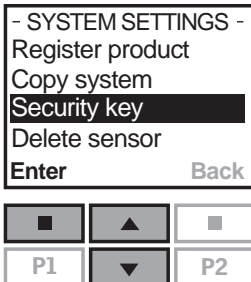
セキュリティ - セキュリティキーの変更

3

2分以内に ⑧ で 7～10 の操作を行ってください。

7 **⑧**  「Menu」を押します。

8 **⑧**  を押して「System settings」を強調表示させます。
「Enter」を押して選択を確定します。

9 **⑧**  を押して「Security key」を強調表示させます。
「Enter」を押して選択を確定します。

10 **⑧**  を押して「Receive」を強調表示させます。
「Enter」を押して選択を確定します。
画面はセキュリティキーが転送中であることを表示します。

これでセキュリティキーは両方のリモコンで同じになりました。

追加リモコンをお持ちの場合は、④ で 6 の操作を行い、各追加 ⑧ で 7～10 または相当する項の操作を行ってください。「セキュリティキーを変更する」の章の参照ページをご覧ください。



全てのリモコンの △ または相当する「戻る」キーを押して終了します。

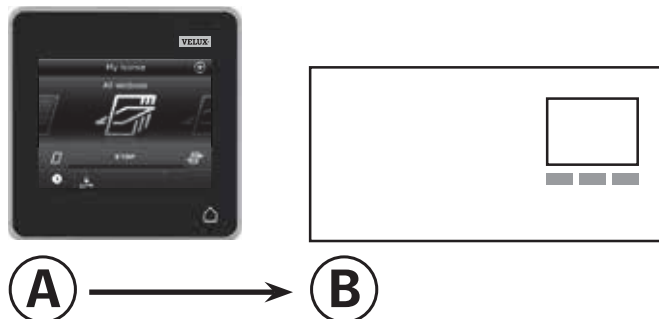
登録

セキュリティ - セキュリティキーの変更

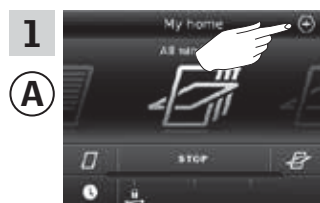
3

1つ以上の VELUX INTEGRA® リモコン KLR 200 およびインターフェイス KLF 100 でシステムのセキュリティキーを変更する

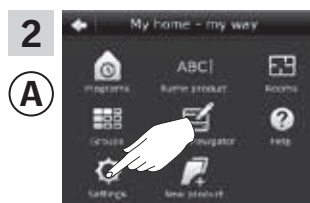
セキュリティキーを送信するリモコン KLR 200 をリモコン (A) と呼びます。セキュリティキーを受信するインターフェイス KLF 100 をリモコン (B) と呼びます。



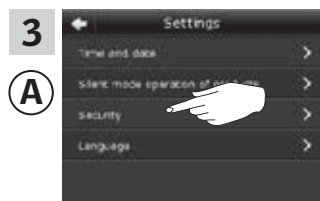
まず、(A) で 1～6 の操作を行ってください。



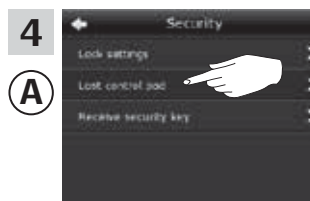
⊕ を押します。



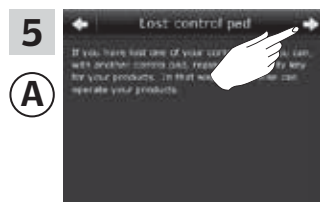
「設定」を押します。



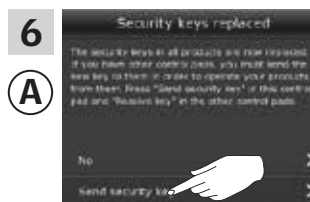
「セキュリティ」を押します。



「リモコンの紛失」を押します。



⇒ を押します。



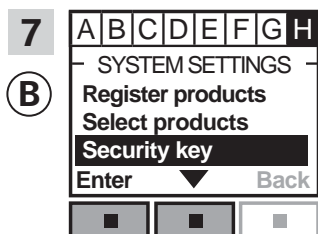
「セキュリティキーを送信」を押します。

登録

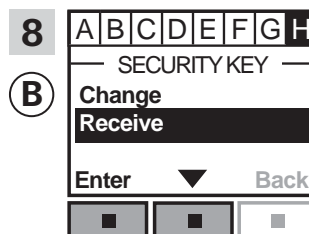
セキュリティ - セキュリティキーの変更

3

2分以内に ⑧ で 7～8 の操作を行ってください。



メニュー項目 **■** が強調表示されるまでインターフェイスの指示に従ってください。
 ▼ を押して「Security key」を強調表示させます。
 「Enter」を押して選択を確定します。



▼ を押して「Receive」を強調表示させます。
 「Enter」を押して選択を確定します。
 画面はセキュリティキーが転送中であることを表示します。

これでセキュリティキーは両方のリモコンで同じになりました。

追加リモコンをお持ちの場合は、**④** で 6 の操作を行い、各追加 **⑧** で 7～8 または相当する項の操作を行ってください。「セキュリティキーを変更する」の章の参照ページをご覧ください。



全てのリモコンの **△** または相当する「Back」キーを押して終了します。

登録

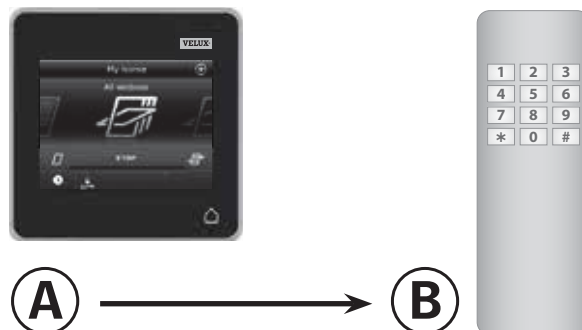
セキュリティ - セキュリティキーの変更

3

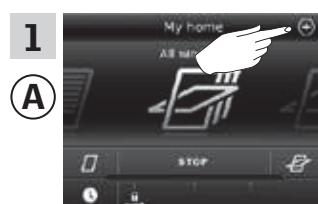
1つ以上の VELUX INTEGRA® リモコン KLR 200 および他の種類の io-homecontrol® リモコンでシステムのセキュリティキーを変更する（日本仕様は対象外）

注意: 無線周波数が 868 MHz の VELUX INTEGRA® 製品にのみ使用可能です。

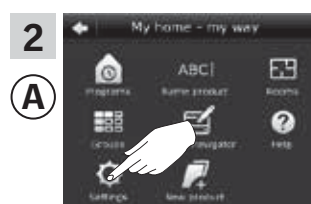
セキュリティキーを送信するリモコン KLR 200 をリモコン ① と呼びます。セキュリティキーを受信する io-homecontrol® リモコンをリモコン ② と呼びます。



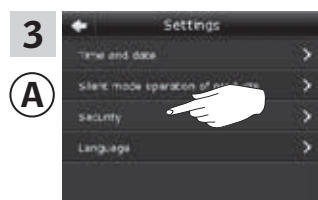
まず、① で 1～6 の操作を行ってください。



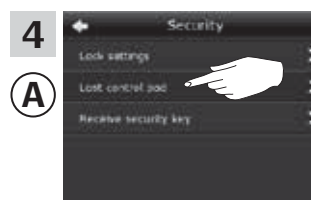
⊕ を押します。



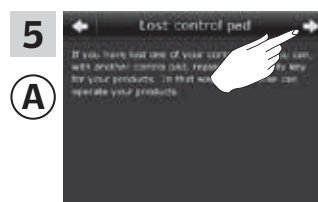
「設定」を押します。



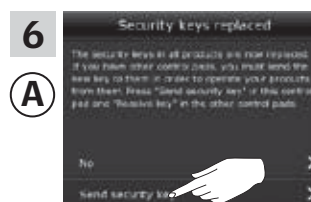
「セキュリティ」を押します。



「リモコンの紛失」を押します。



⇒ を押します。



「セキュリティキーを送信」を押します。

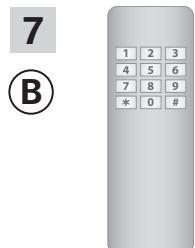
次の頁に続く

登録

セキュリティ - セキュリティキーの変更

3

2分以内に ② で7の操作を行ってください。



io-homecontrol® リモコンの説明書を参照してください。「io-homecontrol® 製品のジョイント操作」の章も参照されると良いでしょう。

これでセキュリティキーは両方のリモコンで同じになりました。

追加リモコンをお持ちの場合は、① で6の操作を行い、各追加 ② で7または相当する項の操作を行ってください。「セキュリティキーを変更する」の章の参照ページをご覧ください。



リモコンの  を押して終了します。

設置

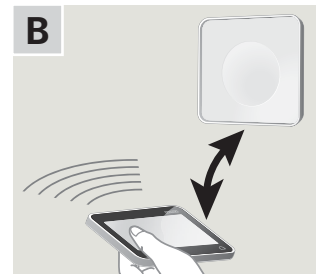
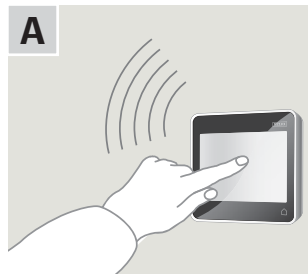
リモコンを壁に取り付ける

4

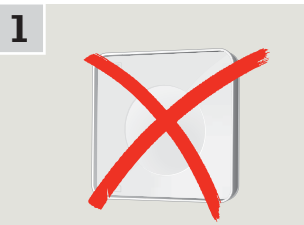
付属のホルダーを使用せずにリモコンを壁に直接固定することができます **A**。リモコンは壁とほぼ同一平面になり、リモコンがどこにあるか常にわかります。

付属のホルダーを壁に取り付けて **B**、ホルダーにリモコンを置くことで、リモコンを移動できるようにすることができます。

リモコンを壁に取り付けずに使用することもできます。



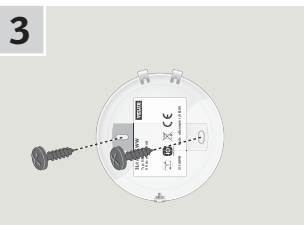
A リモコンを壁に直接取り付ける



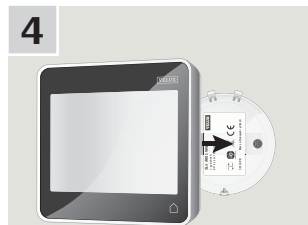
ホルダーは必要ありません。



図のようにドライバーで解除ボタンを押して電池ケースの蓋を取り外します。

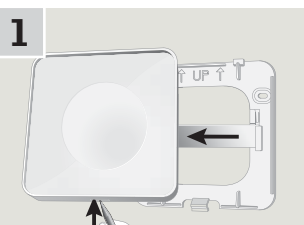


付属の2本のねじで電池ケースの蓋を壁に取り付けます。

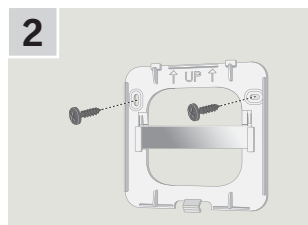


リモコンを電池ケースの蓋にはめます。

B ホルダー付きリモコン



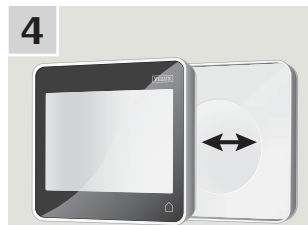
ホルダーの底部を先のとがった物で押して裏面を取り外します。



付属の2本のねじで裏面を壁に取り付けます。



ホルダーを裏面にはめます。



ホルダーにリモコンを置きます。リモコンは組み込まれた磁石によって固定されます。

設置

後付けの場合に吹き込みセンサーの取り付け位置を変える（日本仕様は対象外）

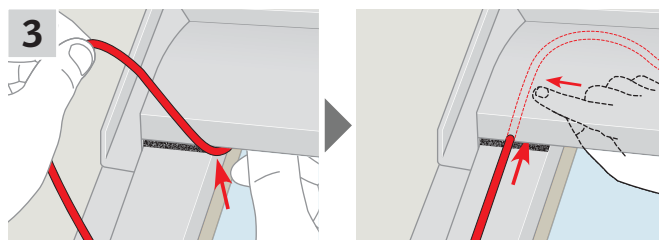
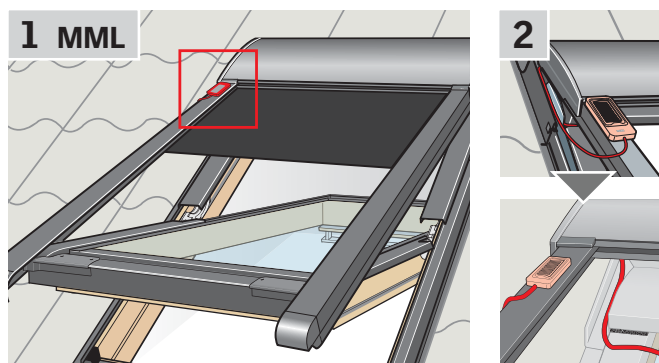
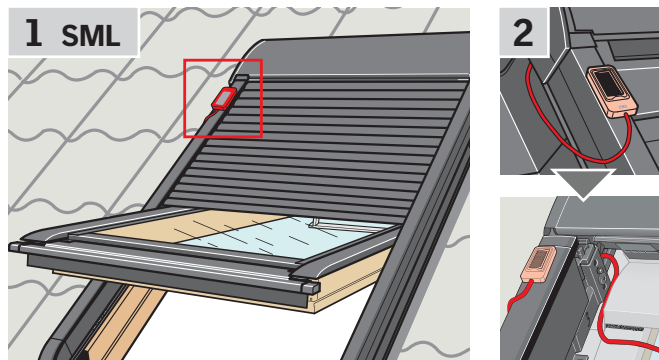
4

VELUX INTEGRA® ローラーシャッターまたはオーニングブラインドを
VELUX INTEGRA® 中軸回転式天窓に後付けする

VELUX INTEGRA® ローラーシャッターまたはオーニングブラインドを
VELUX INTEGRA® 中軸回転式天窓に後付けしたい場合、吹き込みセン
サーをローラーシャッターまたはオーニングブラインドの横溝に取り付
け直さなければなりません。

注意：吹き込みセンサーを取り付け直している間は電源または電池は
切ってください。

- 1 吹き込みセンサーを天窓のサイドカバーからローラーシャッターまた
はオーニングブラインドの横溝に移動します。
重要：吹き込みセンサーを取り付ける面は清潔で乾燥していなけれ
ばなりません。
- 2 ケーブルをきつく引っ張らずにローラーシャッターまたはオーニング
ブラインドの下に通します。
- 3 図示のようにケーブルを天窓の中に引き入れます。



適合性の宣言

ヨーロッパで提供されている製品について

理事会指令 2006/95/EC に従って

当社はここに、下記 VELUX INTEGRA® 製品、

- ・ルーフウインドウ GGL(---21) および GGU(---21)、
 - ・ソーラールーフウインドウ GGL(---30) および GGU(---30)、
 - ・フラットルーフウインドウ CVP(3MX A02)、
 - ・モジュラー式スカイライト HVC(3MA A01、3MA A02、3MA A03、3MA A04 および 3MA A05)、
 - ・VELUX ルーフウインドウ GGL および GGU 用のコンバージョンキット KMX 100(3MG A01、3UC A02、3LA A01 および 3LR A01)、
 - ・VELUX ルーフウインドウ GHL、GHU、GPL、GPU、GTL、GTU および VKU 用のコンバージョンキット KMX 200(3MX A01、3LA A01 および 3LR A01)、
 - ・VELUX ルーフウインドウ GGL および GGU 用のソーラーコンバージョンキット KSX 100 (3SM B01、3SD B01 および 3LR A01) および KSX 100K(3SM BK01 および 3LR A02)、および
 - ・リモコン KLR 200(3LR A02) は、
- 機械指令 2006/42/EC、EMC 指令 2004/108/EC、低電圧指令 2006/95/EC および R&TTE 指令 1999/5/EC に適合し、
 - 整合規格 EN 300220-2、EN 301489-3、EN 55014-1(2006-12)、EN 55014-2(1997-02)、EN 55022(2006-09)、EN 55024(1998-09)、EN 61000-3-2(2006-04)、EN 61000-3-3(1995-01)、EN 50366、EN 60335-1、EN 60335-2-103、EN 61558-1 および EN 61558-2-16 に従って製造されていることを宣言します。

上記 VELUX INTEGRA® 製品は、機械とみなされ、指示および要求事項に従って設置が完了するまでは使用してはいけません。

総合システムはさらに理事会指令 2006/42/EC、2004/108/EC、2006/95/EC および 1999/5/EC の必須要求事項に準拠します。

VELUX A/S:

(Lars Gylstoft, 製品管理)

Ådalsvej 99, DK-2970 Hørsholm..... 22-12-2011

CE DoC 942000-00

オーストラリア、カナダ、日本、ニュージーランドおよび米国で提供されている製品について

当社はここに、下記 VELUX INTEGRA® 製品、

- ・リモコン KLR 200(3LR A02 US)、
- ・ソーラースカイライト VSS および VCS、および
- ・スカイライト VSE および VCE は、

FCC 規定の Part 15、IC 規定の RSS-210、ARIB STD T33 および T66、AS/NZS 4268 に準拠していることを宣言します。

- リモコン
FCC ID:XSG832794、IC ID:8642A-832794、および日本の無線機器認証番号 :13215185、
- 天窓オペレーター (ソーラーパワー式スカイライトオペレーター)
FCC ID:XSG832876 および IC ID:8642B-832876、
- 天窓オペレーター (電動式スカイライトオペレーター)
FCC ID:XSG863765 および IC ID:8642A-863765